

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成29年度)

平成31年3月

岩手県教育委員会

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成29年度)

岩手県教育委員会

序

埋蔵文化財は、先人の残した貴重な歴史的財産であり、国民共有の財産です。文化財保護法の理念にもとづき、埋蔵文化財を保護し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務です。

当委員会では、昭和52年から国庫補助金の交付を受けて遺跡の分布調査等を継続して実施し、現在、岩手県内には約12,700箇所の遺跡が確認されています。

また、これらの遺跡を広く周知するとともに、開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図るために行った、遺跡の範囲や内容確認を目的とした試掘調査、小規模な記録保存目的の発掘調査などについて、その成果を報告書として刊行しています。

本県では、国・県関連の開発事業に係る埋蔵文化財の調査に加え、平成23年3月11日に発災した東日本大震災からの復興に係る埋蔵文化財の調査についても鋭意取り組んでまいりました。

本報告書は、平成29年度に実施した県内遺跡調査事業による発掘調査及び試掘調査、工事立会、分布調査の成果をまとめたものです。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護の一助になれば幸いに存じます。

調査の実施と報告書の作成にあたり、御指導と御協力をいただきました関係機関ならびに関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

平成31年3月

岩手県教育委員会

教育長 高橋嘉行

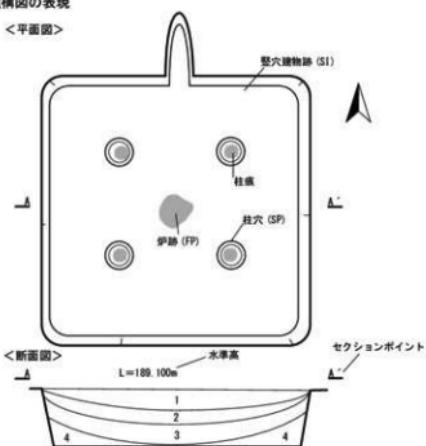
例　　言

- 1 本書は岩手県教育委員会が平成29年度に実施した県内遺跡調査事業に係る調査成果の報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下、県埋蔵文化財センターと略記）及び関係市町村教育委員会の協力を得て行った。
- 3 遺跡位置図の作図は岩手県遺跡情報検索システム（平成29年度版）（国土地理院長の承認を得て、同院発行の25000分の1地形図（承認番号平28情使、第307-GISMAP36978号）を編集）を使用した。
- 4 発掘調査及び試掘調査、工事立会の調査位置図の作図は各事業者から提供された工事計画図、及び国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び数値地図（国土基本情報）基盤地図情報（数値標高モデル）を使用した。（承認番号平28情使、第169号）
- 5 発掘調査及び試掘調査、工事立会、分布調査の遺物実測図・遺物観察表は遺跡ごとに掲載した。
- 6 遺構名称は必要に応じて略号を付した。主な略号は以下のとおりである。
　　堅穴建物跡：SI、カマド：SL、炉跡：FP、土坑：SK、陥し穴状遺構：SKT、溝跡：SD
　　柱穴：SP、性格不明遺構：SX
- 7 遺構・遺物実測図の縮尺は以下のとおりで、それぞれにスケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。
　　遺構：1/40、1/50、1/60
　　遺物：土器・須恵器・陶磁器・土製品・礫石器1/3・剥片石器2/3
- 8 写真図版は、主な遺構・遺物を選択して掲載した。掲載縮尺は遺構については任意、遺物については、実測図と同寸である。
- 9 平成29年度の調査体制は次のとおりである。
　　〈埋蔵文化財担当総括〉 文化財専門員 佐藤 淳一
　　〈予算・経理〉 主事 須川 翼
　　〈事業担当〉 文化財専門員 鳥居 達人・佐々木 務・半澤 武彦・吉田 充
　　　　　　文化財調査員 長屋敷 淳史・久保 賢治・高橋 純
- 10 野外調査・室内整理及び報告書の作成・編集は生涯学習文化財課が行った。
- 11 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課が保管している。

凡例

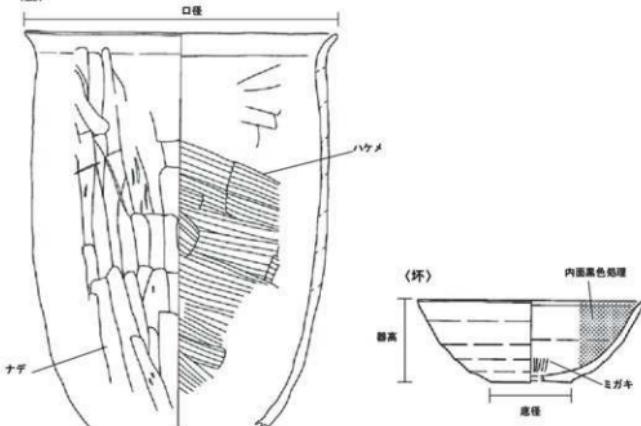
遺構図の表現

<平面圖>



遺物実測図の表現

《惠》



目 次

序

例言

凡例

I 発掘調査

1 経営体育成基盤整備事業（花曾根上遺跡）	2
2 経営体育成基盤整備事業（上須々孫遺跡）	27

II 試掘調査

1 北上川中流部緊急治水対策事業 （北条館跡及び隣接地・北日詰城内I遺跡及び隣接地・南日詰大銀II遺跡）	36
2 北日詰交差点改良事業（南日詰地区）（北日詰東ノ坊II・III遺跡）	38
3 東北横断自動車道釜石秋田線（遠野道路）（平野原II遺跡）	39
4 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（鹿鳴浜I遺跡隣接地）	40
5 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（板橋II遺跡（旧可能性あり14））	41
6 三陸沿岸道路（洋野階上道路）（伝吉I遺跡）	42
7 三陸沿岸道路（野田久慈道路）（芦ヶ沢II遺跡及び隣接地）	43
8 三陸沿岸道路（田野畑道路）（浜岩泉VI遺跡及び隣接地）	44
9 三陸沿岸道路（宮古田老道路）（千徳城遺跡群）	45
10 一般国道45号復興（大槌町吉里吉里地区）（新館跡）	46
11 三陸沿岸道路（釜石山田道路）（辺地沢I遺跡）	47
12 三陸沿岸道路（吉浜釜石道路）釜石市道平林線切替工事（荒川砂子渡遺跡）	48
13 防災安全（交通安全）事業大川目地区（外里遺跡及び隣接地）	49
14 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（佐々木館跡）	50
15 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（上平III遺跡）	51
16 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（火行塚遺跡）	52
17 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（段ノ越遺跡及び隣接地）	53
18 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）（桃ノ木III遺跡及び隣接地）	54
19 産業廃棄物処理施設整備事業（桃沢II遺跡（旧可能性あり））	55
20 警察施設整備事業（盛岡西警察署滝沢交番新築工事）（葉の木沢I遺跡）	57
21 中山間地域総合整備事業（はたふく遺跡・大谷地遺跡及び隣接地）	58
22 農地整備事業（経営体育成型）（八幡館遺跡及び隣接地）	60
23 北上翔南高等学校草地復旧工事（高前壇II遺跡及び隣接地）	62
24 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（花曾根上遺跡）	63
25 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（新田遺跡）	64
26 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区） （梅ノ木台地II遺跡及び隣接地・兵庫館跡及び隣接地）	65

27	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（望野Ⅱ遺跡及び隣接地）	66
28	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（法量野Ⅰ・Ⅱ遺跡及び隣接地）	67
29	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（煤孫遺跡・下須々孫館跡）	68
30	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（旭ヶ丘遺跡及び隣接地）	69
31	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（上反町遺跡及び隣接地）	70
32	経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）（上須々孫遺跡）	71
33	経営体育成基盤整備事業（万丁目地区）（万丁目遺跡及び隣接地）	72
34	経営体育成基盤整備事業（万丁目地区）（種市遺跡・南万丁目Ⅱ遺跡及び隣接地）	73
35	農地耕作条件改善事業（愛宕地区）（赤剣東遺跡・土橋遺跡及び隣接地）	75
36	農地耕作条件改善事業（愛宕地区）（赤剣遺跡）	77
37	経営体育成基盤整備事業（若柳中部地区）（山田城跡及び隣接地・明神下遺跡隣接地）	78
38	経営体育成基盤整備事業（愛宕地区）（宮沢原Ⅱ遺跡・壹刈窪Ⅱ遺跡）	79
39	経営体育成基盤整備事業（森下遺跡・見分森遺跡及び隣接地・片子沢遺跡）	80
40	経営体育成基盤整備事業（糓谷田遺跡）	82
41	経営体育成基盤整備事業（北赤堀遺跡及び隣接地）	83
42	県単急傾斜地崩壊対策事業（千厩城跡）	84
43	経営体育成基盤整備事業（長平遺跡・古館遺跡及び隣接地）	85
44	経営体育成基盤整備事業（中島遺跡及び隣接地）	86
45	中山間地域総合整備事業（柄倉館跡）	87
46	中山間地域総合整備事業（霞沢地区）（和田沢遺跡及び隣接地）	88
47	県単独凍雪害対策事業（可能性あり1）	89
48	河川等災害関連事業、河川災害復旧等関連緊急事業（松林Ⅰ遺跡）	90
49	東北自動車道（仮称）平泉スマートインターチェンジ事業（祇園Ⅰ遺跡・祇園Ⅱ遺跡・片岡Ⅱ遺跡）	91
50	農地耕作条件改善事業 湯沢（2）地区（間渡Ⅰ遺跡及び隣接地・小田Ⅰ遺跡・小田Ⅱ遺跡及び隣接地・新井田Ⅱ遺跡・新田遺跡及び隣接地）	93

III 工事立会

1	一般国道4号水沢東バイパス（町屋敷遺跡）	96
2	三陸沿岸道路（洋野階上道路）（板橋遺跡（旧可能性あり））	97
3	農地耕作条件改善事業愛宕地区第2号工事（赤剣遺跡）	98

IV 調査一覧

1	発掘調査	101
2	試掘調査	101
3	工事立会	110
4	分布調査	117

報告書抄録

挿図目次

第1図 発掘調査位置図.....	1	第41図 千徳城遺跡群調査位置図.....	45
第2図 花曾根上遺跡位置図.....	2	第42図 新館跡位置図.....	46
第3図 花曾根上遺跡調査位置図.....	3	第43図 新館跡調査位置図.....	46
第4図 花曾根上遺跡遺構配置図	8	第44図 新館跡出土遺物図.....	46
第5図 花曾根上遺跡検出遺構図（1）.....	9	第45図 邁地沢Ⅰ遺跡位置図.....	47
第6図 花曾根上遺跡検出遺構図（2）.....	10	第46図 邁地沢Ⅰ遺跡調査位置図.....	47
第7図 花曾根上遺跡検出遺構図（3）.....	11	第47図 荒川砂子渡遺跡位置図.....	48
第8図 花曾根上遺跡検出遺構図（4）.....	12	第48図 荒川砂子渡遺跡調査位置図.....	48
第9図 花曾根上遺跡検出遺構図（5）.....	13	第49図 外里遺跡位置図.....	49
第10図 花曾根上遺跡検出遺構図（6）.....	14	第50図 外里遺跡及び隣接地調査位置図.....	49
第11図 花曾根上遺跡検出遺構図（7）.....	15	第51図 佐々木館跡位置図.....	50
第12図 花曾根上遺跡出土遺物図（1）.....	16	第52図 佐々木館跡調査位置図.....	50
第13図 花曾根上遺跡出土遺物図（2）.....	17	第53図 上平Ⅲ遺跡位置図.....	51
第14図 上須々孫遺跡位置図.....	27	第54図 上平Ⅲ遺跡調査位置図.....	51
第15図 上須々孫遺跡遺構配置図.....	29	第55図 火行塚遺跡位置図.....	52
第16図 上須々孫遺跡検出遺構図.....	29	第56図 火行塚遺跡調査位置図.....	52
第17図 上須々孫遺跡出土遺物図（1）.....	30	第57図 段ノ越遺跡位置図.....	53
第18図 上須々孫遺跡出土遺物図（2）.....	31	第58図 段ノ越遺跡及び隣接地調査位置図.....	53
第19図 試掘調査位置図.....	35	第59図 柄ノ木Ⅲ遺跡位置図.....	54
第20図 北条館跡ほか位置図.....	36	第60図 柄ノ木Ⅲ遺跡及び隣接地調査位置図.....	54
第21図 北条館跡及び隣接地調査位置図.....	37	第61図 桃沢Ⅱ遺跡（旧可能性あり）位置図.....	55
第22図 北日詰城内Ⅰ遺跡及び隣接地調査位置図.....	37	第62図 桃沢Ⅱ遺跡（旧可能性あり）調査位置図.....	55
第23図 南日詰大銀Ⅱ遺跡調査位置図.....	37	第63図 桃沢Ⅱ遺跡（旧可能性あり）出土遺物図.....	56
第24図 北条館跡及び隣接地出土遺物図.....	37	第64図 葉の木沢Ⅰ遺跡位置図.....	57
第25図 北日詰東ノ坊Ⅱ・Ⅲ遺跡位置図.....	38	第65図 葉の木沢Ⅰ遺跡調査位置図.....	57
第26図 北日詰東ノ坊Ⅱ・Ⅲ遺跡調査位置図.....	38	第66図 葉の木沢Ⅰ遺跡出土遺物図.....	57
第27図 平野原Ⅱ遺跡位置図.....	39	第67図 はたふく遺跡・大谷地遺跡位置図.....	58
第28図 平野原Ⅱ遺跡調査位置図.....	39	第68図 はたふく遺跡及び隣接地調査位置図.....	59
第29図 施設浜Ⅰ遺跡位置図.....	40	第69図 大谷地遺跡及び隣接地調査位置図.....	59
第30図 施設浜Ⅰ遺跡隣接地調査位置図.....	40	第70図 八幡館遺跡位置図.....	60
第31図 板橋Ⅱ遺跡（旧可能性あり14）位置図.....	41	第71図 八幡館遺跡及び隣接地調査位置図.....	60
第32図 板橋Ⅱ遺跡（旧可能性あり14）調査位置図.....	41	第72図 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物図.....	61
第33図 板橋Ⅱ遺跡（旧可能性あり14）出土遺物図.....	41	第73図 高前壇Ⅱ遺跡位置図.....	62
第34図 伝吉Ⅰ遺跡位置図.....	42	第74図 高前壇Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図.....	62
第35図 伝吉Ⅰ遺跡調査位置図.....	42	第75図 高前壇Ⅱ遺跡及び隣接地出土遺物図.....	62
第36図 芦ヶ沢Ⅱ遺跡位置図.....	43	第76図 花曾根上遺跡位置図.....	63
第37図 芦ヶ沢Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図.....	43	第77図 花曾根上遺跡調査位置図.....	63
第38図 浜岩泉Ⅵ遺跡位置図.....	44	第78図 新田遺跡位置図.....	64
第39図 浜岩泉Ⅵ遺跡及び隣接地調査位置図.....	44	第79図 新田遺跡調査位置図.....	64
第40図 千徳城遺跡群位置図.....	45	第80図 梅ノ木台地Ⅱ遺跡ほか位置図.....	65

第81図	梅ノ木台地II遺跡・兵庫館跡及び隣接地 調査位置図	65	第122図	中島遺跡位置図	86
第82図	望野II遺跡位置図	66	第123図	中島遺跡及び隣接地調査位置図	86
第83図	望野II遺跡及び隣接地調査位置図	66	第124図	柳倉館跡位置図	87
第84図	法量野I・II遺跡位置図	67	第125図	柳倉館跡調査位置図	87
第85図	法量野I・II遺跡及び隣接地調査位置図	67	第126図	和田沢遺跡位置図	88
第86図	煤孫遺跡・下須々孫館跡位置図	68	第127図	和田沢遺跡及び隣接地調査位置図	88
第87図	煤孫遺跡・下須々孫館跡調査位置図	68	第128図	可能性あり1位置図	89
第88図	旭ヶ丘遺跡位置図	69	第129図	可能性あり1調査位置図	89
第89図	旭ヶ丘遺跡及び隣接地調査位置図	69	第130図	松林I遺跡位置図	90
第90図	上反町遺跡位置図	70	第131図	松林I遺跡調査位置図	90
第91図	上反町遺跡及び隣接地調査位置図	70	第132図	祇園I遺跡ほか位置図	91
第92図	上須々孫遺跡位置図	71	第133図	祇園I遺跡・祇園II遺跡・片岡II遺跡 調査位置図	92
第93図	上須々孫遺跡調査位置図	71	第134図	祇園I遺跡出土遺物図	92
第94図	万丁目遺跡位置図	72	第135図	間波I遺跡ほか位置図	93
第95図	万丁目遺跡及び隣接地調査位置図	72	第136図	間波I遺跡及び隣接地調査位置図	93
第96図	種市遺跡・南万丁目II遺跡位置図	73	第137図	小田I遺跡・小田II遺跡及び隣接地 調査位置図	94
第97図	種市遺跡及び隣接地調査位置図	74	第138図	新井田II遺跡・新田遺跡及び隣接地 調査位置図	94
第98図	南万丁目II遺跡及び隣接地調査位置図	74	第139図	工事立会位置図	95
第99図	赤剥東遺跡・土橋遺跡位置図	75	第140図	町屋敷遺跡位置図	96
第100図	赤剥東遺跡及び隣接地調査位置図	75	第141図	町屋敷遺跡調査位置図	96
第101図	土橋遺跡及び隣接地調査位置図	76	第142図	町屋敷遺跡出土遺物図	96
第102図	赤剥遺跡位置図	77	第143図	板橋遺跡(旧可能性あり)位置図	97
第103図	赤剥遺跡調査位置図	77	第144図	板橋遺跡(旧可能性あり)調査位置図	97
第104図	山田城跡・明神下遺跡位置図	78	第145図	赤剥遺跡位置図	98
第105図	山田城跡及び隣接地・明神下遺跡隣接地 調査位置図	78	第146図	赤剥遺跡出土遺物図	98
第106図	宮沢原II遺跡・萱刈窪II遺跡位置図	79	第147図	赤剥遺跡調査位置図	99
第107図	宮沢原II遺跡・萱刈窪II遺跡調査位置図	79	第148図	試掘調査位置図一覧(1)	105
第108図	森下遺跡ほか位置図	80	第149図	試掘調査位置図一覧(2)	106
第109図	森下遺跡及び隣接地調査位置図	81	第150図	試掘調査位置図一覧(3)	107
第110図	見分森遺跡及び隣接地調査位置図	81	第151図	試掘調査位置図一覧(4)	108
第111図	片子沢遺跡調査位置図	81	第152図	試掘調査位置図一覧(5)	109
第112図	糸谷田遺跡位置図	82	第153図	工事立会位置図一覧(1)	112
第113図	糸谷田遺跡調査位置図	82	第154図	工事立会位置図一覧(2)	113
第114図	糸谷田遺跡出土遺物図	82	第155図	工事立会位置図一覧(3)	114
第115図	北赤堀遺跡位置図	83	第156図	工事立会位置図一覧(4)	115
第116図	北赤堀遺跡及び隣接地調査位置図	83	第157図	工事立会位置図一覧(5)	116
第117図	千鶴城跡位置図	84	第158図	分布調査採集遺物図	122
第118図	千鶴城跡調査位置図	84			
第119図	長平遺跡・古館遺跡位置図	85			
第120図	長平遺跡及び隣接地調査位置図	85			
第121図	古館遺跡及び隣接地調査位置図	85			

挿表目次

第1表 花曾根上遺跡遺構属性表（1）	3	第15表 町屋敷遺跡出土遺物観察表	96
第2表 花曾根上遺跡遺構属性表（2）	4	第16表 赤羽遺跡出土遺物観察表	98
第3表 花曾根上遺跡出土遺物観察表（1）	18	第17表 発掘調査一覧表	101
第4表 花曾根上遺跡出土遺物観察表（2）	19	第18表 試掘調査一覧表（1）	101
第5表 上須々孫遺跡出土遺物観察表	31	第19表 試掘調査一覧表（2）	102
第6表 北条館跡及び隣接地出土遺物観察表	37	第20表 試掘調査一覧表（3）	103
第7表 板橋II遺跡（旧可能性あり14）出土遺物 観察表	41	第21表 試掘調査一覧表（4）	104
第8表 新館跡出土遺物観察表	46	第22表 工事立会一覧表（1）	110
第9表 梶沢II遺跡（旧可能性あり）出土遺物 観察表	56	第23表 工事立会一覧表（2）	111
第10表 葉の木沢I遺跡出土遺物観察表	57	第24表 分布調査一覧表（1）	117
第11表 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物観察表	61	第25表 分布調査一覧表（2）	118
第12表 高前壇II遺跡及び隣接地出土遺物観察表	62	第26表 分布調査一覧表（3）	119
第13表 粕谷田遺跡出土遺物観察表	82	第27表 分布調査一覧表（4）	120
第14表 扱園I遺跡出土遺物観察表	92	第28表 分布調査一覧表（5）	121
		第29表 分布調査一覧表（6）	122
		第30表 分布調査採集遺物観察表	122

写真図版目次

写真図版1 花曾根上遺跡検出遺構（1）	20	写真図版12 板橋II遺跡（旧可能性あり14）出土遺物	41
写真図版2 花曾根上遺跡検出遺構（2）	21	写真図版13 新館跡出土遺物	46
写真図版3 花曾根上遺跡検出遺構（3）	22	写真図版14 梶沢II遺跡（旧可能性あり）出土遺物	56
写真図版4 花曾根上遺跡検出遺構（4）	23	写真図版15 葉の木沢I遺跡出土遺物	57
写真図版5 花曾根上遺跡検出遺構（5）	24	写真図版16 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物	61
写真図版6 花曾根上遺跡出土遺物（1）	25	写真図版17 高前壇II遺跡及び隣接地出土遺物	62
写真図版7 花曾根上遺跡出土遺物（2）	26	写真図版18 粕谷田遺跡出土遺物	82
写真図版8 上須々孫遺跡検出遺構	32	写真図版19 扱園I遺跡出土遺物	92
写真図版9 上須々孫遺跡出土遺物（1）	33	写真図版20 町屋敷遺跡出土遺物	96
写真図版10 上須々孫遺跡出土遺物（2）	34	写真図版21 赤羽遺跡出土遺物	99
写真図版11 北条館跡及び隣接地出土遺物	37	写真図版22 分布調査採集遺物	122

I 発掘調査

- ① 花曾根上遺跡（北上市）
 ② 上須々孫遺跡（北上市）



第1図 発掘調査位置図

1 経営体育成基盤整備事業

花曾根上遺跡 (ME74-0114)

所 在 地：北上市和賀町岩崎新田地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成29年11月27日(月)

～12月15日(金)

花曾根上遺跡 (ME74-0114) は、北上市役所から西北西に約7kmの北上市和賀町岩崎新田地区に所在する。

遺跡は奥羽山脈から流れる夏油川と和賀川との合流地点付近の扇状地に立地し、標高は124～132mを測る。北東～南西方向に約1km、北西～南東方向約0.3mの大きさの平安時代の敷布地である。周辺には岩崎城跡をはじめ、秋田自動車道建設工事によって調査された遺跡が隣接する。現況は大部分が水田で一部鶏舎が所在する。

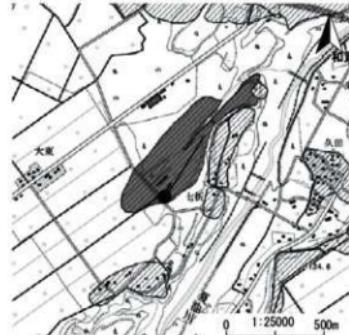
今回の発掘調査は、北上市和賀町岩崎新田地区的経営体育成基盤事業に伴うもので、平成29年9月に当課で実施した試掘調査の結果を踏まえた埋蔵文化財の記録保存を目的とした発掘調査である。調査区内のパイプライン全長は約250m、対象面積は700m²である。

今回の調査区における基本層序は以下のとおりである。

I 層：表土・盛土	層厚50～100cm	調査区東西端の農道路盤が厚い。
II 層：黒色土	層厚10～20cm	旧表土 2層に細分可能 下位に炭化物あり。
III 層：黒褐色土	層厚10～10cm	古代か。
IV 層：褐色土	層厚10～20cm	古代遺物包含層 堪穴建物跡の埋土。
V 層：暗褐色土	層厚10～10cm	縄文時代の遺物包含層 調査区西側に限定される。
VI 層：黄褐色土	層厚不明0～cm	粘土質 検出面。

調査区が細長いためI区～VI区に区切り、約2m幅で実施した。検出面までの深さは、最大で120cmと深く、また全体的に搅乱が多く検出が困難であったことや、冬季の調査であったため断続的な降雪など天候が不順であったことから調査は難航した。遺構の検出はおおむねVI層黄褐色土上面で行った。検出した遺構は、時代不詳の堪穴建物跡(SI)1棟と縄文時代と想定される陥穴状遺構(SK)2基、古代の堪穴建物跡(SI)5棟、カマド跡(SL)1基、土坑(SK)2基、古代と想定される柱穴状土坑(SP)33基、古代以降の溝跡(SD)8条、時期・詳細不明の遺構(SX)1基である。

出土遺物は、少量の縄文土器片や石器、古代の土師器・須恵器の甕や壺、鉄滓である。総量は中コンテナ2箱分である。



第2図 花曾根上遺跡位置図



第3図 花曾根上遺跡調査位置図

第1表 花曾根上遺跡遺構属性表（1）

堅穴建物跡

遺跡名	区	平面形	規模(m)※検出分	深さ(m)	備考
SI 1	III	隅丸方形 または梢円形	1.7以上×3以上	0.08	周囲から繩文土器（織維）、壁柱穴、主柱穴
SI 2	III	方形	1.3以上×2.5以上	0.40	平安、搅乱によって壁が破壊されている
SI 3	III	方形	1.9以上×5.5以上	0.32	平安
SI 4	III	方形	1.9以上×5.5以上	0.20	平安、床面中央部に焼土（L字）
SI 5	III	方形	1.7以上×3以上	0.10	平安、東壁にカマドを持つ住居
SI 6	II	方形	1.9以上×3.6以上	0.40	平安、大型のカマド 土師器など遺物多い

カマド

遺跡名	区	平面形	規模(m)※検出分	深さ(m)	備考
SL 1	III	不明	1	0.60	平安、断面のみ

土坑・陥し穴状遺構

遺跡名	区	平面形	規模(m)※検出分	深さ(m)	備考
SK 1	III	不整円形	1.2×1.2以上	0.90	平安、埋土上位に須恵器 下位黒色土
SK 2	III	不整円形	1×0.9	-	SD7を切る
SKT 1	V	長梢円形	1.7以上×0.3	1.10	ほぼ完掘
SKT 2	VI	溝状	-	-	検出面が深いため、位置確認のみ

第2表 花曾根上遺跡遺構属性表（2）

溝跡

遺跡名	区	方向	規模(m)※検出分	深さ(m)	断面形	備考
SD 1	III	西北西	1.8以上×1	0.40	V字形	
SD 2	III	西北西	2以上×0.6	0.20	V字形	
SD 3	III	西北西	1.8以上×0.7	0.20	不整形	SI 4を切る
SD 4	III	北西	2.4以上×0.3	0.20	逆台形	SI 5を切る
SD 5	III	北西		0.18	逆台形	断面のみ
SD 6	III	北西	2以上×0.3	0.18	長方形	
SD 7	III	西	1.6以上×0.3	0.28	逆台形	
SD 8	II	北西	1.6以上×0.6	0.20	逆台形	

性格不明遺構

遺跡名	区	平面形	規模(m)※検出分	深さ(m)	備考
SX 1	II	不明	1.5以上×3以上	0.25	焼土が広がる

柱穴状土坑

遺構名	区	平面形	規模(m)	深さ(m)	遺構名	区	平面形	規模(m)	深さ(m)
SP 1	III	楕円	0.3×0.1	0.12	SP18	II	円	0.1	0.10
SP 2	III	楕円	0.2×0.1	0.12	SP19	II	楕円	0.4×0.2	0.22
SP 3	III	円	0.3	0.15	SP20	II	楕円	0.2×0.1	0.12
SP 4	III	楕円	0.4×0.2	0.18	SP21	II	楕円	0.3×0.1	0.21
SP 5	II	楕円	0.2×0.1	0.18	SP22	II	楕円	0.3×0.2	0.15
SP 6	II	円	0.1	0.09	SP23	II	楕円	0.4×0.3	0.10
SP 7	II	円	0.1	0.14	SP24	II	円	0.2	0.12
SP 8	II	楕円	0.2×0.1	0.18	SP25	II	楕円	0.4×0.3	0.26
SP 9	II	楕円	0.3×0.1	0.12	SP26	II	楕円	0.3×0.2	0.26
SP10	II	円	0.2	0.10	SP27	II	円	0.2	0.10
SP11	II	楕円	0.3×0.2	0.20	SP28	II	楕円	0.2×0.1	0.10
SP12	II	楕円	0.4×0.2	0.39	SP29	II	楕円	0.2×0.1	0.10
SP13	II	楕円	0.3×0.2	0.16	SP30	II	円	0.1	0.10
SP14	II	円	0.2	0.12	SP31	II	円	0.1	0.10
SP15	II	楕円	0.4×0.2	0.19	SP32	II	円	0.1	0.10
SP16	II	円	0.1	0.10	SP33	II	円	0.3	0.15
SP17	II	円	0.1	0.10					

竪穴建物跡1 (SI1)

検出状況 東側調査区Ⅲ区の南西側にあたる。竪穴建物跡の北西部と南東部は調査区外であり、概ね竪穴建物跡の中央部を検出している。**平面形** 隅丸方形または橢円形を呈すると推定される。

規模 直径3.5m前後と推定される。上部は搅乱が激しく壁は0.08m程度が残存しているに過ぎない。

付属施設 主柱穴2基、壁柱穴16基検出している。いずれも深さは約0.1mである。ほぼ橢円形を呈する。炉は見つかっていない。**出土遺物** なし。**遺構の時期** 遺物が出土していないため時期不明である。なお、建物跡周辺から繊維混入の土器片が出土している。

竪穴建物跡2 (SI2)

検出状況 東側調査区Ⅲ区の中央部にあたる。竪穴建物跡の西側一部の検出にとどまる。**平面形** 方形を基調とする不整形を呈すると推定される。**規模** 南東壁で25mを測る。北側は搅乱によって破壊されている。壁高は約0.4mである。付属施設 柱穴1基を検出している。深さは約0.23mである。炉・カマドは見つかっていない。**出土遺物** 土師器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

竪穴建物跡3 (SI3)

検出状況 東側調査区Ⅲ区の中央部にあたる。建物跡の北西部と南東部は調査区外であり、概ね建物跡の中央部を検出している。**平面形** 方形を基調とする不整形を呈すると推定される。**規模** 北西壁で4.6m、南東壁で5.7mを測る。壁高は約0.3mである。付属施設 直径約0.2~0.5mの柱穴を4基検出している。深さは約0.1mである。炉・カマドは見つかっていない。**出土遺物** 土師器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

竪穴建物跡4 (SI4)

検出状況 東側調査区Ⅲ区の中央部にあたる。建物跡の北西部と南東部は調査区外であり、概ね建物跡の中央部を検出している。建物跡南西壁でSD4によって僅かに切られる。**平面形** 方形を基調とする不整形を呈すると推定される。**規模** 北西壁で4.9m、南東壁で5mを測る。壁高は約0.3mである。付属施設 建物跡中央と推定される箇所にL字形の焼土が広がっている。その他、柱穴を3基検出している。**出土遺物** 土師器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

竪穴建物跡5 (SI5)

検出状況 東側調査区Ⅲ区の中央部にあたる。カマドの存在と北西壁に僅かに残る立ち上がりから竪穴建物跡とした。詳細は不明である。SD5に切られる。**平面形** 方形を呈すると推定される。**規模** 北西壁で19mを測る。壁高は約0.1mである。付属施設 カマドは燃焼部径0.2×0.2m、煙道が続くと推定される部分は搅乱を受けており明確に判断できなかった。その他、柱穴1基を検出した。**出土遺物** 焼土から土師器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

竪穴建物跡6 (SI6)

検出状況 東側調査区Ⅱ区の中央部にあたる。建物跡の北西部と南東部は調査区外であり、概ね建物跡の中央部～東側を検出している。**平面形** 方形を基調とする不整形を呈すると推定される。**規模** 北西壁で3.8m、南東壁で1mを測る。壁高は約0.4mである。付属施設 南壁側に径1.3×0.9m大的焼土が広がっており、カマド燃焼部と推定される。煙道や煙出口は検出されない。鉄滓が出土している。**出土遺物** 多量の土師器壺及び鉄滓が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定され、性格として製鉄関連遺構の可能性もある。

カマド1（SL1）

検出状況 東側調査区Ⅲ区の中央部にある。建物跡は検出されず、南東壁側での検出となつたため、可能な限り平面の様相を確認するため南東に調査区を僅かに延長した。**規模** 南東壁断面で1m、検出した焼土は1.3m×0.8mを測る。**カマドの構造** 支脚と思われる伏せられた土師器壊や礫が複数確認できる。カマド使用時の構造かどうかは不明である。支脚の南西方向に燃焼部が細長く伸びていることからも、カマドの長軸は北西～南東方向と考えられる。全体的に攪乱が大きく、建物の檻面や煙道は確認できなかった。**出土遺物** 多量の土師器壊、土師器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

土坑1（SK1）

検出状況 東側調査区Ⅲ区の北東側にある。平面形 不整円形を呈する。**規模** 開口部径おおよそ1.2m×1.2m以上、底部径おおよそ0.6m×0.7m以上、深さ0.9mを測る。**断面形** 鉢状 埋土 大部分が暗褐色シルト・黒褐色シルト混合土で炭化物等は含まない。**出土遺物** 須恵器壺が出土している。**遺構の時期** 出土遺物から平安時代と推定される。

土坑2（SK2）

検出状況 東側調査区Ⅲ区の北東側にある。溝跡7と重複している。**平面形** 不整円形を呈する。**規模** 開口部径おおよそ1m×0.9mである。**断面形** 鉢状 **出土遺物** なし。**遺構の時期** 遺物等が出土していないため不明である。

陥し穴状土坑1（SKT1）

検出状況 東側調査区Ⅳ区の南西側にある。概ね全体が調査区内で検出されている。後世の攪乱によって開口部は大きく削平されている。平面形 北西～南東方向に長軸をもつ。溝状である。**規模** 開口部径1.7m以上×0.3m、底部径おおよそ1.6以上m×0.1m、深さ1.1mを測る。**断面形** 漏斗状 **出土遺物** なし。**遺構の時期** 遺物は出土していないが、平面形態から縄文時代と推定される。

陥し穴状土坑2（SKT2）

検出状況 西側調査区中央部にある。深度の関係で検出のみに留めた。

溝跡1（SD1）

断面形 はV字形を呈し、方向は西北西～東南東方向で両端は調査区外に延びる。埋土は暗褐色シルトと黄褐色シルトの2層で、時期等は不明である。

溝跡2（SD2）

断面形 はV字形を呈し方向は北西～南東方向で両端は調査区外に延びる。時期等は不明である。

溝跡3（SD3）

断面形 は植根によって凹凸が見られ、方向は西北西～東南東方向で両端は調査区外に延びる。時期等は不明である。

溝跡4（SD4）

断面形 は逆台形を呈する。竪穴建物跡4（SI4）を切る。時期等は不明である。縄文土器片が出土している。

溝跡5（SD5）

断面形 は逆台形を呈し、竪穴建物跡5（SI5）を切る。時期等は不明である。SI5精査時には確認できなかつたため、断面のみの記録である。

溝跡6（SD6）、溝跡7（SD7）

溝跡6 は、断面形は浅皿状を呈し、方向は北東～南西方向で両端は調査区外に延びる。時期等は不

明である。溝跡7は、断面形は浅皿状で方向はほぼ東西方向で両端は調査区外に延びる。中央部で土坑2（SK2）によって切られる。

溝跡8（SD8）

断面形は逆台形を呈し、方向は東～西方向で両端は調査区外に延びる。遺構集中区域から離れている。時期等は不明である。

性格不明遺構（SX1）

検出状況 東側調査区II区の中央部にあたる。遺構の西側一部の検出にとどまり、東側は搅乱によって破壊されている。規模 検出分の最大径で約3mを測る。付属施設 焼土が遺構全体に広がっている。出土遺物 土師器片が出土している。遺構の時期等 出土遺物から平安時代と推定されるが、遺構の性格を判断する資料が乏しく特定できなかった。

柱穴（SP1～SP33）

調査区全体で33基を検出しそのほとんどがII区に集中している。径は約0.1m～0.4mで深さは約0.1m～0.4mである。埋土は暗褐色シルトの1層であり柱痕はなく掘立柱建物を構成するような規則性も見られない。遺物が出土していないため時期等は不明である。

遺物

本報告書では出土遺物を遺構ごとに取り上げず、器種毎に実測図を配置している。出土遺物は縄文土器、土師器、須恵器、鉄滓である。SI1周辺で纖維混入の土器片が出土し、それ以外では主に土師器が多く見られる。堅穴建物跡やカマド跡から小皿、壺、甕が出土し、基本的にロクロを使用している。鉄滓が出土したSI6は多量の土師器、須恵器も見られる。

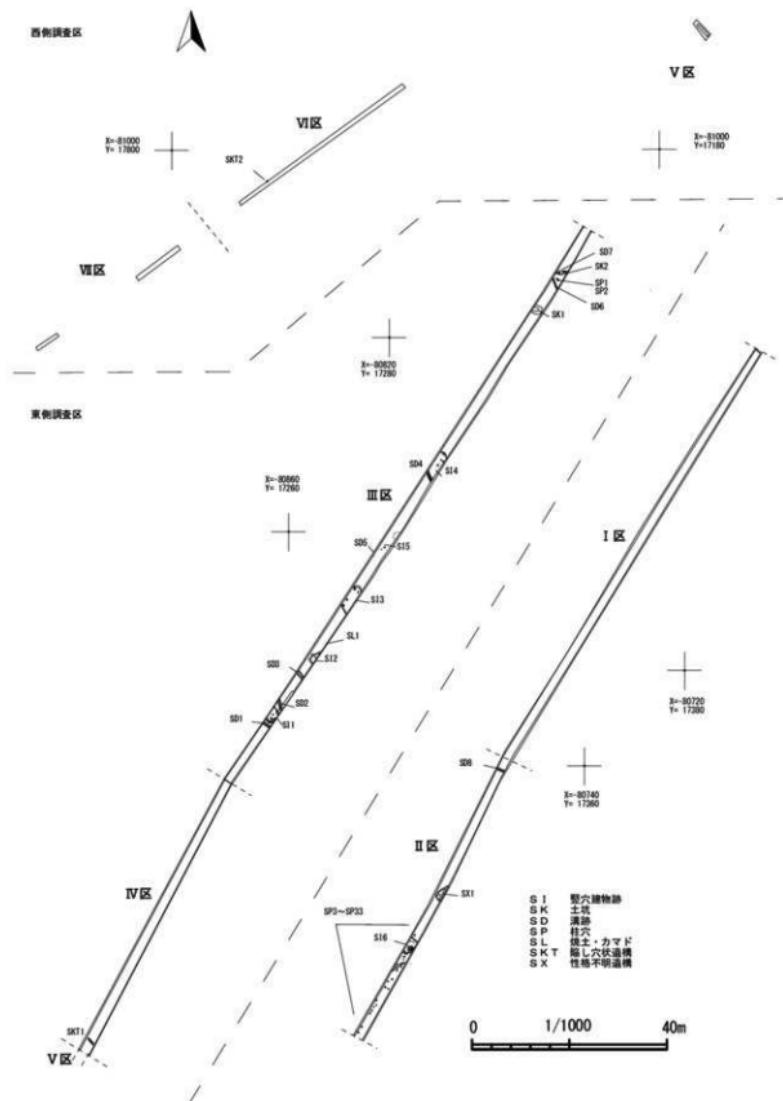
まとめ

花曾根上遺跡は、遺跡台帳では平安時代の遺跡となっているが、今回の発掘調査により、縄文時代の遺跡でもあることが判明した。陥し穴状遺構は、平面形や埋土の状況から、縄文時代以降の遺構である可能性が高く、その時期は狩猟場としても利用されていたことが想定される。

古代の遺構として、堅穴建物跡やカマド跡などが検出されている。調査範囲が狭い上に搅乱が多いことから精査は難航したが、出土遺物から10世紀前半の集落跡であることが判明した。基本土層III（黒褐色土）を埋土とするSL1・SI6と、基本土層IV（褐色土）を埋土とするSI3・SI5に若干の時期幅があることも考えられる。また、SI6は鉄滓が出土していることから製鉄関連遺構の可能性もある。

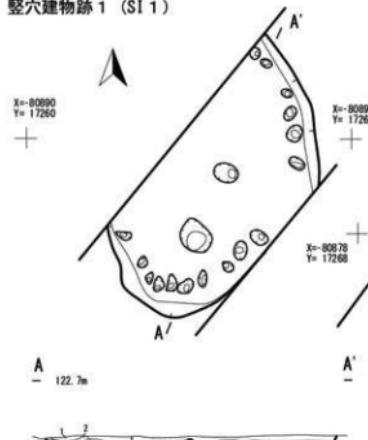
今回の発掘調査は花曾根上遺跡の南東端の調査となつたが、段丘線に当たる区域（I区）には遺構は検出されず、II～III区に集中し、IV～VII区は遺構が希薄になる傾向が判明した。このことから、平安時代の集落はII区からIII区を中心とした北西から南東に広がる丘陵地に広がっている可能性が高い。また、縄文時代について不明な部分も多いが、南西側（V区・VI区）で陥とし穴が検出されていることから、縄文時代の狩猟場が南側に広がると考えられる。

遺構配置図

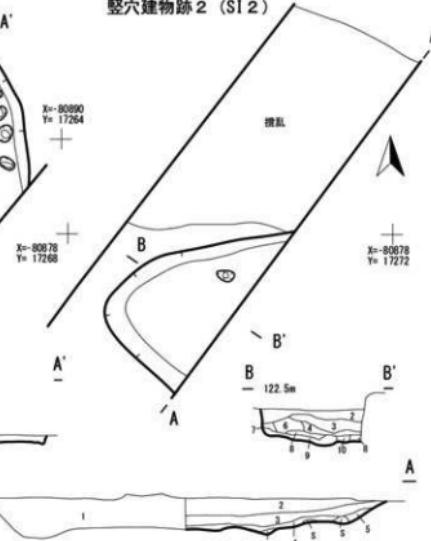


第4図 花曾根上遺跡遺構配置図

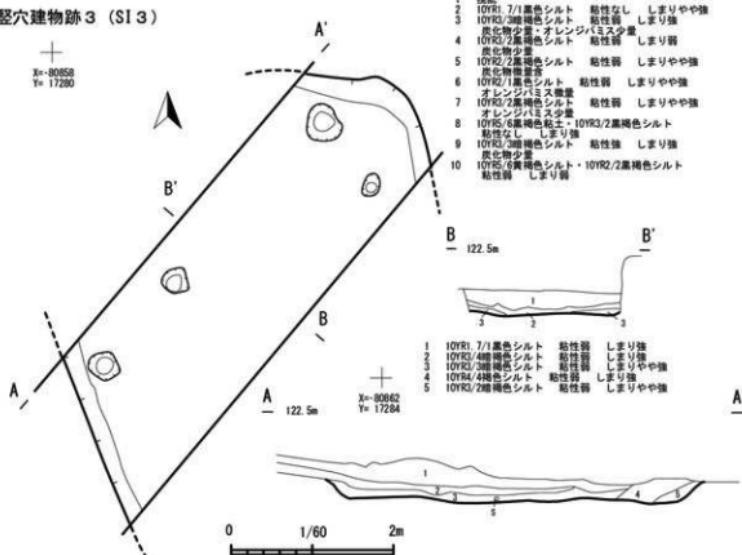
豊穴建物跡 1 (SI 1)



豊穴建物跡 2 (SI 2)

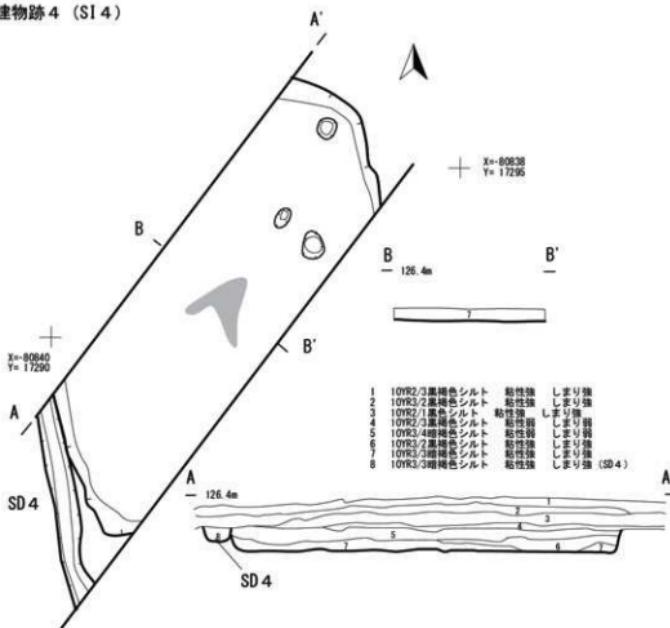


豊穴建物跡 3 (SI 3)

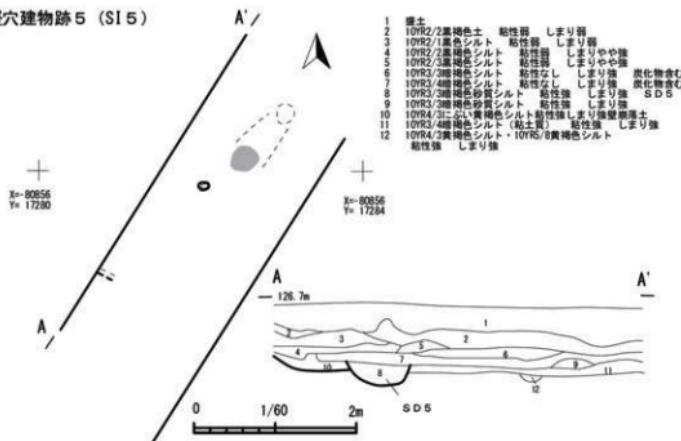


第5図 花曾根上遺跡検出遺構図（1）

豊穴建物跡 4 (SI 4)

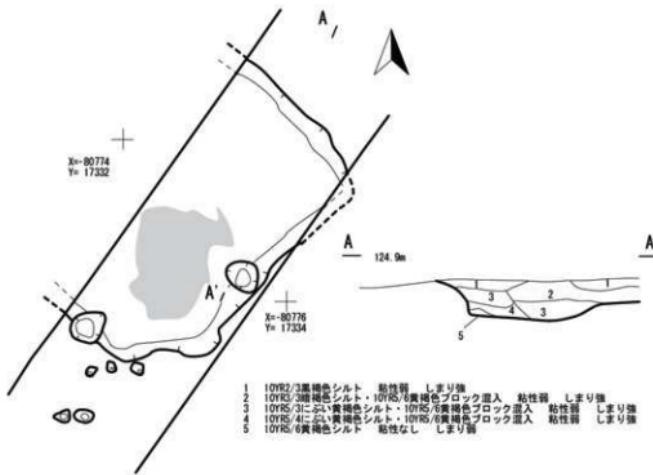


豊穴建物跡 5 (SI 5)

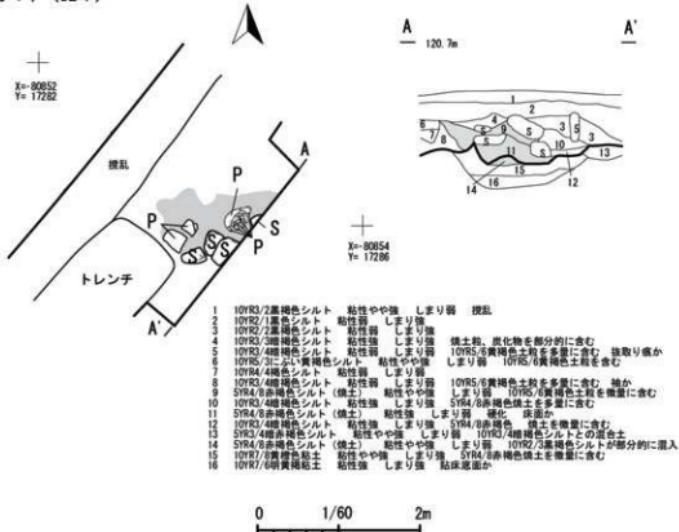


第6図 花曾根上遺跡検出遺構図 (2)

堅穴建物跡 6 (SI 6)

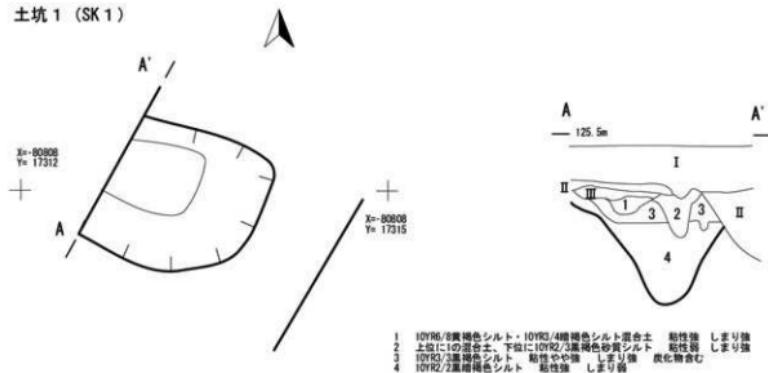


カマド (SL 1)



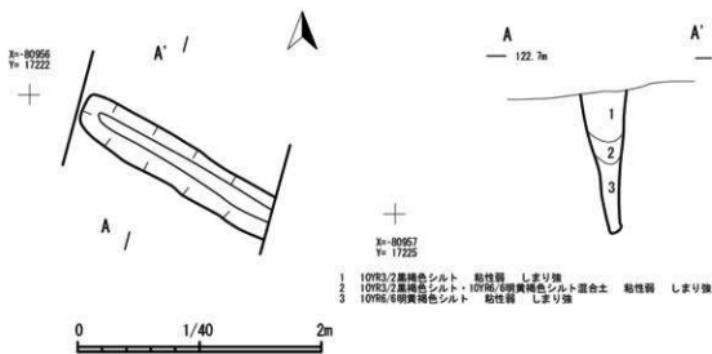
第7図 花曾根上遺跡検出遺構図 (3)

土坑 1 (SK 1)

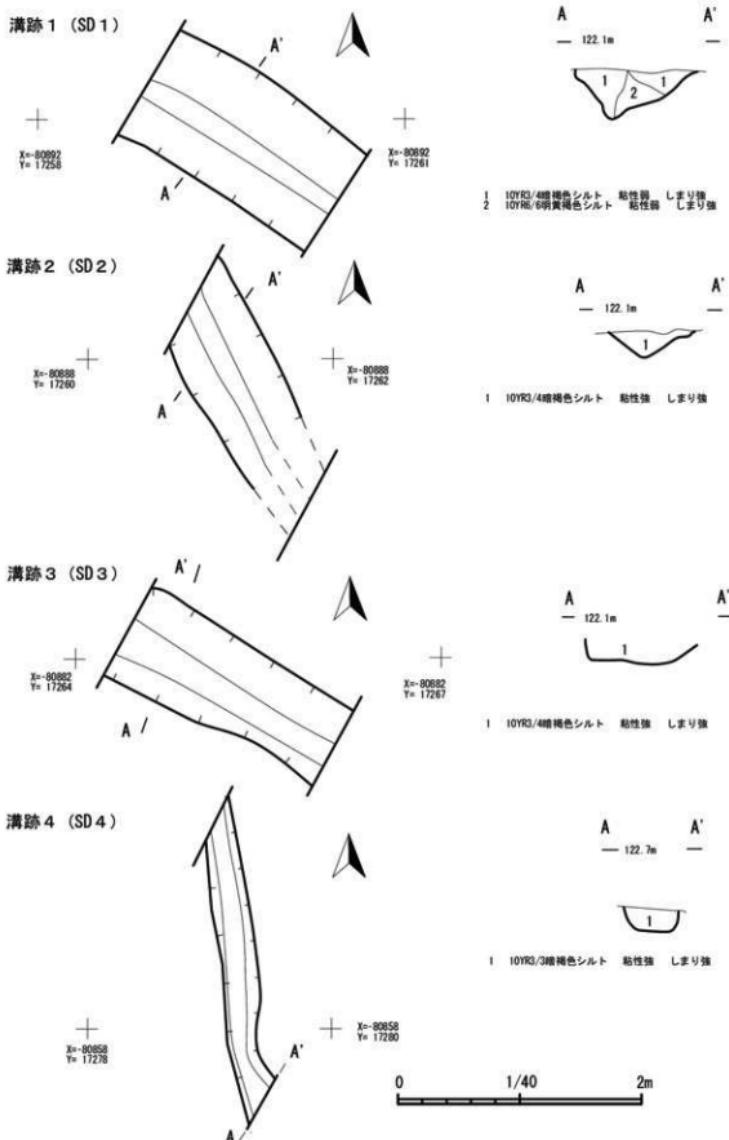


※ 土坑 2 は平面のみ実測。溝跡 7 参照

陥し穴状遺構 1 (SKT 1)



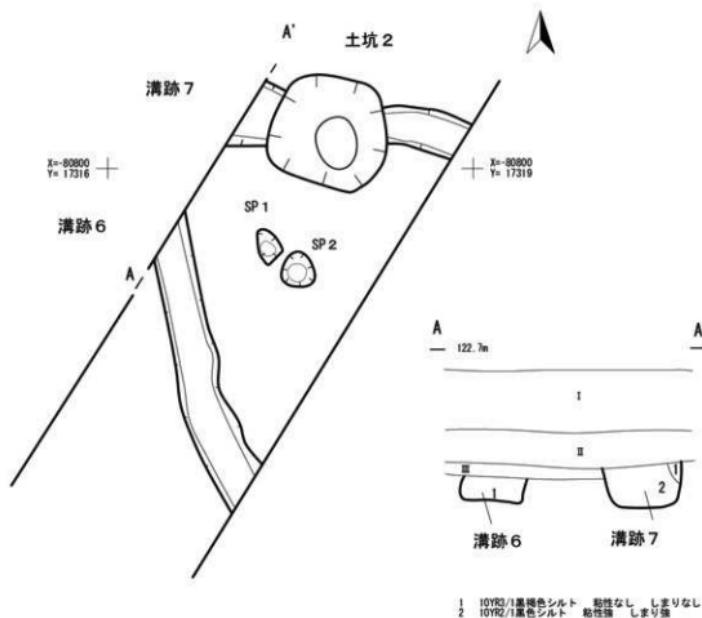
第 8 図 花曾根上遺跡検出遺構図 (4)



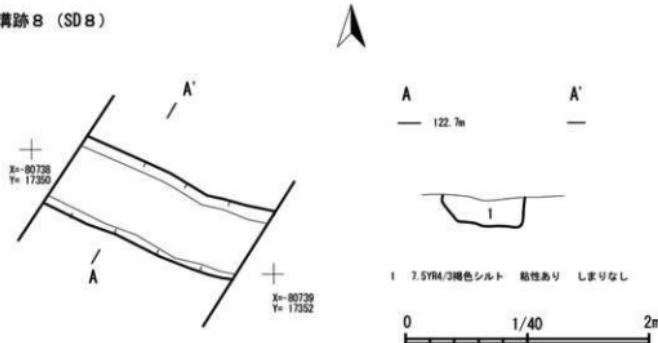
第9図 花曾根上遺跡検出遺構図(5)

※ 溝跡 5 (SD 5) は豎穴建物跡 5 を参照

溝跡 6 (SD 6) ・ 溝跡 7 (SD 7)



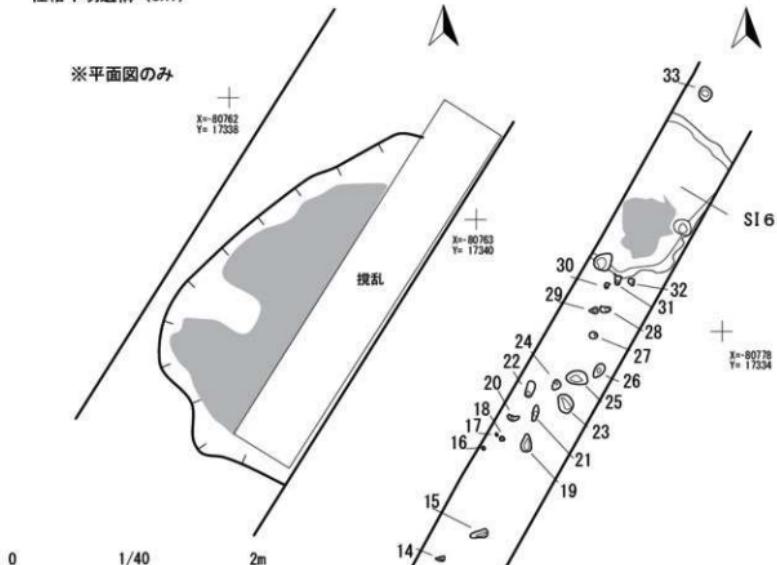
溝跡 8 (SD 8)



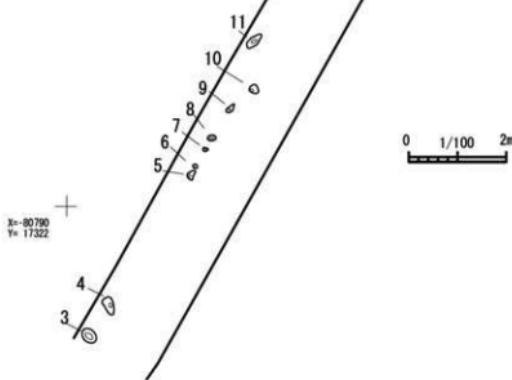
第10図 花曾根上遺跡検出遺構図 (6)

性格不明遺構 (SX1)

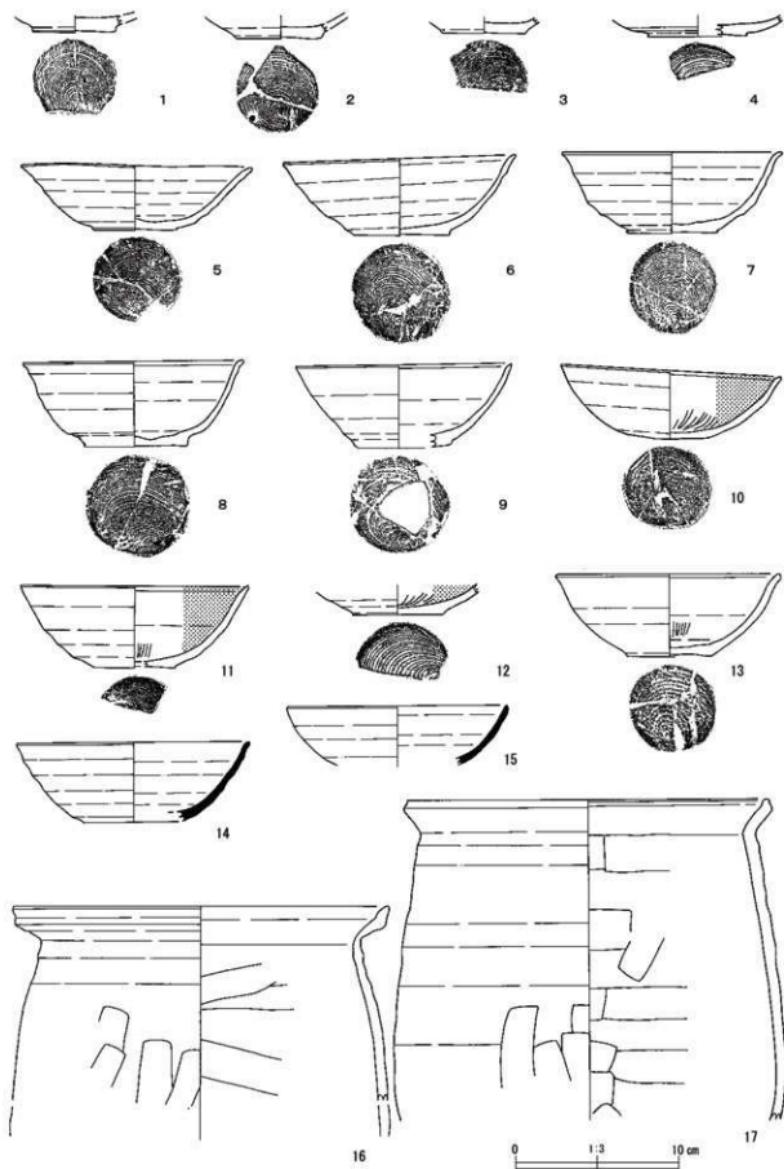
※平面図のみ



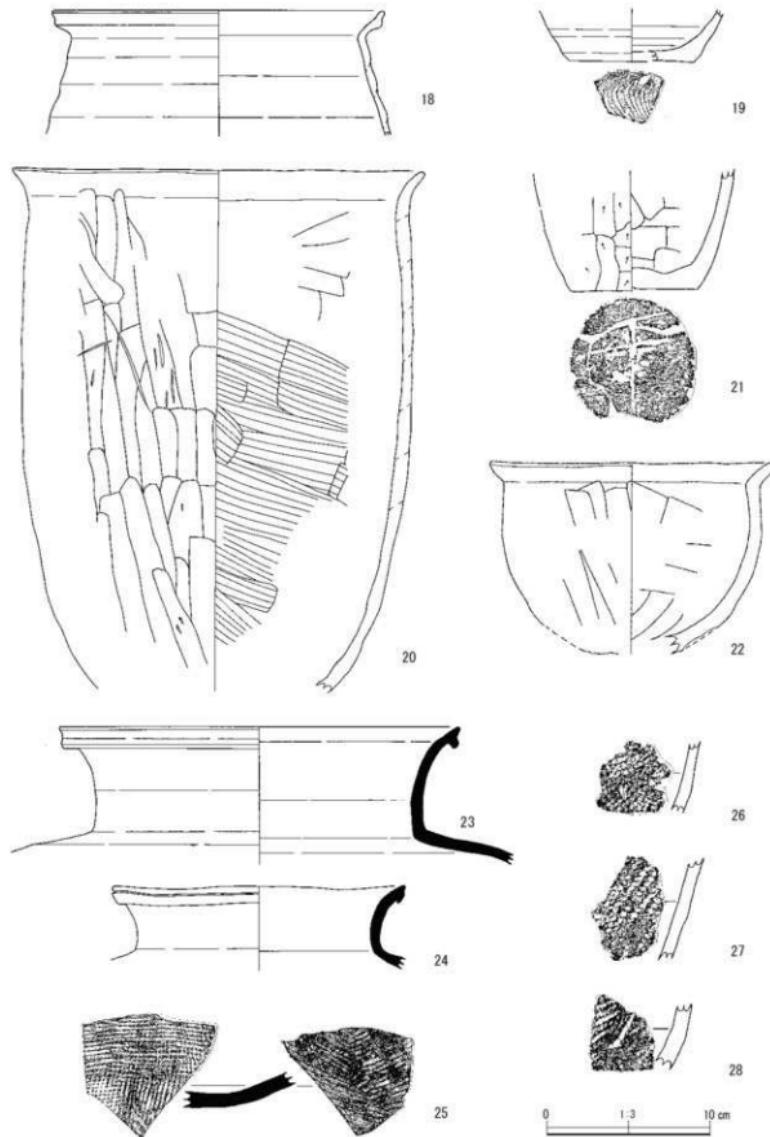
柱穴群 (SP3~SP33)



第11図 花曾根上遺跡検出遺構図 (7)



第12図 花曹根上遺跡遺物図（1）



第13図 花曽根上遺跡遺物図（2）

第3表 花曾根上遺跡出土遺物観察表（1）

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)			特徴	
						口径	器高	底部径		
						縦	横	厚さ	重量	
1	S I 6		土師器	壺	底部	-	(0.9)	5.1	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
2	S I 6	燒土	土師器	壺	胴部～底部	-	(1.3)	5.2	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
3	S I 6	カマド西	土師器	壺(小量)	底部	-	(0.7)	[5.2]	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
4	S I 3	埋土	土師器	壺	下半～底部	-	(1.2)	[6.0]	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
5	S I 6	カマド北	土師器	壺	略完形	14.0	5.0	4.0	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
6	S I 6		土師器	壺	略完形	14.2	5.9	4.9	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
7	S I 6	カマド南	土師器	壺	口縁～底部	(13.4)	5.6	4.9	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕、赤焼
8	S I 6		土師器	壺	口縁～底部	[16.4]	6.4	5.2	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
9	S L 1	カマド	土師器	壺		13.2	5.2	6.0	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕
10	S I 3	ベルト	土師器	壺	口縁～底部	[13.4]	4.5	5.0	-	口クロナデ、内面ミガキ、内黒、底部回転糸きり後ナデ?
11	S I 6	カマド南	土師器	壺	口縁～底部	[13.8]	5.0	[5.0]	-	口クロナデ、内面ミガキ、内黒、底部回転糸きり痕
12	S I 3	検出面	土師器	壺	下半～底部	-	(1.2)	[5.4]	-	口クロナデ、内面ミガキ、内黒、底部回転糸きり痕
13	S L 1	燒土	土師器	壺	口縁～底部	[13.2]	5.2	6.0	-	口クロナデ、内面ミガキ、底部回転糸きり痕
14	S K 1	埋土	埴造器	壺	口縁～底部	[14.2]	4.8	[6.2]	-	口クロナデ
15	S D 4	埋土下位	埴造器	壺	口縁～下半	[14.2]	(4.8)	-	-	口クロナデ
16	S L 1	燒土	土師器	甕	口縁～上半	[23.0]	(14.0)	-	-	口クロナデ、ナデ
17	S I 6	検出面	土師器	甕	口縁～下半	[22.0]	(19.4)	-	-	口クロナデ、ナデ
18	S I 5	カマド	土師器	甕	口縁～上半	[20.4]	(7.6)	-	-	口クロナデ、9世紀?
19	S I 2	埋土下位	土師器	甕	下半～底部	-	(3.2)	[7.6]	-	口クロナデ、底部回転糸きり痕、9世紀?
20	S L 1	カマド	土師器	甕	口縁～底部付近	[25.4]	(32.0)	-	-	内面ナデ、ハケメ、外側ナデ、キズ、ケズリ
21	S I 6	カマド内	土師器	甕	底部～胴下半	-	(7.8)	8.8	-	内面ナデ、外側ケズリ、底面に線刻(記号?) 刻紋瓶
22	S I 6	カマド内	土師器	甕	口縁～胴下半	[17.4]	(11.8)	-	-	内面ナデ、ナデ、丸底
23	S K 1	検出面	埴造器	甕	口縁～肩	[24.4]	(8.4)	-	-	口クロナデ
24	S K 1	検出面	埴造器	甕	口縁～頸部	[17.8]	(5.1)	-	-	口クロナデ
25	S K 1	埋土	埴造器	甕	胴部	-	-	-	-	外面タタキ、内面あて具痕
26	S D 4	埋土上位	楕文	鉢	胴部	-	-	-	-	破片、LR横、早期～前期
27	Ⅲ区		楕文	鉢	胴部	-	-	-	-	破片、LR縦、中期?

計測値の〔 〕は測定値。() が残存値を表す。

第4表 花曾根上遺跡出土遺物観察表（2）

掲載 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特 徴
						口径 mm	器高 mm	底部径 mm	重量 g	
縱	横	厚さ								
28	Ⅲ区		埴文	鉢	胴部	—	—	—	—	破片、LR瓶、織維含む、早期～前期
29	S I 3	ベルト	土師器	环	口縁	—	—	—	—	ロクロナデ
30	S I 3	埋土	土師器	环	下半～底部	—	—	—	—	ロクロナデ、底部回転糸きり痕
31	S I 6		土師器	环	底部	—	—	—	—	ロクロナデ、底部回転糸きり痕
32	S L 1	カマド	土師器	甕		—	—	—	—	内外面ロクロナデ、外面ナデ
33	S I 5	埴土	土師器	甕	下半～底部	—	—	—	—	底面ミガキ？、内外面ナデ
34	S I 4	埋土	土師器	甕	下半～底部	—	—	—	—	外面ケズリ、ナデ、内面ナデ
35	S I 6	埴土	土師器	甕		—	—	—	—	外面ミガキ、内面ハケメ、底面ミガキ
36	S K 1	埋土	埴造器	甕	胴部	—	—	—	—	外面タタキメ、内面あて具痕
37	S I 6	カマド内	埴造器	瓶	肩	—	—	—	—	ロクロナデ
38	S K 1	検出面	埴造器	甕	胴下半～底部	—	—	—	—	内面ハケメ・ナデ、外面ケズリ、ナデ
39	S I 6	カマド	鉄製品	不明		—	—	—	54.35	



遺跡全景 南西から



東側調査区 南西から

写真図版 1 花曽根上遺跡検出遺構（1）



S I 1 完堀 南から



S I 1 断面 北西から



S I 2 完堀 北西から



S I 2 断面 北東から



S I 3 完堀 南から



S I 3 断面 南西から



S I 4 平面 南から



S I 4 カマド断面 南から

写真図版2 花曾根上遺跡検出遺構（2）



S I 5 完堀 南から



S I 5 断面 南西から



S I 6 完堀 南から



S I 6 焼土 (カマド燃焼部?) 北東から



S L 1 断面 北西から

写真図版3 花曾根上遺跡棟出遺構（3）



SKT 1 平面 南東から



SKT 1 断面 南東から



SKT 2 検出 南東から



SK 1 断面 南西から



SD 6・SD 7 南から

写真図版 4 花曾根上遺跡検出遺構（4）



柱穴群 南西から



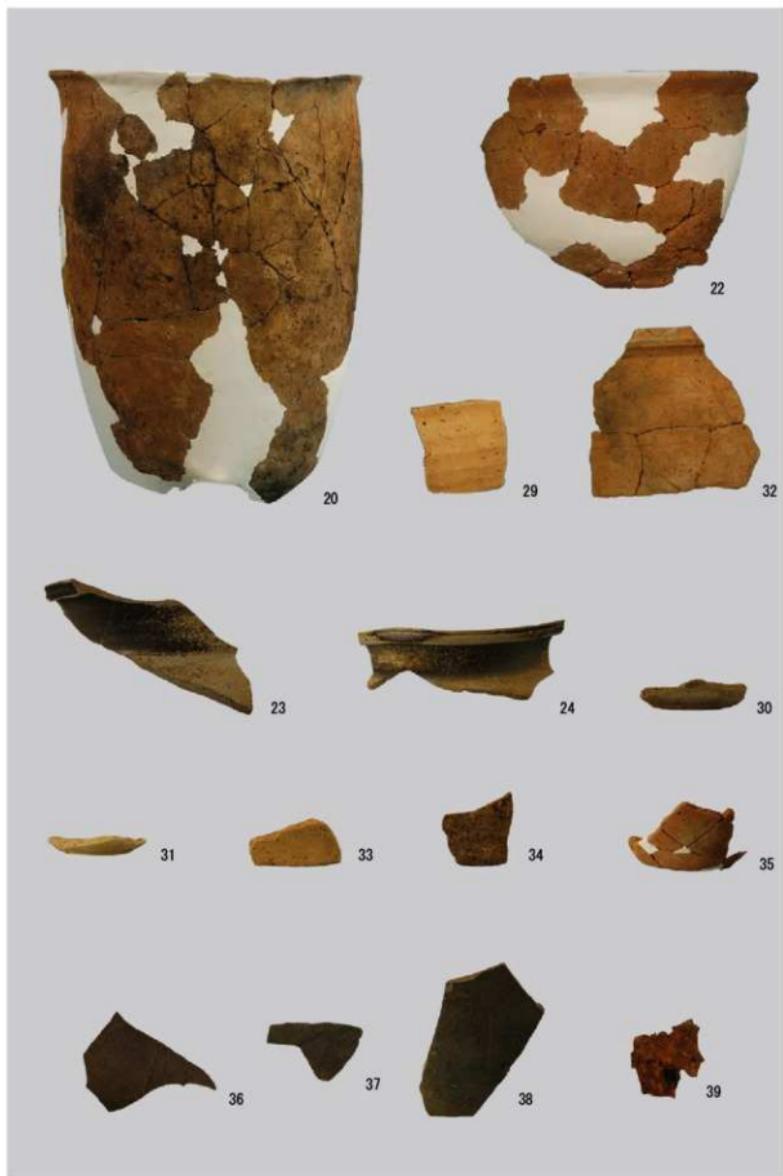
S X 1 北東から



遺物出土状況 S I 6



写真図版 6 花曾根上遺跡出土遺物（1）



写真図版 7 花曾根上遺跡出土遺物（2）

2 経営体育成基盤整備事業

上須々孫遺跡 (ME63-1286)

所在地：北上市和賀町煤孫第3地割地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成29年12月19日(火)～21日(木)

1 調査の概要

本遺跡は、北上市役所から西に約9.6kmの和賀川南岸の河岸段丘末端に立地する。過去に、秋田自動車道建設事業に伴う発掘調査（1992「林崎館遺跡発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第163集、以下「過去調査」）が行われ、縄文時代中期を中心とした集落遺跡であることが判明している。現況は水田及び道路で、現地標高は129～132mである。

事業は圃場整備に係るパイプライン整備によるもので、平成29年9月に当課で実施した試掘調査によって土坑状遺構2基を検出した。来年度の作付けに影響を及ぼすなど急を要するため、止むを得ず記録保存のための発掘調査を実施した。調査範囲は約29m²である。

基本層序は以下のとおりである。

I層 褐灰色土 層厚 15cm シルト層 表土・造成土（農道用敷砂利等）

II層 褐色土 層厚 30cm シルト層 造成土（礫多含）

III層 灰オリーブ色土 層厚 30cm シルト層 造成土（砂礫含）

IV層 黒褐色土 層厚 10cm シルト層 自然堆積層 粘性：やや強 しまり：疎

※北側の一部分のみ。

V層 褐色土 層厚 不明 シルト層 遺構検出面 粘性：弱 しまり：密

I～III層までが現代の道路等に伴う造成土であり、調査区北側の一部（SK01付近）にわずかに旧表土と思われるIV層が確認できた。しかし、大部分は、III層直下にV層が堆積している状況から、V層の上面まで削平を受けているものと思われる。なお、遺構外には遺物が全く見られなかった。

調査の結果、試掘調査で確認したとおり、土坑2基（SK01、SK02）をV層上面で検出した。

2 検出遺構（土坑）について

【SK01】

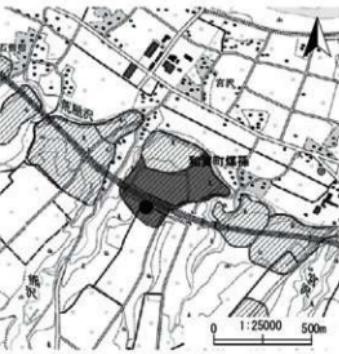
〔規模・形状〕上端が最大径89.8cm、下端が最大径119.1cm、深さが102.7cmの、平面が円形で、断面形状がいわゆるフラスコ状である。床面は、開口部に比べるとやや楕円形である。埋土第6層直下の村崎野軽石堆積層まで掘り込み形成されている。

〔埋土〕6層からなり、各層ともレンズ状に堆積しており自然堆積層と思われる。

〔遺物〕縄文土器片（総重量：約9.33kg）及び石器（総重量：約201kg）である。土器・石器とも第6層からの出土がほとんどである。

〔用途〕形状から、貯蔵穴として利用されたと考えられる。

〔時代〕出土遺物から、縄文時代中期中葉（大木8b式期）と考えられる。



第14図 上須々孫遺跡位置図

【SK02】

〔規模・形状〕上端が最大径131.0cm、下端が最大径173.6cm、深さが76.1cmの、平面が円形で、断面形状がいわゆるフラスコ状である。埋土第5層直下の村崎野輕石堆積層まで掘り込み形成されている。

〔埋土〕上面が削平されているため詳細は不明である。1・2層はレンズ状に堆積しているため、自然堆積と思われるが、遺物が大量に混入している。4層・5層は人為的な堆積と考えられる。4層は固く締まっており、雑物の混入もわずかであるため使用時の底面とも考えられる。5層についても、4層ほどではないが固く締まっており、人為的な堆積と考えられる。

〔遺物〕縄文土器片（総重量：約3.61kg）及び石器（総重量：約3.16kg）である。土器・石器とも第1層からの出土がほとんどである。

〔用途〕形状から、貯蔵穴として利用されたと考えられる。

〔時代〕出土遺物から、縄文時代中期中葉（大木8b式期）と考えられる。

〔その他〕過去に岩手県文化振興事業団岩手県埋蔵文化財センターが調査した土坑（1992『林崎館遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第163集、P83・86・87、IVG-1号ピット）と同じ遺構である。前回、調査区外のため未発掘であった部分を追加調査した形となる。埋土を見ると前回調査時に確認できた1・2層にあたる土層は確認できなかった。また、深さが前回調査時と比べ約36cm程度浅いことから、上面が大きく削平されているものと思われる。遺物は、前回調査時と同時期の土器が出土している。

3 まとめ

過去調査によると、本遺構の周辺に堅穴建物跡や同形状の土坑が検出されており、今回調査で検出した土坑も、これらに付随するものであり、貯蔵穴としての使用後、土器等が廃棄されたものと考えられる。形成時期については、出土した土器型式から判断すると、いずれも縄文時代中期中葉（大木8b式期）が想定される。過去調査でも、出土遺物の大部分が当該時期のものであり、今回調査で改めてそのことが確認された。完形の土器が皆無であり、断片的な情報での推察となるが、文様構成等から判断すると、大木8b式の中でも、古い段階に相当するものがほとんどであり、比較的限定された時期を中心とした集落跡であることがうかがえる。

<主要引用参考文献>

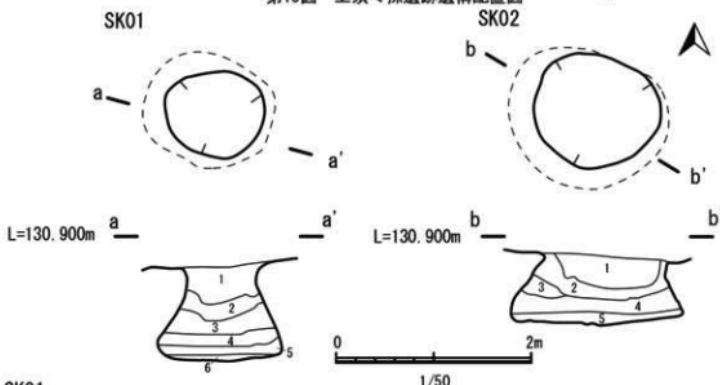
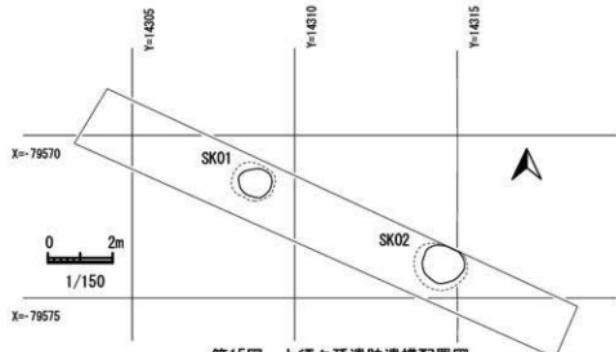
（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1992 『林崎館遺跡発掘調査報告書』（岩埋文第163集）

（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2018 『浜川目沢田I遺跡発掘調査報告書』I～III（岩埋文第689集）

高橋憲太郎 1982 『柿ノ木平遺跡』（盛岡市文化財調査報告書第23集）

盛岡市教育委員会 2004 『縄文の彩華－中期の技と美－』（盛岡市道路の学び館）

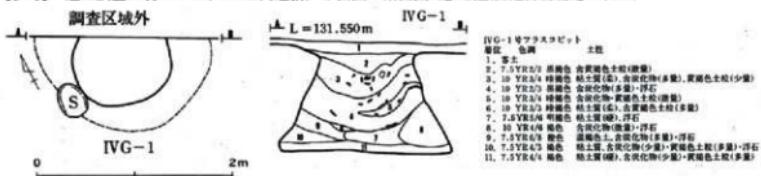
岩田 貴之 2004 「大木8式土器小考－鳩岡崎上の台遺跡出土資料の分析から－」『岩手考古学』 第16号 17～24頁



- SK01**
1. 10YR3/6 暗褐色シルト 粘性: 強 繊り: 密 遺物あり、浮石、炭化物(微)
 2. 10YR4/6 にぶい黄褐色シルト 粘性: 強 繊り: 密 遺物なし
 3. 10YR3/2 黒褐色シルト 粘性: 強 繊り: 密 遺物あり
 4. 10YR3/1 黒褐色砂質シルト 粘性: 弱 繊り: 疏 遺物あり
 5. 10YR3/3 黒褐色砂質シルト 粘性: 弱 繊り: 疏 遺物なし
 6. 10YR4/6 黄褐色砂質シルト 粘性: 弱 繊り: 疏 遺物あり(多)、礫(多)

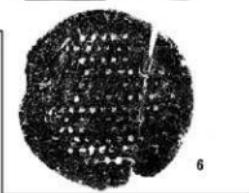
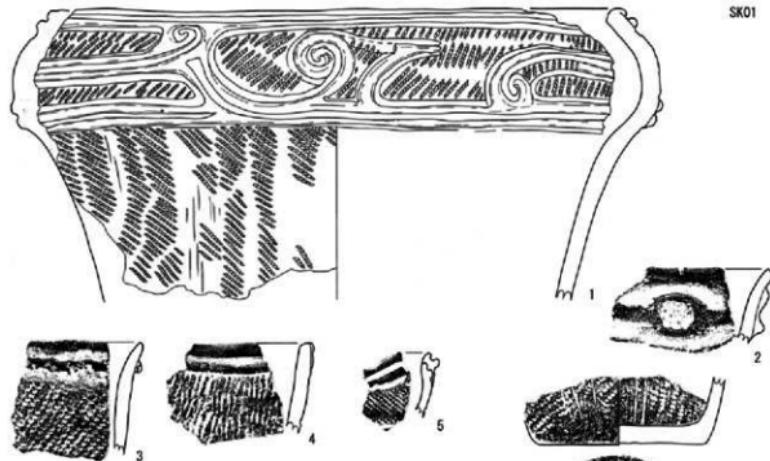
- SK02**
1. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト 粘性: 強 繊り: 密 含炭化物(多)、含黄褐色土粒(少)、浮石、遺物あり
 2. 10YR3/2 黑褐色シルト 粘性: 弱 繊り: 疏 含炭化物(多)、含黄褐色土粒(多)、浮石、遺物あり
 3. 10YR3/4 暗褐色粘土質シルト 粘性: やや強 繊り: 密 含炭化物(多)、浮石
 4. 7.5YR5/6 明褐色粘土質シルト 粘性: 強 繊り: 密 浮石、硬化面、遺物なし、底面か
 5. 7.5YR4/4 暗褐色粘土質シルト 粘性: やや強 繊り: 密 含黄褐色土粒(多)、遺物なし

[参考] 過去調査土坑IVG-1 (SK02と同構造) 平面図・断面図 (過去調査報告書掲載図版を一部加工)

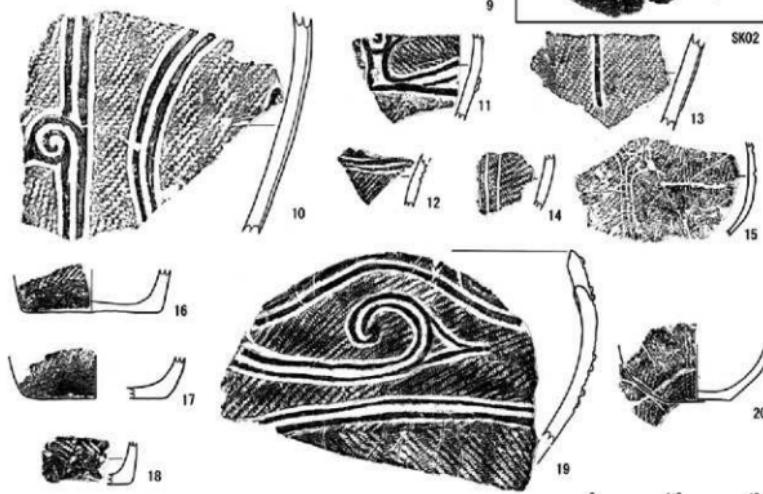


第16図 上須々孫遺跡検出遺構図

SK01

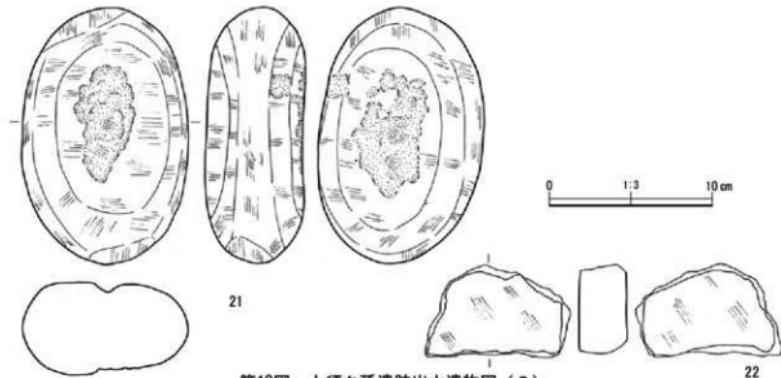


SK02



0 1:3 10 cm

第17図 上須々孫遺跡出土遺物図（1）



第18図 上須々孫遺跡出土遺物図（2）

第5表 上須々孫遺跡出土遺物観察表

土器

番号	器種	出土地点	出土層位	保存状況	表面文様・調整 参考番号は本文の解説		内面 文様 調整	内面 上段・外側 下段・内面	測定 直角	測定 横幅	時間・型式	付着物	焼成	その他の特徴・備考	
					表面	内部									
1	漆錠	SK01	埋土中層	口縁部	「口縁部」(口縁部) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	口縫に直角に横文と直角に横縞有り	黄褐色	黄褐色	直角	黄褐色	大本山式同期 (直角期)	[内面]コガ やや不良	・平縦 ・部分的に剥離が崩落している箇所がある ・直径約10cm (底定盤) ・(谷面) 17.6cm (底有板)
2	漆錠	SK01	埋土中層	口縁部	「口縁部」(口縁部) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	口縫に平行する複数の直縞と側部を区画する複数の横縞と側部を区画する複数の横縞	黄褐色	黄褐色	直角	黄褐色	直角	-	-
3	漆錠	SK01	埋土中層	口縁部	「口縁部」(口縁部) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	口縫に直角に横文と直角に横縞有り	黄褐色	黄褐色	直角	黄褐色	直角	-	-
4	漆錠	SK01	埋土中層	口縁部	「単線縞条件有り」(口縁部)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	-
5	漆錠	SK01	埋土中層	口縁部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	波状口縫
6	漆錠	SK01	埋土中層	底縁一部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	[内面]コガ やや不良	・少体的・摩滅 ・直角 10.3cm ・(谷面) 13.5cm (底有板)	
7	漆錠	SK02	埋土中層	口縁部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	波状口縫の直角口縫 の直線上に並んでいて直角
8	漆錠	SK02	埋土中層	口縁部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	[内面]コガ やや不良	-	
9	漆錠	SK02	埋土中層	口縁部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	-
10	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	・輪縞模様あり
11	漆錠	SK02	埋土中層	口縫部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	-
12	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	[内面]コガ やや不良	-	
13	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	・やや不良
14	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	-
15	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	-
16	漆錠	SK02	埋土中層	側部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	・やや不良
17	漆錠	SK02	埋土中層	底縁一部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	[内面]コガ やや不良	-	
18	漆錠	SK02	埋土中層	底縁一部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	[内面]コガ やや不良	-	
19	漆錠	SK02	埋土中層	底縁一部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	ナゲ	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	直角	-	・頭部弧状の波状口縫
20	漆錠	SK02	埋土中層	底縁一部	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	不明	直角縞	黄褐色	黄褐色	直角	直角	-	-	
21	漆錠	SK02	埋土中層	変形	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	明鏡	1096.0	-	-	[内面] 15.7×(高) 19.2×(高) 6.1cm	-	-		
22	漆錠	SK02	埋土中層	全周欠損	「口縫」(口縫) (底凹3条)	「内縁部」(内縁部) (底凹3条)	从美	260.4	-	-	[内面] 5.7×(高) 8.9×(高) 2.9cm	残存部	-		

石器

番号	器種	出土地點	出土層位	保存状況	石材	色調	重さ(g)	付着物	備考
21	石斧	SK02	埋土中層	変形	海砂岩	明鏡	1096.0	-	[内面] 15.7×(高) 19.2×(高) 6.1cm
22	漆錠	SK02	埋土中層	全周欠損	輝石安山岩	从美	260.4	-	[内面] 5.7×(高) 8.9×(高) 2.9cm 残存部



調査区全景 調査前（南東から）



調査区全景 遺構検出状況（北西から）



SK01検出状況（南東から）



SK02検出状況（北西から）



SK02断面（南西から）



SK01完掘状況（南東から）

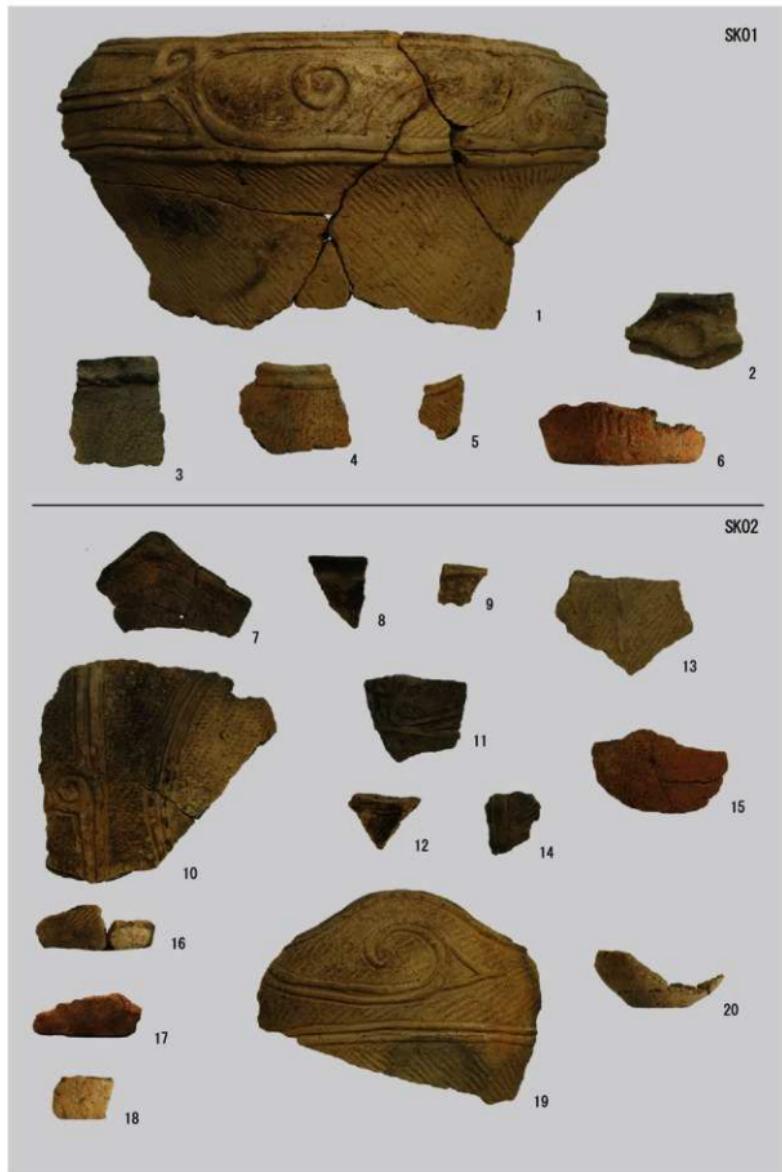


SK02完掘状況（南東から）



調査区全景完掘状況（南東から）

写真図版8 上須々孫遺跡検出遺構



写真図版 9 上須々孫遺跡出土遺物（1）



写真図版10 上須々孫遺跡出土遺物（2）

II 試掘調査



第19図 試掘調査位置図

1 北上川中流部緊急治水対策事業

はうじょうだいあと

北条館跡 (LE77-0164) 及び隣接地

またひづめじょううないいちいせき

北日詰城内 I 遺跡 (LE77-0194) 及び隣接地

みなみひづめいだいざんにいせき

南日詰大銀 II 遺跡 (LE77-1104)

所 在 地：紫波郡紫波町北日詰字城内地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査期日：平成29年4月10日(月)～13日(木)

今回の事業は緊急治水対策事業の一環で建設される築堤工事に伴う調査である。事業予定地は紫波町役場から南南東へ約2.1km、標高約90mを測る北上川右岸の低位段丘に立地している。事業に係り以下の周知の埋蔵文化財包蔵地の調査を行った。

【北条館跡及び隣接地】

調査区域は館跡の東側で、現況は水田及び畠地である。館跡の南辺には堀の痕跡と思われる水路が見られ、西側の現道はかつて堀だったようである。調査区に試掘トレンチを15箇所設定した。調査の結果、調査区の東縁辺に設定した試掘トレンチの中で、T 8では段丘疊層の上部に人工的に整地されたと思われるテラス状の地形を確認した。また、調査区の平坦部に設定したT 9～13、T 15で柱穴26基、住居跡と考えられる性格不明遺構5基、北上川への水路または道と考えられる溝状遺構を4条確認した。T 14では土師器片や炭化物が出土し、建物跡が存在すると考えられる。

今回の試掘調査での出土遺物は少ないが、北条館跡東境から事業地西境までの範囲について、古代の集落跡及び中世の館跡が所在する可能性が高い。

【北日詰城内 I 遺跡及び隣接地】

調査区域は遺跡の中央部で、現況は水田及び畠地である。調査区に試掘トレンチを6箇所設定した。調査の結果、調査区北側の隣接地に設定したT 1・2では田床の下部層が中疊層及び砂層となっていることを確認し旧河道であると考えられる。調査区中央の平坦部は、耕作による改変が見られるが、T 3で焼土遺構1基、土坑2基、竪穴建物跡状遺構を3棟確認した。T 4においても竪穴建物跡1棟、溝状遺構1条を確認した。竪穴建物跡は重複しているものもあり、ある程度時期差を持つ集落跡である可能性が高い。以上のことから、北日詰城内 I 遺跡内に計画されている事業地範囲について、遺構・遺物が所在する可能性が高い。

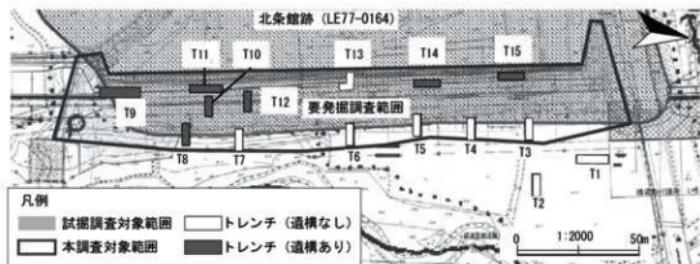
【南日詰大銀 II 遺跡】

遺跡の北側には東西方向に旧河道が見られ、遺跡の範囲を区切っている。調査区域は、遺跡の北東部縁辺で、南境に衛生処理場が所在しており、現況は畠地である。調査区に試掘トレンチを3箇所設定した。調査の結果、調査区は耕作によって改変されており、地山（検出面）までの深さは0.3m程度であることが判明した。表土にはその際に掘り起こされたと思われる土師器片が多く散布している。また、設定したトレンチT 1で柱穴を6基、T 2で3基、T 3で3基検出した。以上のことから、南日詰大銀 II 遺跡内に計画されている事業地範囲について、遺構・遺物が所在する可能性が高い。

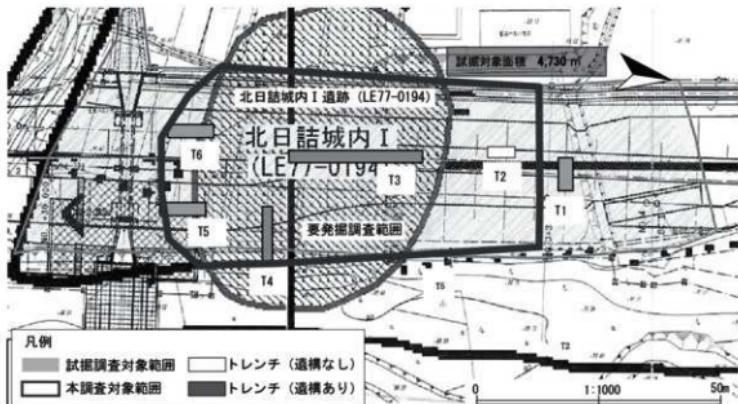
(いずれも平成30・31年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



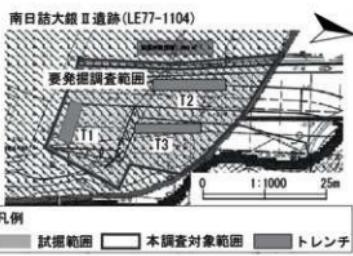
第20図 北条館跡ほか位置図



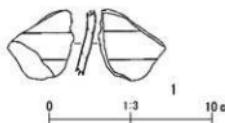
第21図 北条館跡及び隣接地調査位置図



第22図 北日詰城内 I 遺跡及び隣接地調査位置図



第23図 南日詰大銀 II 遺跡調査位置図



第24図 北条館跡及び隣接地出土遺物図



写真図版11 北条館跡及び隣接地出土遺物

第6表 北条館跡及び隣接地出土遺物観察表

測定番号	出土地點	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径	器高	底部径	重量	
						横	横	厚さ		
1			土師器	甕	胴部	—	—	—	—	内外面ヨコナデ

2 北日詰交差点改良事業（南日詰地区）

あたひづめとうのぼうにいせき

北日詰東ノ坊II遺跡 (LE77-0069)

あたひづめとうのぼうさんいせき

北日詰東ノ坊III遺跡 (LE77-0078)

所 在 地：紫波郡紫波町北日詰地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査日：平成30年3月15日(木)

紫波町役場から南南東22kmの位置にあり、標高は85m前後を測る。調査は国道4号沿いに歩道を設置することによるものである。

【北日詰東ノ坊II遺跡】

南側には北日詰東ノ坊III遺跡がある。現在、宅地や駐車場になっている区域については、分布調査の結果、すでに破壊されている可能性が高いことから、慎重工事としている。今回の試掘調査は草地となっている区域（約10m²）を対象としている。調査の結果、人為的堆積層のみが確認され、遺構や遺物は発見できなかった。周囲と同様に、すでに削平されていることが判明した。

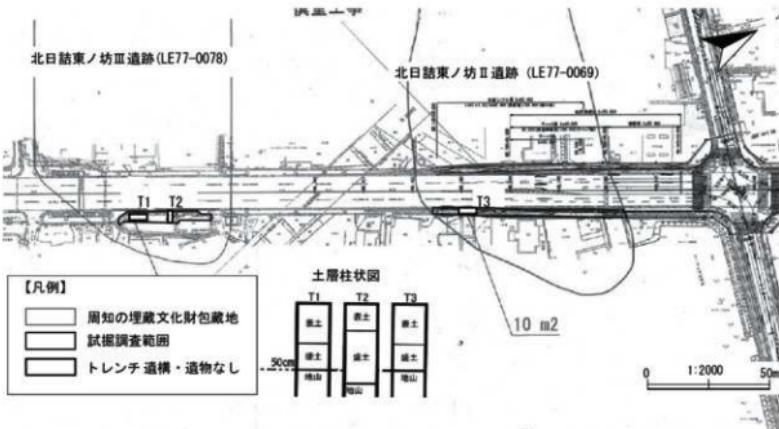
【北日詰東ノ坊III遺跡】

南側で比爪館遺跡と隣接し、南東側には12世紀のかわらけが出土している南日詰小路口II遺跡があり、古代から中世の遺跡が多い区域である。トレンチを2箇所設定して手掘りによる掘削を実施したのち、精査を行った。いずれのトレントでも表土（畠地）の下は盛土（水田層）で、自然堆積層は確認できず、遺構や遺物も発見できなかった。地山は、すでに削平されていることが伺え、北側の住宅のコンクリート基盤が残っている区域も同様の状況と判断した。

(共に慎重工事)



第25図 北日詰東ノ坊II・III遺跡位置図



第26図 北日詰東ノ坊II・III遺跡調査位置図

3 東北横断自動車道釜石秋田線（遠野道路）

ひらのはらにいせき
平野原Ⅱ遺跡（MF76-0028）

所 在 地：遠野市上郷町平野原第2地割地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

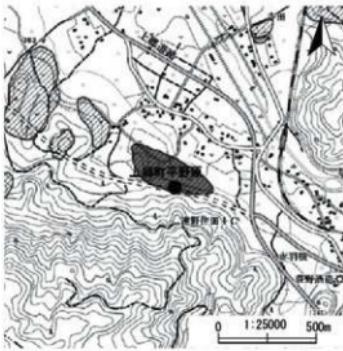
岩手河川国道事務所

調査期日：平成29年12月22日（金）

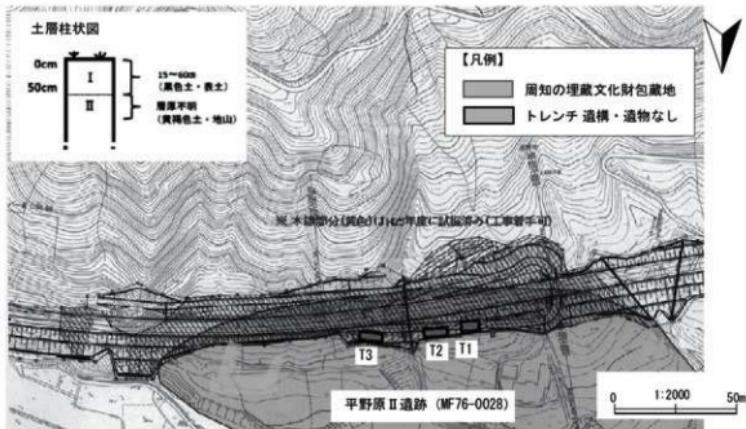
調査対象地はJR東日本釜石線平倉駅から西北西へ約1.5km、南側山稜から続く河岸段丘面上に立地し、標高は380～390mである。調査は除雪車転回施設の新規設置による設計変更に伴うもので、本線部分については平成25年6月に先行して試掘調査を実施しており、遺構は見つかっていない。今回の追加買収地については、より遺跡の中心に近く、後背山地からの土石流の影響も地表観察では見られなかったことから、比較的原地形が残っているものと推測される範囲を中心に、トレンチを3箇所設定し、試掘調査を行った。

その結果、西側のT1～2については、後背山地からの土石流の影響によるものと思われる大径の礫がⅡ層から多く検出された。また、沢を挟んだ東側のT3については、Ⅱ層（黄褐色土）中に厚く砂質土が分布していた。いずれのトレンチにおいても遺構や遺物は確認することはできなかった。

(慎重工事)



第27図 平野原Ⅱ遺跡位置図



第28図 平野原Ⅱ遺跡調査位置図

4 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

かぬかはまいちいせき

鹿糠浜 I 遺跡 (IF58-1399) 隣接地

所 在 地：九戸郡洋野町種市第15地割地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

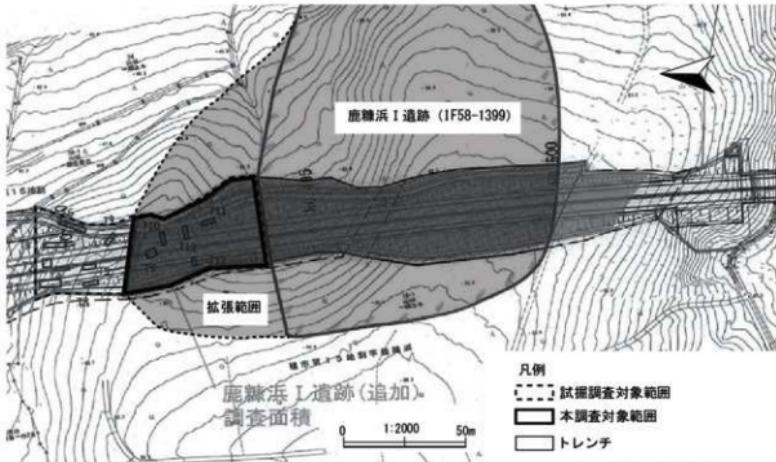
調査期日：平成29年7月6日(木)～7日(金)

事業予定地は洋野町種市庁舎から南南東へ約2.4kmに位置する。1.46～1億年前にできた花崗岩を基盤として、78.1～12.6万年前に形成された海岸段丘面上にある。標高は51～61mである。当該地南側では、平成29年度当初から県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施していたが、遺構がさらに北側へ続く可能性がでてきたことから、追加の試掘調査を委託者了解のもと実施したものである。

基本土層は4層に区分した。II層（黒色土）は斜面下側ほど厚くなるが、尾根部では削平を受けて薄い場所がある。III層はII層とIV層（鈍い褐色土）の漸移部で、場所と深さにより厚さが増減する。III層とIV層には黄橙色の細粒軽石を混入することがあり、南側谷部で顕著である。

トレンチは13本設定した。T9ではII層が厚く、約1m下で地山を確認した。T12では琥珀1点と石製品片1点が出土した。琥珀は5mm前後サイズに碎けており、残存状況から拳大サイズと推測される。石製品片は緑色の石材（凝灰岩か）を素材とする小型の石斧状破片である。基部が破損した長さ約2cm、巾約2cm、厚さ約0.5cmで、先端部が石斧状に研磨されている。今回の調査では、すべてのトレンチで遺構は検出されなかったが、出土した遺物から鹿糠浜I遺跡が本調査区まで広がる可能性がある。後日、周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲変更手続きを行った。

(平成30年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



第30図 鹿糠浜 I 遺跡隣接地調査位置図

5 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

いたばしにいせき
板橋 II 遺跡 (IF58-0234) (旧可能性あり14)

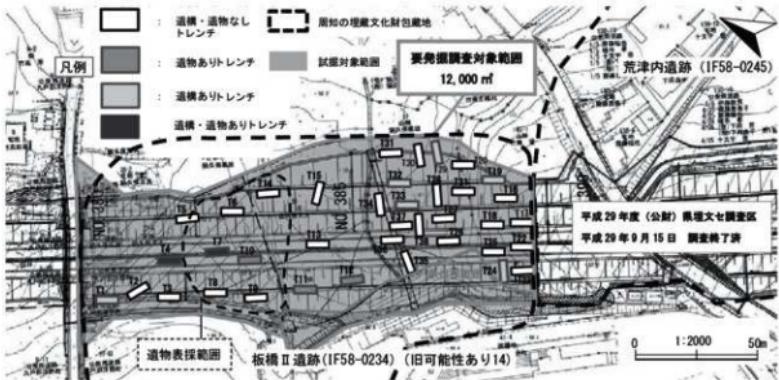
所在 地：九戸郡洋野町種市第21地割 地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

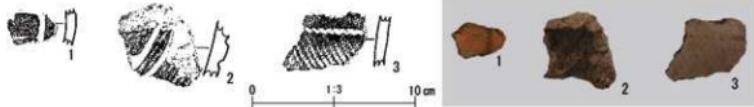
調査期日：平成30年2月14日(水)

調査対象地は洋野町役場から南西へ約1.2km、オーシャンビュースタジアム東側隣接地にあたり、標高は約57~66mを測る。調査区は荒津内遺跡(IF58-0245)の北側隣接地に位置する。調査ではトレーニングを38箇所設定した。その結果、調査範囲全体にかけて遺構及び遺物が検出され、遺跡が広範囲に広がっていることが確認された。T1・24では長方形の陥り穴状遺構、T4では土坑、T7・32では焼土、T33では堅穴建物跡と考えられるプランを確認した。またT19・29では柱穴、T10~12では少量ではあるが土器や砾石器が出土した。また、調査区北寄り1/3付近(南向き斜面)に約1m~1.5m前後の東西にはしる小規模な段差があり、その下部に砾石器等の遺物が少量確認された。

(平成30年度県埋文化財センターにより発掘調査実施)



第32図 板橋 II 遺跡 (旧可能性あり14) 調査位置図



第33図 板橋 II 遺跡 (旧可能性あり14) 出土遺物図

写真図版12 板橋 II 遺跡 (旧可能性あり14) 出土遺物

第7表 板橋 II 遺跡 (旧可能性あり14) 出土遺物観察表

掘立番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径	器高	底部径	重量	
					幅	横	厚さ			
1	T7	表採	縹文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	沈締
2	T7	II	縹文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR縫、沈締
3	T10	II	縹文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR縫体圧痕、LR縫

6 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

伝吉 I 遺跡 (IF37-2396)

所在地：九戸郡洋野町種市第44地割地内

事業者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

調査期日：平成30年1月16日(火)

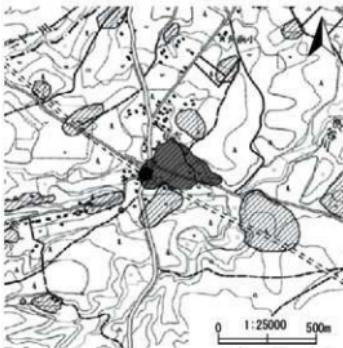
調査対象地は洋野町役場から西北西へ約4.4km、国道45号線西側の海岸段丘上に位置し、標高は約70mを測る。当該地は、平成28年度に県埋蔵文化財センターが発掘調査を行った北ノ沢 I 遺跡 (IF47-0345) とは沢を挟んだ北東側にある。

当該試掘調査については、本線工事に先立つ町道の切替工事に伴うもので、交差点付近の狭小な調査区に

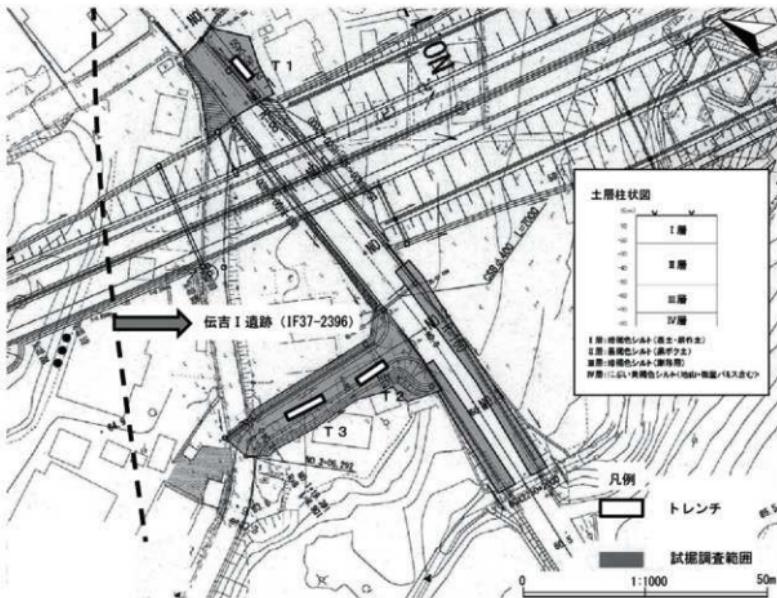
1箇所 (T 1)、畠地・牛舎として使用されていた調査区に2箇所 (T 2～3) の合計3箇所設定し、遺構及び遺物等の有無、土層の確認を行った。

その結果、T 2～3では黒褐色～暗褐色土までの自然堆積層が良好な状態で残存していたものの、いずれのトレンチからも遺構や遺物等は確認することはできなかった。

(慎重工事)



第34図 伝吉 I 遺跡位置図



第35図 伝吉 I 遺跡調査位置図

7 三陸沿岸道路（野田久慈道路）

あしがさわにいせき
芦ヶ沢Ⅱ遺跡（JF49-1304）及び隣接地

所 在 地：久慈市長内町第17地割地内

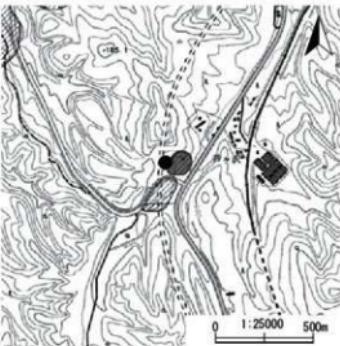
事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

調査期日：平成29年6月8日（木）

調査対象地は久慈市役所から南南西へ約4.5km、国道45号線西側の山地の中腹に位置し、標高は約90mを測る。当該地は、平成28年度に県埋蔵文化財センターが発掘調査を行った本線調査区の西側隣接地にあたり、追加のレベルバンク設置箇所が当該遺跡及び隣接地にあたることから、追加の試掘調査を実施することとなったものである。

調査ではトレンチを10箇所（T 1～10）設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。その結果、いずれのトレンチからも遺構及び遺物等は確認されなかった。調査区外西側には廃絶されて長時間経過した林道と原地形を改変した様子がみられ、その当時、発生した土砂がT 6～9一帯に堆積したものと考えられる。

（猿重工事）



第36図 芦ヶ沢Ⅱ遺跡位置図



第37図 芦ヶ沢Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図

8 三陸沿岸道路（田野畑道路）

はまいわいわいろくいせき

浜岩泉VI遺跡 (KG33-1030) 及び隣接地

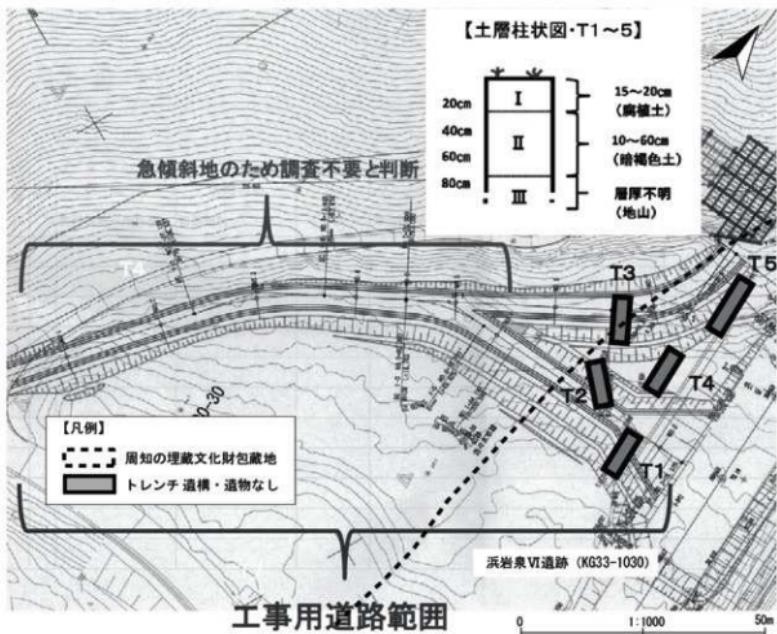
所 在 地：下閉伊郡田野畑村浜岩泉地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

調査期日：平成29年7月25日(火)

調査対象地は、道の駅たのはたから南へ約0.4km、北側を東流する松前川によって画された標高200m前後を測る海岸段丘面の縁に立地する。当該地については、新思惟大橋の建設に伴う工事用道路の開削によるもので、本線部分については過去の試掘調査により工事着手可と判断されているものの、今回の対象地については、当該遺跡の西端部にあたり、遺跡外にも日当たりのよい緩斜面地が続いていることから、追加の試掘調査を実施したものである。試掘にあたっては、遺構等が確認される可能性が高い緩斜面地を中心に、トレンチを5箇所（T1～5）設定し調査を行った。

その結果、いずれのトレンチにおいても攪乱等は見られず、ほぼ基本層序と同様な堆積状況を呈していたものの、遺構や遺物等は確認することができなかった。
(猿重工事)



第39図 浜岩泉VI遺跡及び隣接地調査位置図

9 三陸沿岸道路（宮古田老道路）

せんとくじょういせきぐん
千徳城遺跡群 (LG33-0197)

所 在 地：宮古市千徳地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

調査期日：平成29年8月1日(火)、

平成30年2月6日(火)

【1回目】

調査対象地は宮古市役所から西へ約3km、緩やかな北側山稜と閉伊川によって形成された沖積地との境界付近に位置し、標高は15m前後である。当該地の隣接地については、平成26年12月に道路予定地の試掘調査を実施しており、当該地を挟んだ北側山稜の緩斜面地と南側は造構が確認されたことから、要本調査対象地となっている。試掘にあたっては、残存するコンクリート製の強固な住宅基礎部分を除き、造成の影響が及んでいない山稜縁を中心に、トレーニチを2箇所設定し調査を行った。その結果、いずれのトレーニチにおいても、隣接する沢の氾濫によるものと思われる砂質土が厚く堆積しており、地山と思われる層位からは湧水も見られ、造構や遺物は確認することができなかった。

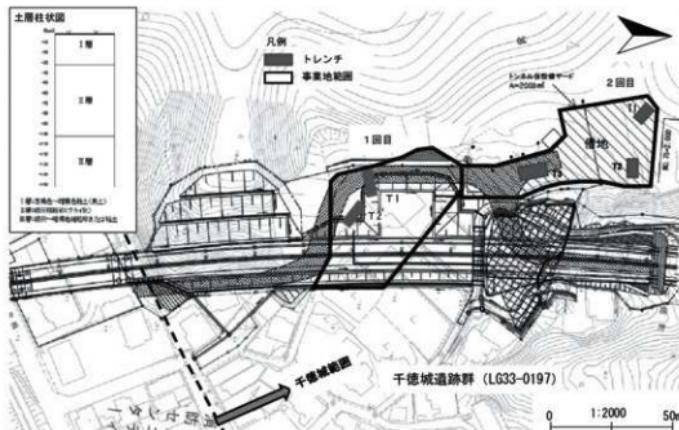
【2回目】

トレーニチを3箇所設定し、造構及び遺物の有無、土層の確認を行った。その結果、粗粒砂～細粒砂(粘土層含む)を主とする堆積物が厚く、層中には遺跡に関する造構や遺物等は確認されなかった。谷地形で水はけが悪く、トレーニチ底部からも湧水が見られた。厚く堆積していた砂層は風化花崗岩由来のもので、長年にわたり周辺地一帯から流入したものと推測される。

(慎重工事)



第40図 千徳城遺跡群位置図



第41図 千徳城遺跡群調査位置図

10 一般国道45号復興（大槌町吉里吉里地区）

しんだてあと 新館跡 (MG33-0348)

所 在 地：上閉伊郡大槌町吉里吉里地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

調査期日：平成29年5月31日(水)、9月20日(水)

調査対象地は大槌町役場から西北西へ約4km、吉里吉里海岸西側の海岸平坦地に張り出した尾根の突端部及び崖下で、標高は約10m～20mを測る。調査は一般国道45号の改良事業に伴うものである。

【1回目】

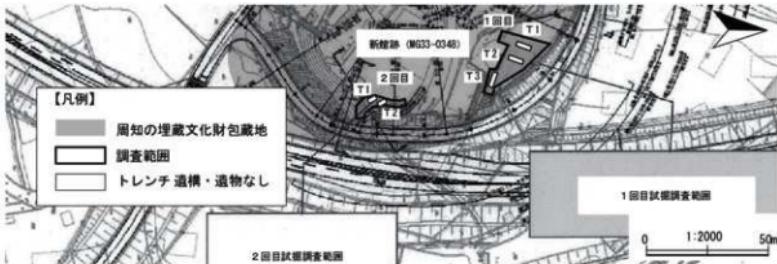
トレーニングを3箇所設定した。その結果、いずれのトレーニングにおいても廃棄物混じりの表土を除去すると極

浅い面から黄褐色土の地山が露出し、遺構及び遺物等は確認されなかった。おそらく付近の擁壁施工時に原地形を削平改変したため、自然堆積層が失われてしまったものと考えられる。T1は地表から15mまでが搅乱土であった。

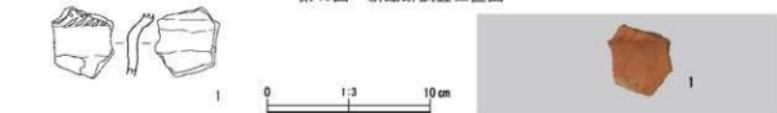
【2回目】

調査は個人住宅への導入路の設計が変更されたことに伴うもので、トレーニングを2箇所設定した。その結果、T1の表土中から櫛炉の一部が出土したものの、より下層の地山付近からは現代の陶磁器片等も確認され、庭土の客土か流れ込みによってもたらされたものと判断した。遺構についても確認することはできず、広く削平を受けていると考えられる。

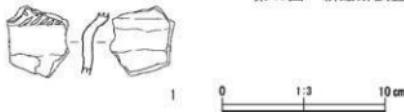
(共に慎重工事)



第42図 新館跡位置図



第43図 新館跡調査位置図



第44図 新館跡出土遺物図

写真図版13 新館跡出土遺物

第8表 新館跡出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)				特徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1	T1	搅乱	土器	七匣・ 櫛炉類	体部	—	—	—	—	縞目文様押型、近世～近代

11 三陸沿岸道路（釜石山田道路）

辺地沢 I 遺跡 (MG32-0359)

所 在 地：上閉伊郡大槌町大槌地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

調査期日：平成29年5月10日(水)、11月7日(火)

調査対象地は、大槌町役場から北へ約1.5km、北側山稜から南流する辺津ヶ沢の堆積により形成されたものと思われる平坦地に立地し、標高は8m前後である。当該調査については、三陸沿岸道路（釜石山田道路）の大槌ICの建設工事に伴うものである。

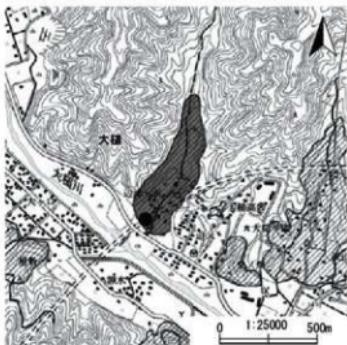
【1回目】

調査対象地には家屋の基礎等が随所に残存していることから、比較的造成の影響を受けにくい庭地や畠地部分を中心にトレンチを3箇所設定し調査を行った。その結果、いずれのトレンチにおいても深層まで及ぶ二度の造成痕が確認され、最下層では周辺地における過去の試掘結果と同様に、崖錐性の砂礫による地山層が見られた。遺構・遺物についても確認することはできなかった。

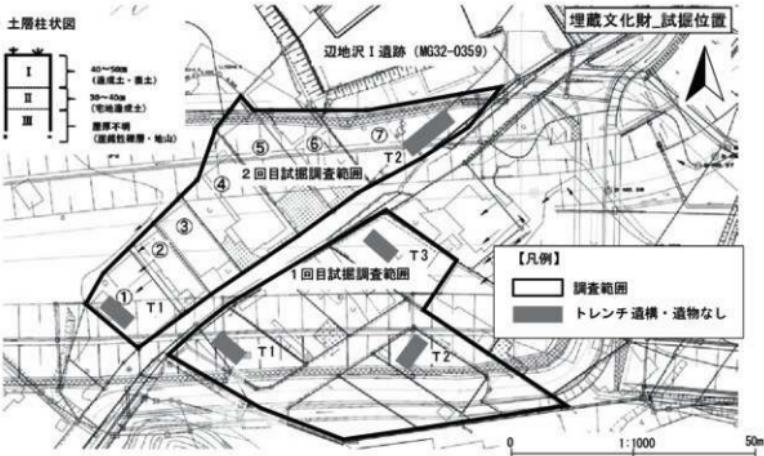
【2回目】

トレンチを2箇所設定し調査を行った。その結果、いずれのトレンチにおいても深層まで及ぶ造成痕が確認された。遺構・遺物も確認することはできなかった。

(共に慎重工事)



第45図 辺地沢 I 遺跡位置図



第46図 辺地沢 I 遺跡調査位置図

12 三陸沿岸道路（吉浜釜石道路）

釜石市道平林線切替工事

荒川砂子渡遺跡（MG92-2055）

所在地：釜石市唐丹町上荒川地内

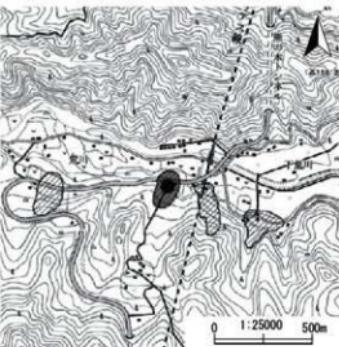
事業者：国土交通省東北地方整備局

南三陸国道事務所

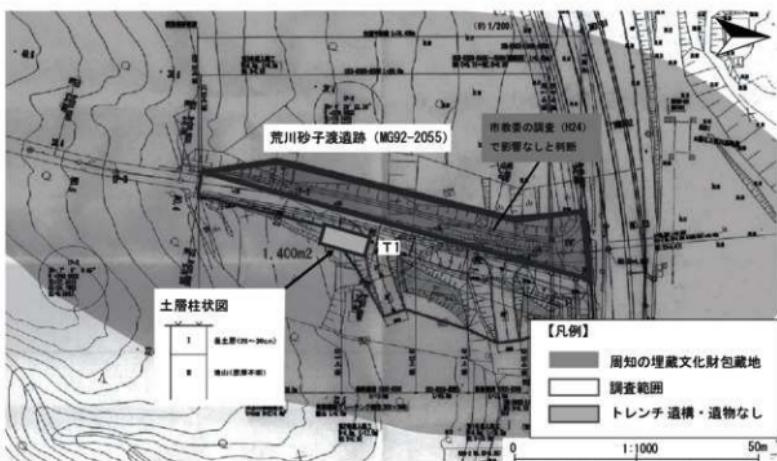
調査日：平成29年5月24日（水）

事業地は釜石市役所から南南西へ約10km、南側後背地の山稜から続く北向きの緩斜面地に位置する。調査箇所は荒川砂子渡遺跡の中央部にあたり、標高は約30mを測る。調査は三陸沿岸道路の建設に伴う釜石市道平林線の改良工事で、現道と国道45号線との接続部において掘削工事が行われることから、埋蔵文化財への影響についてトレンチ1本を設定し試掘調査を行った。調査の結果、自然堆積層が良好な状態で残存していることが認められたが、遺構や遺物は確認することはできなかった。

（慎重工事）



第47図 荒川砂子渡遺跡位置図



第48図 荒川砂子渡遺跡調査位置図

13 防災安全（交通安全）事業大川目地区

外里遺跡（JF38-0255）及び隣接地

所在 地：久慈市大川町地内

事 業 者：県北広域振興局土木部

調査期日：平成29年8月3日(木)

外里遺跡は久慈市役所から西に約6kmの久慈川左岸の氾濫平野に立地する。現況は宅地及び水田が多く見受けられる。現地標高は約21~25mである。

事業は道路整備事業に係るもので、遺跡及び隣接地に試掘トレンチを3箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査区の堆積はおおよそ以下のとおりである。表土

(I層)下に現道の盛土(II層)が厚く堆積しており、盛土が薄い。トレンチ2では黒褐色土(III層)、暗褐色土(IV層)の堆積を確認した。遺構の検出は褐色土(V層)上面で行ったものの、いずれのトレンチからも遺構・遺物は発見していない。トレンチ2ではV層の確認には至らなかった。

(慎重工事)



第50図 外里遺跡及び隣接地調査位置図



第49図 外里遺跡位置図

14 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

さきたち いなりたて あと
佐々木館（稻荷館）跡 (IE99-1237)

所 在 地：二戸市米沢字家ノ上地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興

センターネットワーク農村整備室

調査期日：平成29年4月25日(火)、12月7日(木)

調査地はIGRいわて銀河鉄道斗米駅から西へ約0.5km、標高130m前後の西側山稜から続く緩斜面地に位置し現況は畠地となっている。試掘調査は既設農地へ給水するバイオラインの敷設に係るものである。

【調査区1】

2箇所のトレチを設定し調査を行ったが、掘削が及ぶ深度（約70cm）内に遺構・遺物ともに確認することはできなかった。

【調査区2】

トレチを1箇所設定し調査を行った。その結果、層序に乱れはなく造成等による削平の影響は見られなかったものの、遺構や遺物は確認することができなかった。（慎重工事）



第51図 佐々木館跡位置図



第52図 佐々木館跡調査位置図

15 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

かみたいきんいせき
上平Ⅲ遺跡（IE99-2218）

所 在 地：二戸市米沢字上平地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興

センター農村整備室

調査期日：平成29年12月7日（木）

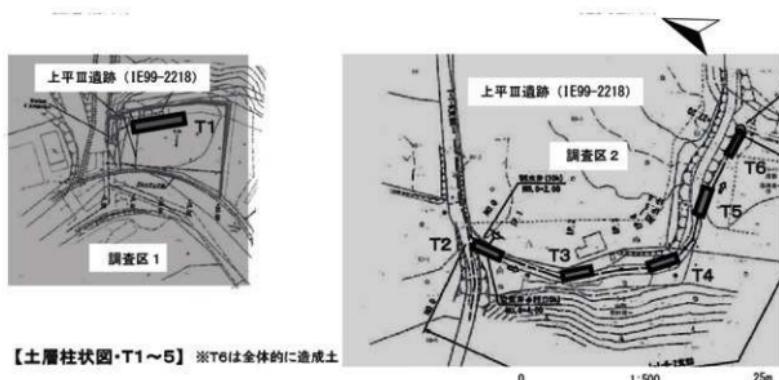
調査対象地はIGRいわて銀河鉄道斗米駅から南南西へ約0.7～1km、西側から続く山稜の河岸段丘縁に立地し、標高は135m前後である。当該試掘調査は、既設農地へ給水するパイプラインの敷設に係るものである。

今回の工事は小径のパイプと給水栓の設置に限定されることから、比較的原地形が残っているものと思われる箇所を中心に、調査区1ではトレンチを1箇所、調査区2ではトレンチを5箇所設定し、それぞれ調査を行った。

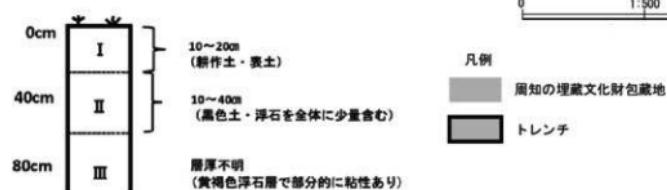
その結果、農地造成の影響が見られた調査区2のT6を除き、いずれのトレンチにおいても層序に大きな乱れはなく、削平の影響は見られなかったものの、構造や遺物は確認することができなかった。
(猿重工事)



第53図 上平Ⅲ遺跡位置図



【土層柱状図・T1～5】※T6は全体的に造成土



第54図 上平Ⅲ遺跡調査位置図

16 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

火行塚遺跡 (JE09-1212)

所 在 地：二戸市石切所字火行塚地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興

セ ン タ ー 農 村 整 備 室

調査期日：平成29年11月16日(木)

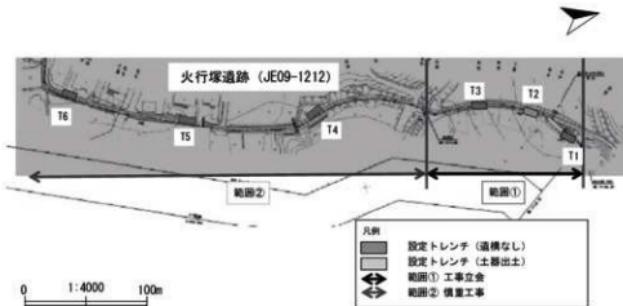
火行塚遺跡は二戸市役所より西に約3km、馬渕川左岸から続く低位段丘に位置する。標高は約150mである。現況は宅地、山林、果樹園である。この遺跡は縄文から古代までの長い期間にわたって持続した集落跡である。事業は給水のためのパイプラインを埋設するもので、調査地に該当する農道に試掘トレーンチを6箇所設定し、重機で掘り下げるたのち、遺構の有無の確認を行った。

調査の結果、調査区南側のT 5・6では、施工者不明の大小2本の塩化ビニル管が既設されていることが判明した。また、T 4では、疊層が広がっており、遺構や遺物を確認することができなかった。調査区北側のT 2では、II - 2層の黒色シルトが30cmほど堆積しており、縄文土器が3片出土した。調査区が狭小のため判然としないが、遺物包含層であると考えられる。今回の調査範囲では、明確な遺構は確認されなかつたが、T 1～3付近は、概ね自然地形を保っており、分布調査時においても土器片が表採されていることから、遺構・遺物が残存している可能性が高い。

(工事立会)



第55図 火行塚遺跡位置図



第56図 火行塚遺跡調査位置図

17 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

段ノ越遺跡（IF70-2074）及び隣接地

所 在 地：二戸市金田一字段ノ越地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興

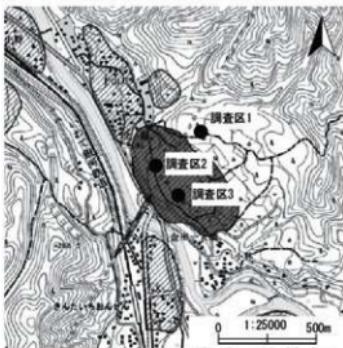
センターネットワーク農村整備室

調査期日：平成30年1月24日（水）

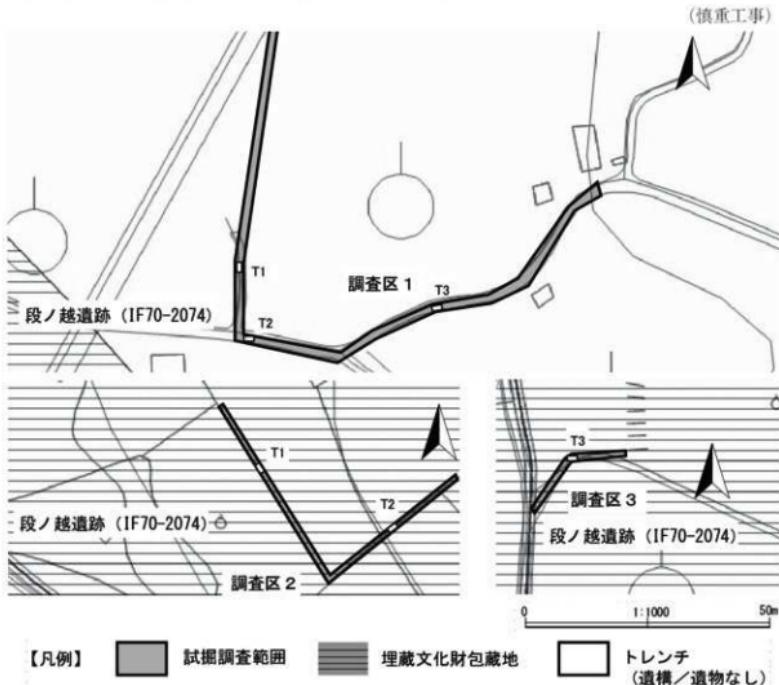
段ノ越遺跡は二戸市役所から北に約6.4km離れた馬淵川右岸の丘陵面に位置する縄文時代の遺跡で、事業地周辺の丘陵部一帯が遺跡範囲となっている。現地標高は約100～150mと高低差がある。

事業は畠地帯総合整備に係るもので、遺跡内及び隣接地の3地点（調査区1～3）を対象に埋蔵文化財の試掘調査を行った。試掘トレーンチを調査区全体で6箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、いずれのトレーンチからも遺構・遺物は確認されなかった。事業予定地の多くで土地の改変が確認され事業予定地の旧地形の多くは失われたと考えられる。



第57図 段ノ越遺跡位置図



第58図 段ノ越遺跡及び隣接地調査位置図

18 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

かばのきさんいせき 柵ノ木Ⅲ遺跡 (JE89-1340) 及び隣接地

所 在 地：二戸郡一戸町宇別字柵ノ木地内

事 業 者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室

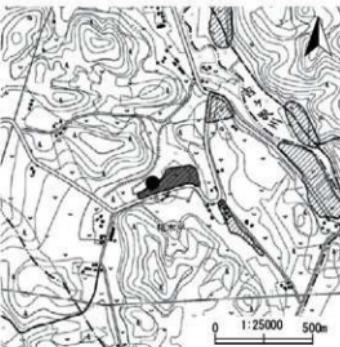
調査期日：平成29年12月5日(火)

調査対象地はIGRいわて銀河鉄道奥中山高原駅から南東へ約5.5km、極緩やかな起伏をもつ丘陵上に立地し、標高は440m前後である。当該試掘調査は、は場整備に付随する水路の改修工事に係るものである。

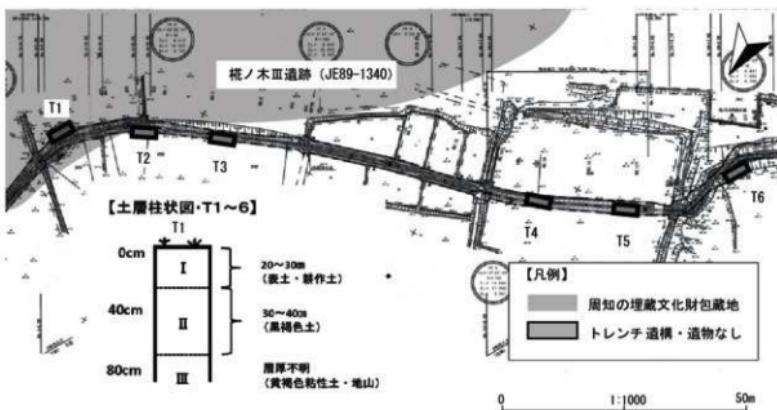
今回の工事は水路の改修に限定されることから、比較的原地形が残っているものと思われる箇所を中心的に、トレーンチを6箇所設定し調査を行った。

その結果、いずれのトレーンチにおいても造成等による削平の影響は見られなかったものの、遺構や遺物は確認することができなかつた。

(慎重工事)



第59図 柵ノ木Ⅲ遺跡位置図



第60図 柵ノ木Ⅲ遺跡及び隣接地調査位置図

19 産業廃棄物処理施設整備事業

かばさわにいせき
桙沢Ⅱ遺跡（KE04-2323）（旧可能性あり）

所在地：八幡平市平館地区

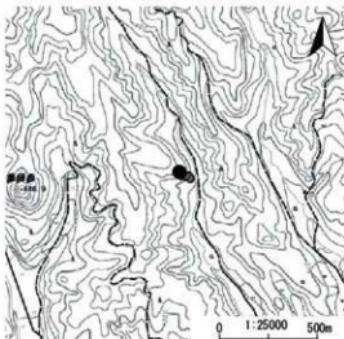
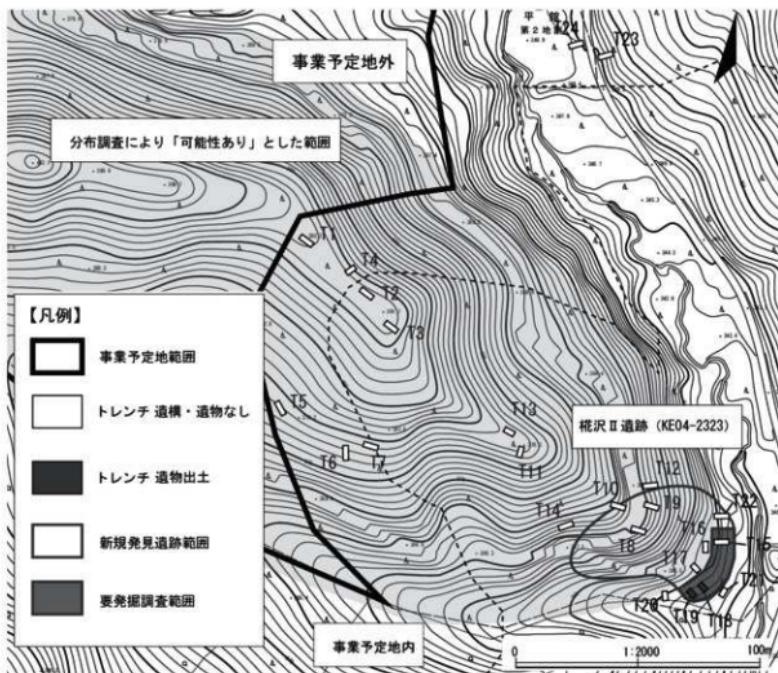
事業者：環境生活部廃棄物特別対策室

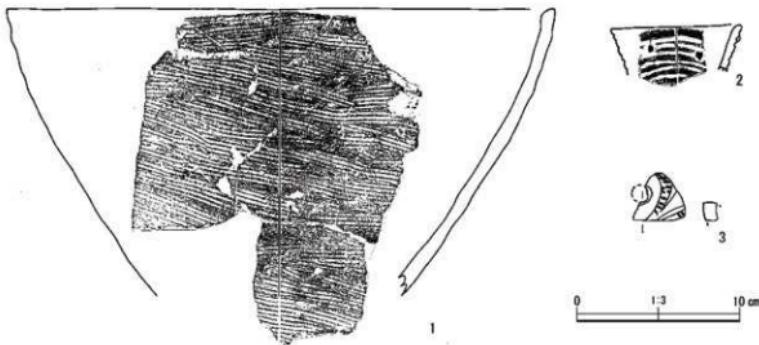
調査期日：平成29年8月28日（月）～9月1日（金）

試掘対象地は八幡平市役所から北西に約3.1kmの中起伏山地で、沢により開析され南へ舌状地形をなす連続した細尾根の南東向き斜面地に位置する。現地標高は約345m～390mである。事業予定地周辺に周知の埋蔵文化財泡蔵地は所在しない。

事業は産業廃棄物処理施設整備に係るもので、試掘トレンチを調査区全体で24箇所設定し、重機及び人力により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。調査の結果、T18・19で黒色土中から遺物が出土した。いずれのトレンチからも遺構は検出していない。林道敷設時に遺跡の大部分は削平を受けたと考えられるものの、沢に近い緩斜面地では遺物包含層が残存していると考えられる。

（発掘調査）





第63図 桧沢II遺跡（旧可能性あり）出土遺物図

第9表 桧沢II遺跡（旧可能性あり）出土遺物観察表

器種 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特 徴
						口径	器高	底部径	重量	
					幅	横	厚さ			
1	T18	黒色土	縹文土器	鉢	口縁部～胴部	[33.6]	(17.5)	—	—	条痕文、内ナデ 晩期～弥生か
2	T19	黒色土	縹文土器	壺	口縁部	—	—	—	—	横走沈線、粘土粒（2個1対）（大洞式）
3	表探	縹文土器	注口 土器	注口部	—	—	—	—	—	RL、沈線文

計測値の〔 〕は推定値、() が残存値を表す。



写真図版14 桧沢II遺跡（旧可能性あり）出土遺物

20 警察施設整備事業

(盛岡西警察署滝沢交番新築工事)

葉の木沢 I 遺跡 (KE86-0278)

所在地: 滝沢市葉の木沢山505-1

事業者: 県警察本部警務部会計課

調査日: 平成30年2月28日(水)

葉の木沢 I 遺跡は I G R いわて銀河鉄道線果子駅の南西約0.6kmに位置し、北上川支流の果子川流域の平坦面に立地している。標高は200~210mで、現況は主に宅地である。事業予定地は遺跡の北東側に位置し、現況は水田で、現地標高190~200mである。事業は交番新築工事に係るもので、試掘トレンチを事業予定地に3箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、全体的に基層序どおりの堆積が見られ、Ⅱ層(黒色土)の堆積状況から、当該地は、本来南西側から北東側に向けて緩やかな傾斜のある地形であったと推察される。本来起伏がある地形であったところを、水田造成時にⅢ層(黒褐色土)上面まで削平されたものと考えられる。なお、T1のI~Ⅱ層から縄文土器片1点を採取したが、遺構は確認されなかった。

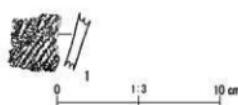
(慎重工事)



第64図 葉の木沢 I 遺跡位置図



第65図 葉の木沢 I 遺跡調査位置図



第66図 葉の木沢 I 遺跡出土遺物図



写真図版15 葉の木沢 I 遺跡出土遺物

第10表 葉の木沢 I 遺跡出土遺物観察表

測量 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)			特 徴
						口径	器高	底部径	
						幅	横	厚さ	
1	T1	I~II	縄文土器	深鉢	底部	-	-	-	LR横

21 中山間地域総合整備事業

はたふく遺跡 (LE51-0358) 及び隣接地 大谷地遺跡 (LE42-2063) 及び隣接地

所 在 地：岩手郡雫石町大村地内

事 業 者：盛岡広域振興局農政部

農村整備室

調査日：平成29年7月31日(月)

【はたふく遺跡及び隣接地】

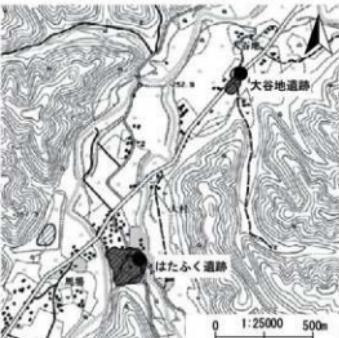
試掘調査対象地は、雫石町役場から南南西へ約12.5km、標高は約270mを測る南畠川支流の尻合川沿いの丘陵地である。試掘調査は上水道整備事業に伴い、既存の県道及び町道下に水道管を敷設するものであるが、周知の埋蔵文化財包蔵地内の工事であるため、実施されたものである。

試掘調査では対象地内にトレーニング (T 4 ~ 9) を設定し、土層及び遺構・遺物の有無の確認を行った。調査の結果、いずれのトレーニングにおいても過去の道路工事によって旧表土が完全に失われ、路床材である碎石及び造成土で埋められており、遺構や遺物は確認することはできなかった。

【大谷地遺跡及び隣接地】

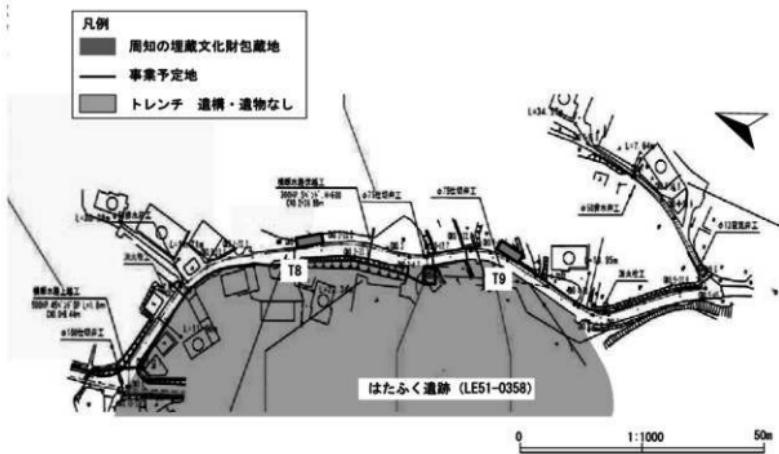
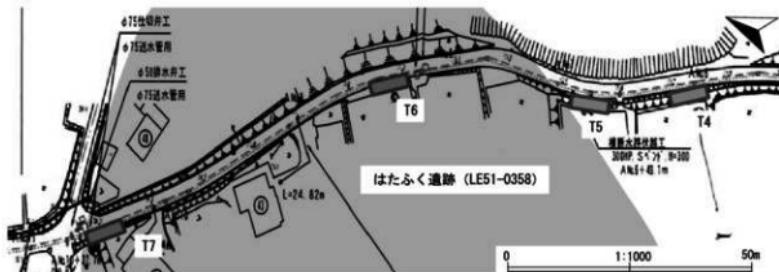
試掘調査対象地は、雫石町役場から南南西へ約11.4km、県道1号線沿線の旧大村小学校北側の大谷地遺跡である。標高は約250mを測り、周辺山地から続く緩斜面地の末端に位置している。今回の試掘調査は、上水道整備事業に伴い、既存の県道及び町道下に水道管を敷設するものであるが、周知の埋蔵文化財包蔵地内の工事であるため、実施されたものである。

試掘調査では対象地内にトレーニング (T 1 ~ 3) を設定し、土層及び遺構・遺物の有無の確認を行った。調査の結果、いずれのトレーニングにおいても過去の道路工事によって旧表土が完全に失われ、路床材である碎石や造成土で埋められており、遺構や遺物は確認することはできなかった

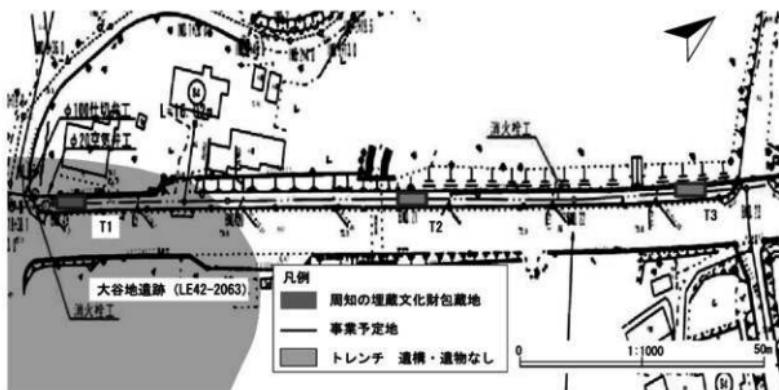


第67図 はたふく遺跡・大谷地遺跡位置図

(慎重工事)



第68図 はたふく遺跡及び隣接地調査位置図



第69図 大谷地遺跡及び隣接地調査位置図

22 農地整備事業（経営体育成型）

八幡館遺跡（KE57-1101）及び隣接地

所在 地：盛岡市玉山武道地内

事 業 者：盛岡広域振興局農政部農村整備室

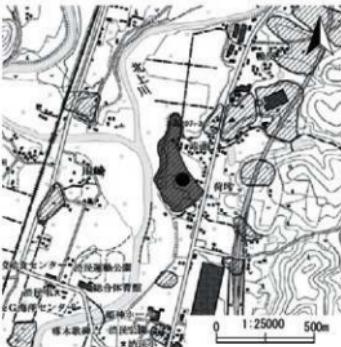
調査期日：平成29年11月27日（月）～28日（水）

本遺跡は盛岡市役所玉山総合事務所の北西方向約7.2kmに位置する。新生代第四紀更新世の堆積岩を基盤とする、北上川左岸の段丘面にあり、河岸低地より約14m高い。事業地周辺の標高は199～200mである。

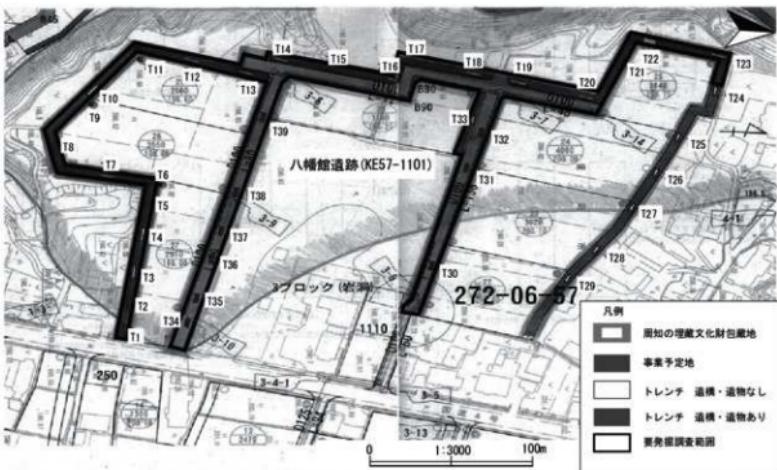
基本土層は4層に区分した。I層表土、II層黒褐色土、III層漸移層、IV層地山で、II層はa～dの4層に細分される。IIb層は南側調査区でよく観察され、この範囲でa層、c層が細分できる。d層はT5の小谷頭部分でのみ観察される。地形が高かった部分は切土が大きく、この部分はI層が薄く、その直下は地山である。II層下部付近には小ブロック状に灰白色の十和田火山灰？が堆積する場所がある。T17の竪穴建物跡埋土の一部で確認される。

トレチは39本設定した。T1、T2、T5、T6、T8、T15、T17、T21、T30～32、T34～39では竪穴建物跡、土坑、柱穴状遺構を検出した。T5及びT15では自然の谷地形を利用した堅堀？を検出した。竪穴建物跡はおよそ北にカマドがあり、1辺が約3mである。II層内を掘り込んでいると考えられる。柱穴状遺構の規模が直径15～35cmで円形状である。遺物はT2のIII層付近から縄文時代後晩期の土器片と、T17の竪穴建物跡から土師器片が出土した。これらの遺構は検出状況から主に縄文、古代～近世の時代に属するものと推測される。

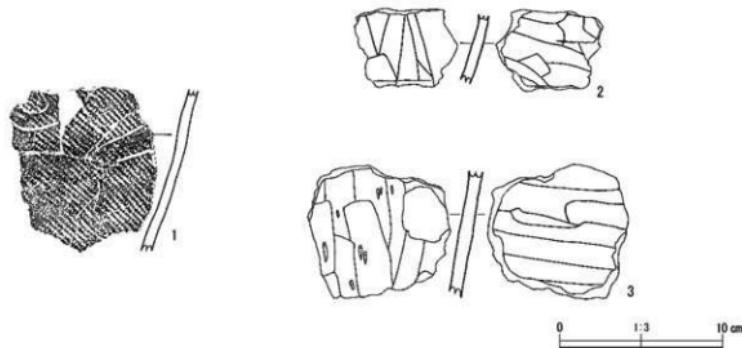
（平成30年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施）



第70図 八幡館遺跡位置図



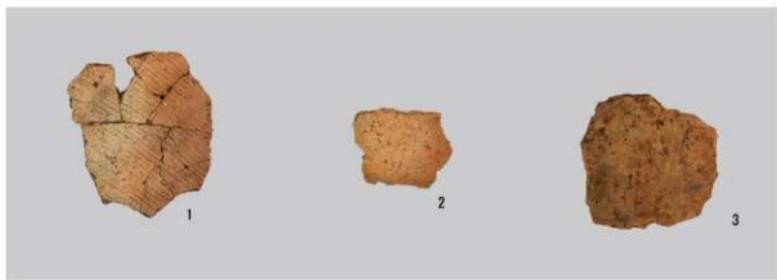
第71図 八幡館遺跡及び隣接地調査位置図



第72図 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物図

第11表 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物観察表

掘取 番号	出土 地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特　徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1	T2	4	縄文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	RL横、沈線
2	SI	2	土師器	甕	胴部	-	-	-	-	外面ナデ、内面ヨコナデ
3	SI	2	土師器	甕	胴部	-	-	-	-	外面ケズリ、内面ヨコナデ



写真図版16 八幡館遺跡及び隣接地出土遺物

23 北上翔南高等学校草地復旧工事

たかまえだんにいせき 高前壇 II 遺跡 (ME75-1278) 及び隣接地

所在地：北上市相去町高前壇地内

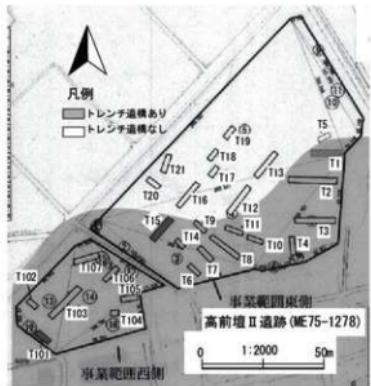
事業者：県教育委員会事務局教育企画室

調査期日：平成29年5月1日(月)～2日(火)、

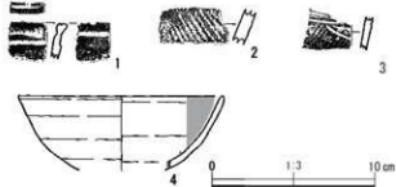
8日(月)

高前壇 II 遺跡は北上市役所から南南西に3.6km、面積0.65km²の広い範囲を持つ遺跡で、現況は陸上競技場や高等学校などの公共施設が所在する。地形では中位段丘面の東端に立地し、周囲には相去遺跡や滝ノ沢遺跡など、縄文時代から古代かけての集落跡が点在している。調査は草地復旧のために表土を最大20cm程度掻拌することにより実施したものである。試掘トレンチを東側で21箇所、西側で7箇所設定した。T1では表土から深さ40cmで古代の堅穴建物跡が確認され、土師器が出土した。また中央部のやや標高のあるT15で、長楕円形の平面形と考えられる土坑1基、西側隅に設定したT101で、楕円形の土坑1基を検出したが、その他のトレンチでは遺構や遺物は検出されなかった。遺構は調査区の東隅、中央部、西隅に限られ、旧地形は凹凸の激しい地形であったと考えられる。調査区全体が地形改変されていることが判明したが、その結果、どの区域でも20～30cmの盛土層が確保されており、本事業については、既工事による損壊の範囲内で行われることを確認した。

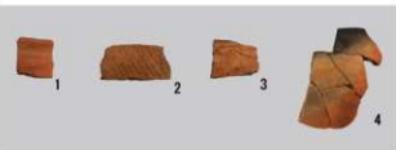
(慎重工事)



第74図 高前壇 II 遺跡及び隣接地調査位置図



第75図 高前壇 II 遺跡及び隣接地出土遺物図



写真図版17 高前壇 II 遺跡及び隣接地出土遺物

第12表 高前壇 II 遺跡及び隣接地出土遺物観察表

探査番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径	器高	底部径	重量	
						幅	横	厚さ		
1	表探		縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	—	口唇・口縁部：横走沈線
2	表探	—	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	LR縁、内ナデ
3	T1	2	縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	—	沈縁部（変形文字か）内外面ナデ
4	T1	2	土師器	环	口縁部～体部	[126]	(4.5)	—	—	内面黑色処理、内外面ロクロナデ

計測値の〔 〕は推定値。()が残存値を表す。

24 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

花曾根上遺跡（ME74-0114）

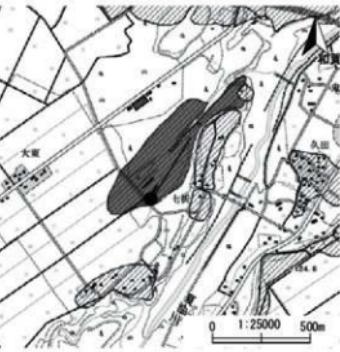
所 在 地：北上市和賀町岩崎新田10地割地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

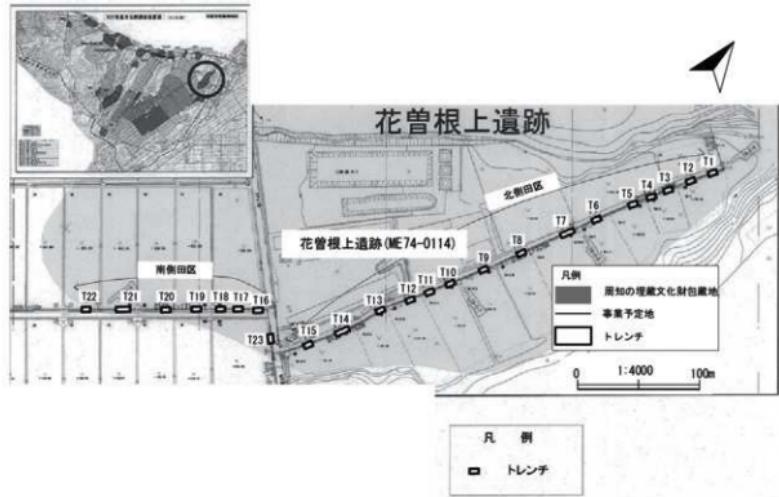
調査期日：平成29年9月7日(木)～8日(金)

事業予定地は北上市役所の西南西方向約7.2kmに位置する。調査区域は夏油川により形成された扇状地末端付近の台地上にある。本地域は砂礫層上に降下火山灰起源の黄褐色火山灰質粘土が堆積している。現河床とは約30mの比高で、標高は124～132mである。基本土層は6層に区分した。I層表土下に、過去の土地改良によるⅡa層盛土、Ⅱb層旧水田表土、Ⅲ層旧表土、IV層擾乱土、V層漸移層、VI層地山の順に堆積する。Ⅲ層は養鶏場南側の水田でのみで確認される。トレンチは23本設定し、本事業予定地の中央部分付近で竪穴建物跡と竪穴状遺構あわせて6棟（T5で1棟、T7で1棟、T8で1棟、T9で2棟、T10で1棟）を、T4で径約50cmの土坑を、T17、T20で30cm前後の柱穴状遺構を3基、T23で溝状遺構を1基検出した。このうちT4の土坑では周辺で土師器片が出土していることから、古代の竪穴建物跡の付属施設の可能性がある。全般的に過去の水田造成時の擾乱を受けて残りはあまりよくなない。Ⅱ層、Ⅲb層や遺構検出面付近から古代の土師器片や縄文時代の土器片が出土した。今回の調査結果からは事業予定地に古代及び縄文時代の集落跡が分布していることが判明した。



第76図 花曾根上遺跡位置図

(平成29年度当課により発掘調査実施)



第77図 花曾根上遺跡調査位置図

25 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

しんでんいせき 新田遺跡 (ME74-0164)

所 在 地：北上市和賀町岩崎新田7地割地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

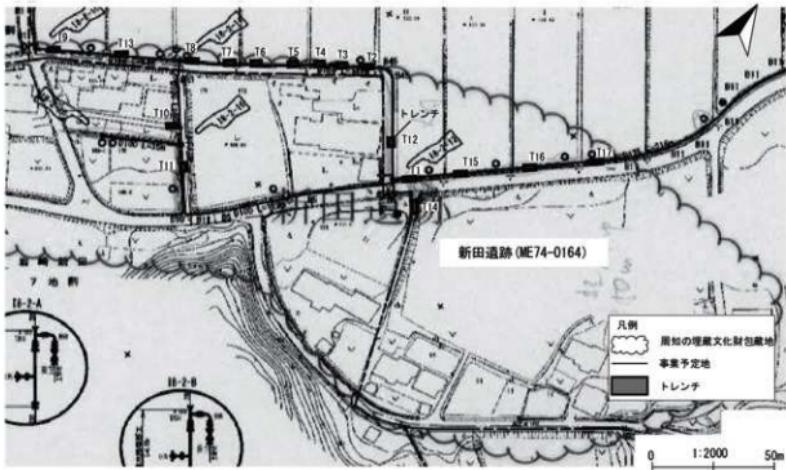
北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月8日(金)

事業予定地は北上市役所の南西方向約7.4kmに位置する。調査区域は夏油川により形成された扇状地末端付近の台地上にある。本地域は砂礫層上に降下火山灰起源の黄褐色火山灰質粘土が堆積している。現河床とは約30mの比高で、標高は134～137mである。本調査は経営体育成基盤整備事業に係り実施したものである。基本土層は5層に区分した。全体的に地形改変により大きく擾乱を受けて自然堆積層の残りがよくなない。昭和42年頃の大規模な水田造成による区画整理以前から耕作が行われ、現区画以前の水田土Ⅱb層や自然堆積層の旧表土Ⅲ層、漸移層Ⅳ層が部分的に残る。地山V層は微高地部分では黄褐色・黄橙色土、湿地的な部分ではオリーブ色土・黄灰色土である。いずれのトレンチからも遺構は検出されず遺物も出土していない。

第78図 新田遺跡位置図

(慎重工事)



第79図 新田遺跡調査位置図

26 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

うめのきだいいちにいせき
梅ノ木台地Ⅱ遺跡 (ME64-2112) 及び隣接地ひょうごだて いちろくはなだて ふづかいじょうう あと
兵庫館（一六花館・二日市城）跡

(ME64-2101) 及び隣接地

所 在 地：北上市と和賀町煤孫地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月11日(月)

北上市役所から西に約7.1kmの扇状地形をなす金ヶ崎段丘末端の平坦面に位置する。過去に秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われ、梅ノ木台地Ⅱ遺跡は平安時代の集落遺跡及び弥生時代の墓域、兵庫館跡は平安時代の集落跡、中世の館跡及び弥生時代の墓域として知られている（（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター1993「兵庫館跡・梅ノ木台地Ⅱ遺跡林発掘調査報告書」岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第180集）。現況は水田及び道路で現地標高は121～122m前後である。

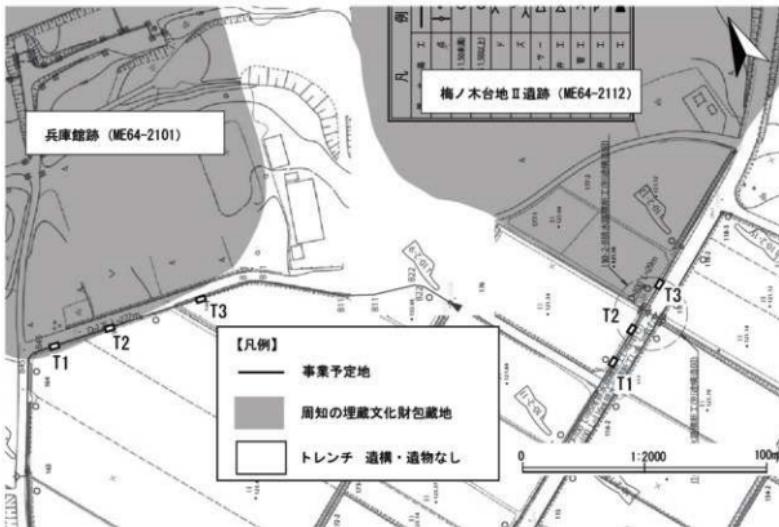
事業はば場整備に係るパイプライン整備によるもので、遺跡及び隣接地に試掘トレンチを設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、両遺跡とも、盛土下の褐色土上面で遺構検出を試みたものの、遺構は検出されず、遺物も出土しなかった。調査地周辺の旧地形は削平を受け失われていると考えられる。

(慎重工事)



第80図 梅ノ木台地Ⅱ遺跡ほか位置図



第81図 梅ノ木台地Ⅱ遺跡・兵庫館跡及び隣接地調査位置図

27 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

のぞみのにいせき 望野Ⅱ遺跡（ME73-0236）及び隣接地

所 在 地：北上市と和賀町煤孫地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

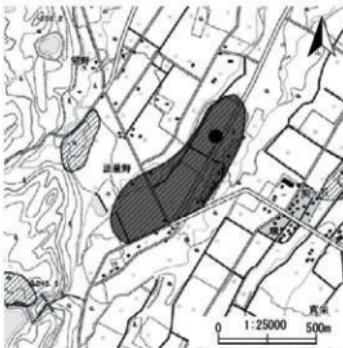
北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月11日(月)～13日(水)

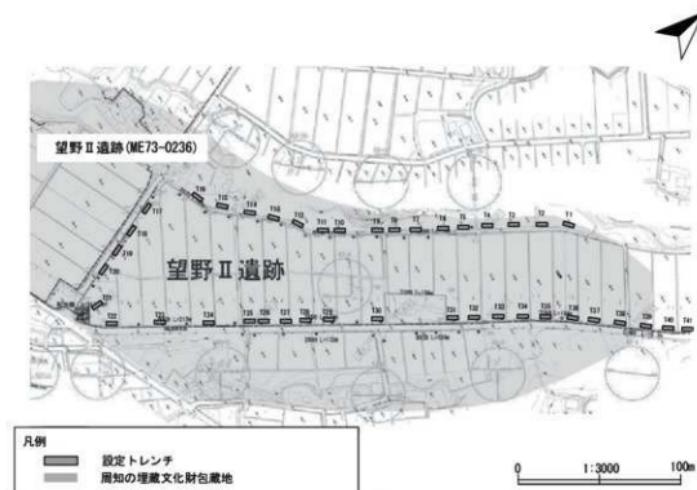
望野Ⅱ遺跡はJR東日本北上線藤根駅から南西に約5.7km、和賀川と夏油川に挟まれた丘陵地と平野の接する場所に立地する旧石器時代・縄文時代の遺跡で、種別は散布地となっている。現地標高は約163～165mで現況は水田・畑地として利用されている。

事業は水田の農道部分に給水のためのパイプラインを埋設する経営体育成基盤事業で、調査区に現存するU字溝隣接部に試掘トレンチを41箇所設定し、重機で掘り下げたのち、遺構の有無の確認を行った。調査の結果、調査区は過去のは場整備によって切土及び盛土造成されていることを確認した。調査区中央部で、地山の上に旧耕作土と思われる黒褐色土が残存しているが、遺構や遺物は確認できなかった。

(猿重工事)



第82図 望野Ⅱ遺跡位置図



第83図 望野Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図

28 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

法量野 I 遺跡（ME63-2313）及び隣接地

法量野 II 遺跡（ME63-2351）及び隣接地

所在地：北上市和賀町煤孫地内

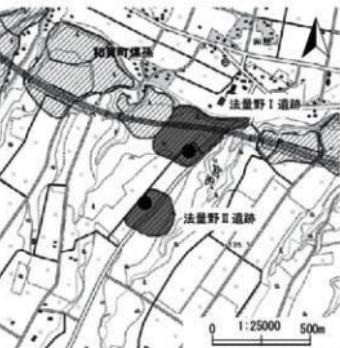
事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

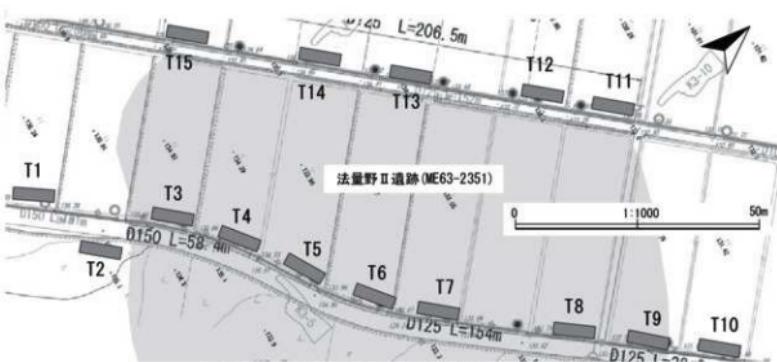
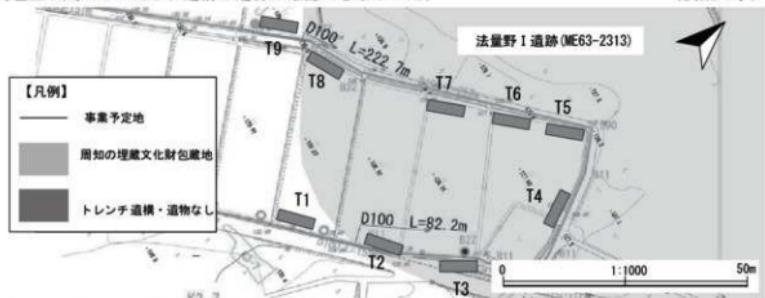
調査日：平成29年9月13日（木）～14日（木）

調査対象区はJR東日本北上線藤根駅から南西に約3.5～4.0km、和賀川と夏油川に挟まれた丘陵地上に立地する。ともに縄文時代の遺跡で法量野 II 遺跡は中世の遺跡としても登録されている。現地標高は約160mで現況は水田・畑地である。事業は水田の農道部分に給水のためのパイプラインを埋設する経営体育成基盤整備事業で、調査区に試掘トレーニングをそれぞれ設定し、重機で掘り下ろしたのち、遺構の有無の確認を行った。調査の結果、調査区の大部分は、過去のほ場整備によって切土及び盛土造成されていることが確認された。法量野 I 遺跡調査区南側農道では、下層がグライ化し、湧水が見られた。また、両調査区北側農道は、地山の上に旧耕作土と思われる黒褐色土が残っていたが、遺構や遺物は確認できなかった。

（猿重工事）



第84図 法量野 I・II 遺跡位置図



第85図 法量野 I・II 遺跡及び隣接地調査位置図

29 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

すすきいせき
煤孫遺跡 (ME63-2318)

しもすまこだてあと
下須々孫館跡 (ME64-2001)

所 在 地：北上市和賀町煤孫地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査日：平成29年9月12日(火)～13日(水)

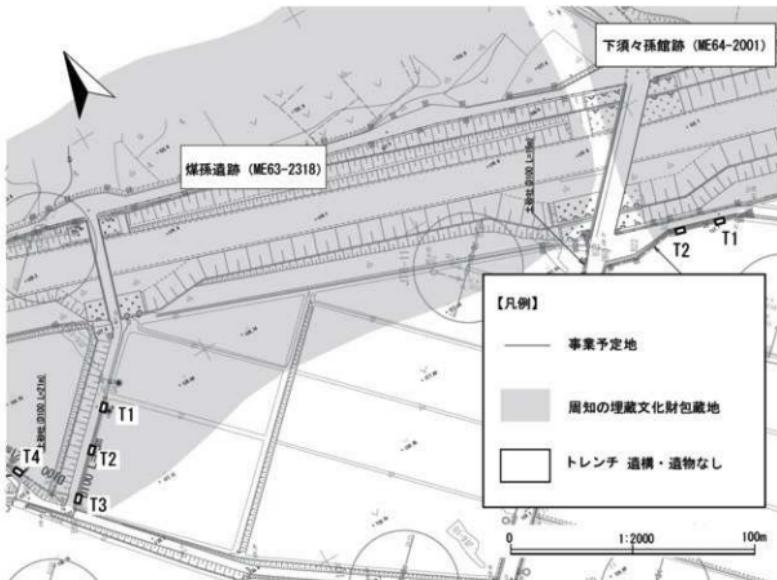
北上市役所から西に約8kmの扇状地形をなす金ヶ崎段丘末端の平坦面に位置する。ともに秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われ、煤孫遺跡では縄文時代前期末～中期及び平安時代の集落跡が、下須々孫館跡では陥穴状遺構や掘立柱建物跡が見つかっている（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第180・197集）。現況は水田及び道路で現地標高は約124～127mである。事業はほ場整備に係るパイプライン整備によるもので、試掘トレンチを調査区全体で6箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、煤孫遺跡ではT1～3で盛土下に黒褐色の自然堆積層が確認された。遺構検出は褐色上面で試みたものの、遺構や遺物は確認されなかった。T4周辺の旧地形は削平を受けていると考えられる。下須々孫館跡では湧水が確認されたため調査地周辺は低地帯であったと考えられる。

(慎重工事)



第86図 煤孫遺跡・下須々孫館跡位置図



第87図 煤孫遺跡・下須々孫館跡調査位置図

30 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

旭ヶ丘遺跡（ME73-0352）及び隣接地

所在地：北上市和賀町岩崎新田旭ヶ丘地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月12日（火）

旭ヶ丘遺跡は北上市役所から南西に約9.5kmの和賀川右岸の砂礫段丘上に所在する縄文時代の遺跡である。事業予定地は当該遺跡の北西部斜面地に位置する。現地標高は約147～151mである。

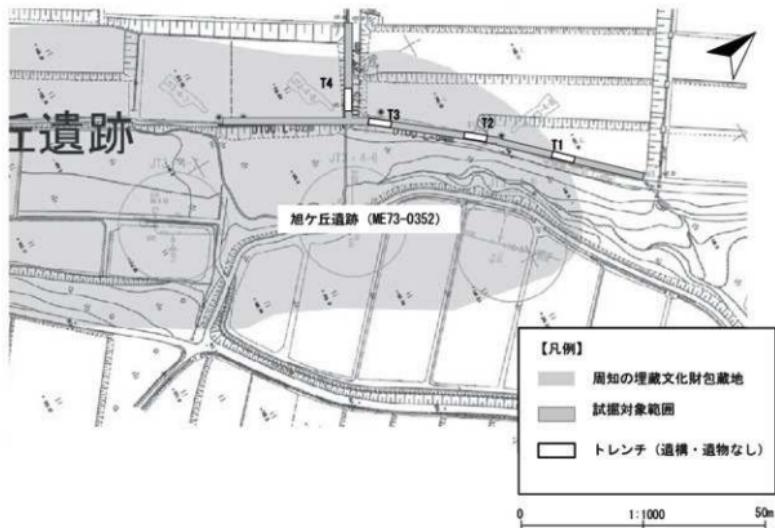
事業はは場整備事業の配管設置に係るもので、試掘トレンチを遺跡及びその周辺に調査区全体で4箇所設定し、重機及び人力により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

調査の結果、T 1～3において、厚く堆積した造成土（Ⅱ層）の下部に、黒色の粘土質シルト層（Ⅲ層）を確認した。Ⅲ層は全体的に水がにじみ一部グライ化している箇所もあり、旧耕作土もしくは沢状の地形における自然堆積層と考えられる。T 2・3においては、その下部に黄褐色土層（IV層）を確認した。T 4については、造成土下部に黒色土をまだらに含む黄褐色土層が見られ、Ⅲ・IV層の擾乱層と考えられる。いずれのトレンチにおいても、遺構・遺物等は確認できなかった。

（慎重工事）



第88図 旭ヶ丘遺跡位置図



第89図 旭ヶ丘遺跡及び隣接地調査位置図

31 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

上反町遺跡（ME64-2014）及び隣接地

所 在 地：北上市和賀町煤孫地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

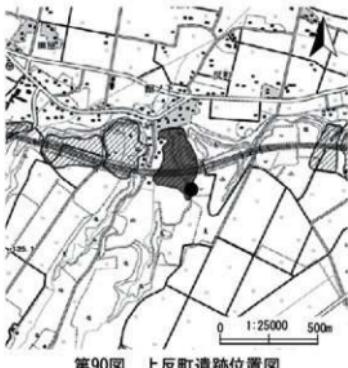
北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月12日（火）

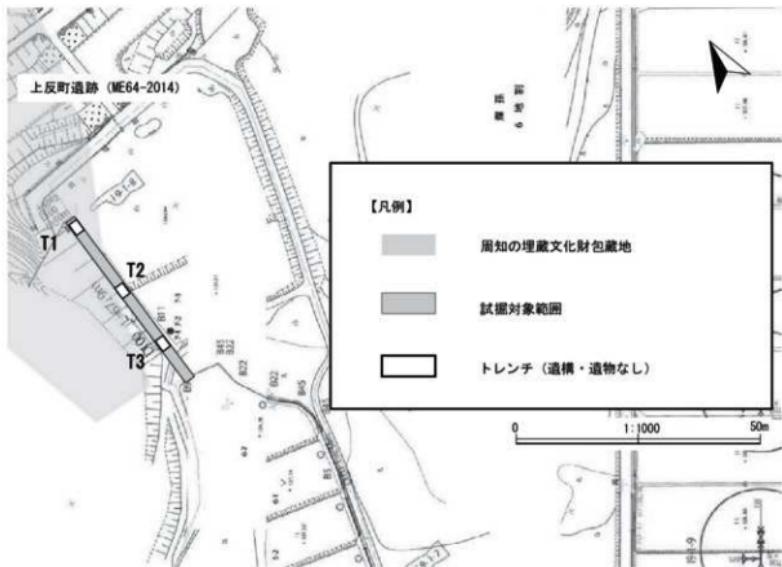
上反町遺跡は北上市役所から約8kmの和賀川右岸の河岸段丘上に所在する縄文時代及び中世城館の遺跡である。事業予定地は当該遺跡の南東縁に位置する。現地標高は約124～127mである。

事業はは場整備事業の配管設置に係るもので、試掘トレンチを遺跡及びその周辺に調査区全体で3箇所設定し、重機及び人力により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。調査の結果、全てのトレンチにおいて、造成土が厚く堆積していることを確認した。T2においては、造成土下に水のにじむ黒色土層が見られ、東側から西側へ傾斜していることから、本来は西側の急斜面地と連続する地形で、現代の盛土によって平坦面を形成したものと考えられる。いずれのトレンチにおいても、遺構や遺物等は確認できなかった。

（慎重工事）



第90図 上反町遺跡位置図



第91図 上反町遺跡及び隣接地調査位置図

32 経営体育成基盤整備事業（和賀中部岩崎地区）

かみすまごいせき
上須々孫遺跡（ME63-1286）

所 在 地：北上市和賀町煤孫地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

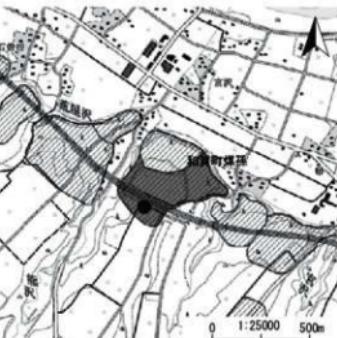
北上農村整備センター

調査期日：平成29年9月14日(木)～15日(金)

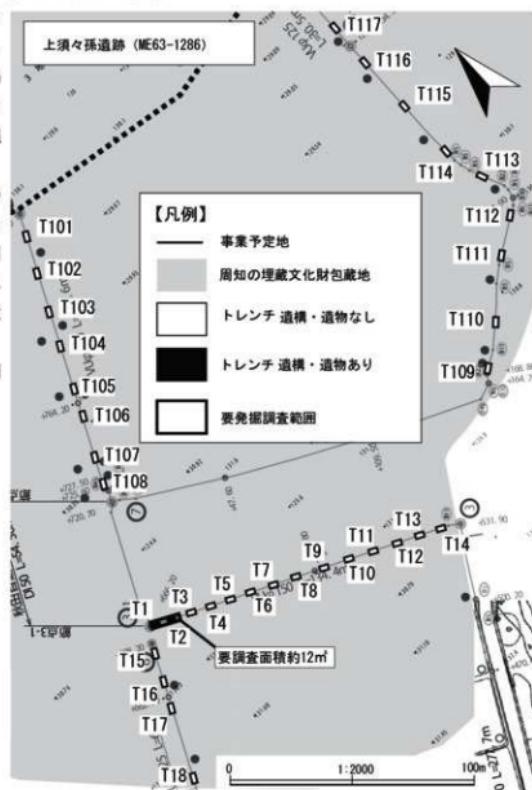
上須々孫遺跡は北上市役所から西に約9.6kmの扇状地形をなす金ヶ崎段丘末端の平坦面に位置する。過去に、秋田自動車道整備に係り発掘調査が行われ、縄文時代中期の集落遺跡であることが知られている（岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第163集）。現況は水田及び道路で現地標高は約129～131mである。

事業はほ場整備に係るパイプライン整備によるもので、T1・2から褐色土上面で円形の黒褐色土の落ち込みを検出した。T1で検出した同落ち込み中に縄文土器が含まれていたため、同時代の遺構と推定する。他のトレンチから遺構は検出されなかった。事業予定地の多くは削平を受けていることが想定されるものの、T1・2周辺のみ遺構が残存していると考える。

(平成29年度当課により発掘調査実施)



第92図 上須々孫遺跡位置図



第93図 上須々孫遺跡調査位置図

33 経営体育成基盤整備事業（万丁目地区）

万丁目遺跡（ME25-2242）及び隣接地

所在 地：花巻市南万丁目地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査期日：平成29年11月6日(月)～8日(水)

本遺跡は花巻市役所の西方向約2.5kmに位置する。農沢川北側に広がる中位段丘面にあり、万丁目遺跡と近隣遺跡は東西方向に細長く伸びる微高地に立地する。事業地周辺は新生代第三紀層を基盤とする段丘堆積物（砂礫、シルト、粘土）が分布する。事業地周辺の標高は96m前後である。本調査は経営体育成基盤整備事業に係り調査を実施したものである。

基本土層は5層に区分した。微高地北側には低湿地堆積物が確認できるところがある。全般的には過去のは場整備による地形変化で本来の土層が失われているところが多い。Ⅱ層盛土はT7やT25で厚く堆積する。トレンチは57本設定した。T13、T15～19、T24、T51～57では主に柱穴状遺構が検出された。直径約15～50cm、形状は方形・円形、黒褐色土・暗褐色土を埋土とする。T51では円形の井戸状遺構？が検出され、黒褐色の埋土から土師器長胴瓦片が出土した。T24では長軸が120～160cmの切り合った土坑を2基と長さ190cm以上幅30cmの陥り穴状遺構を検出した。

これらの遺構は検出状況から主に縄文、古代～近世の時代に属するものと推測され、万丁目遺跡の集落跡北端部付近にあたると考えられる。

(平成30年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)



第94図 万丁目遺跡位置図



第95図 万丁目遺跡及び隣接地調査位置図

34 経営体育成基盤整備事業（万丁目地区）

たねいちいせき
種市遺跡（ME25-2257）及び隣接地みなみまんじゅうめにいせき
南万丁目Ⅱ遺跡（ME25-2207）及び隣接地

所在地：花巻市南万丁目地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査日：平成29年11月7日(火)～8日(水)

事業予定地は花巻市役所の西方向約2kmに位置し、農沢川北側に広がる中位段丘面にある。事業地周辺は新生代新第三紀～第四紀層を基盤とする段丘堆積物（砂礫、シルト、粘土）が分布する。事業地周辺の標高は約94～95mである。本調査は経営体育成基盤整備事業に係り調査を実施したものである。

【種市遺跡及び隣接地】

調査範囲は種市遺跡北端と隣接する水田面である。基本土層は4層に区分した。Ⅲ層地山はにぶい黄橙色土～にぶい黄褐色土が多く、南万丁目Ⅱ遺跡周辺に比べて微高地的な場所で、場所により砂礫質土が分布する。土層の繰りからはIa層水田表土下位にIb層下層土の黒褐色土が堆積し、場所により5～10cmの礫を含む。農道ではⅡ層盛土が厚く堆積する。トレチは23本設定した。T9では風倒木痕を検出した。T13ではIa層直下にⅢ層砂礫層が堆積する。T5、T12ではI層下位にⅡ層砂礫混黑褐色土が厚く(約60cm)堆積し、Ⅲ層地山は砂礫層である。これらの場所では涌水が確認される。全般的に過去のは場整備で地形改変が行われ、本来の土壤が失われている。本試掘調査ではいずれのトレチでも遺構は検出されず、遺物も採取できなかった。

(慎重工事)

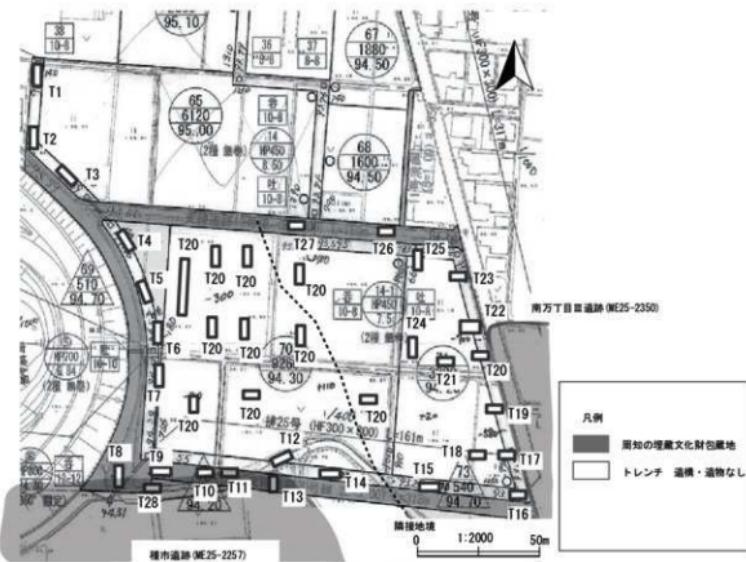
【南万丁目Ⅱ遺跡及び隣接地】

調査範囲は宅地が所在する南万丁目Ⅱ遺跡の西端と、その南側に隣接する水田面である。事業地周辺の標高は96m前後である。基本土層は4層に区分した。全般的に過去のは場整備による地形改変で本来の土層が失われているところが多い。南万丁目Ⅱ遺跡に南隣する部分と花巻南インター北4号線側の部分はIV層地山がにぶい黄橙色土または浅黄色土を呈し、微高地であったと推測される。それらの中間地には湿地的な黒色土が堆積している。トレチは20本設定した。南万丁目Ⅱ遺跡に隣接するT4・5では黒褐色土を埋土にもつ幅15cmの近現代の溝状遺構と長さ約2m幅約80cmの風倒木痕を検出した。T19は市道につながる農道で、本遺跡西端部分にあたる。Ⅲ層旧表土とみられる黒褐色土が残存しているが、遺構は検出されなかった。本試掘調査ではいずれのトレチでも遺構は検出されず、遺物も採取できなかった。

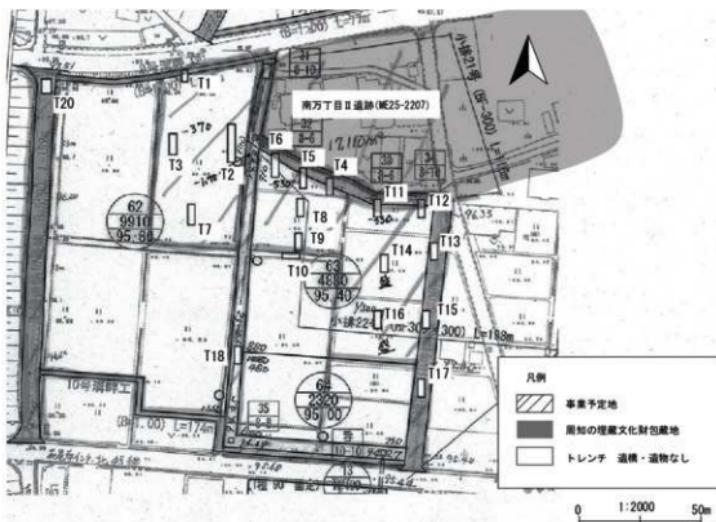
(慎重工事)



第96図 種市遺跡・南万丁目Ⅱ遺跡位置図



第97図 種市遺跡及び隣接地調査位置図



第98図 南万丁目Ⅱ遺跡及び隣接地調査位置図

35 農地耕作条件改善事業（愛宕地区）

あかはぎひがしいせき
赤剣東遺跡（NE24-1090）及び隣接地どぼしいせき
土橋遺跡（NE24-1140）及び隣接地

所 在 地：奥州市胆沢愛宕地区内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年10月16日（月）～18日（水）

奥州市役所から西南西へ約10～11km、胆沢扇状地の低位段丘面に位置し、標高は約130～160mを測る。

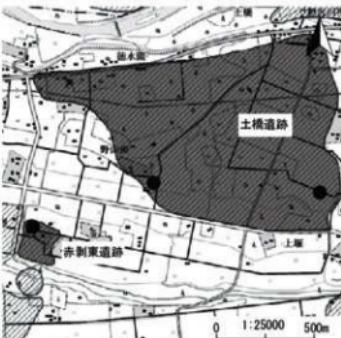
【赤剣東遺跡及び隣接地】

現況は水田や山林で、水田は過去のは場整備により、宅地や山林に比べて標高が低い状況にある。トレンチを16箇所したが、いずれのトレンチからも遺構及び遺物等は確認されなかった。かつてのは場整備等により自然堆積層が失われている箇所が多い。北東部には山林が広がり、T13で自然堆積層と思われる黒褐色土を確認しているが、遺物は出土していない。

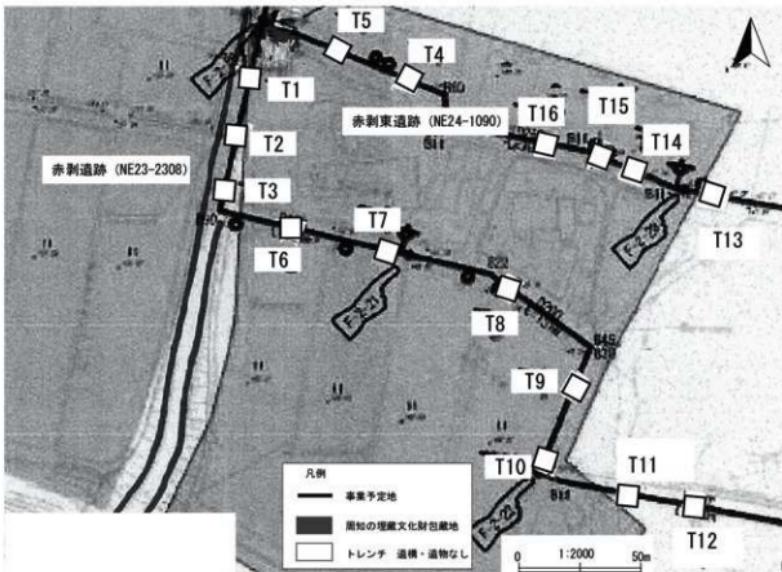
【土橋遺跡及び隣接地】

遺跡の現況は水田で、過去のは場整備により地形の変更が行われている模様である。トレンチを42箇所設定したが、遺構及び遺物等は確認されなかった。T8のみ路床材下から旧表土～地山まで自然堆積層の残存を確認したが、その他は自然堆積層が失されていた。

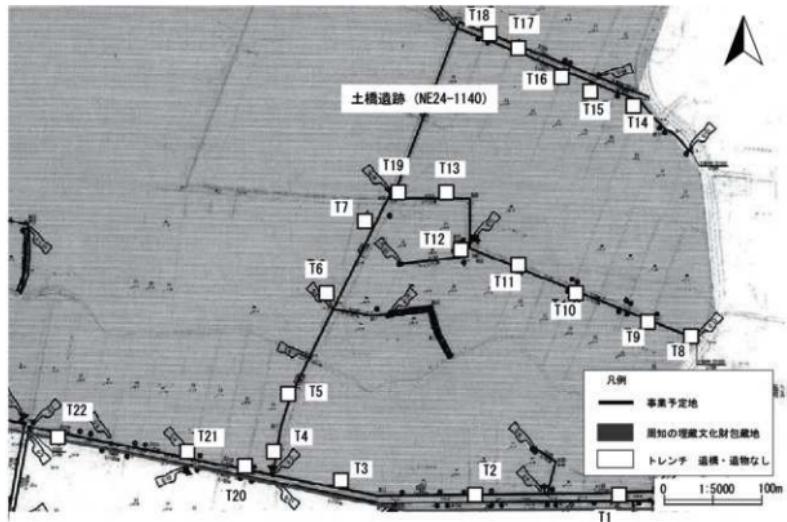
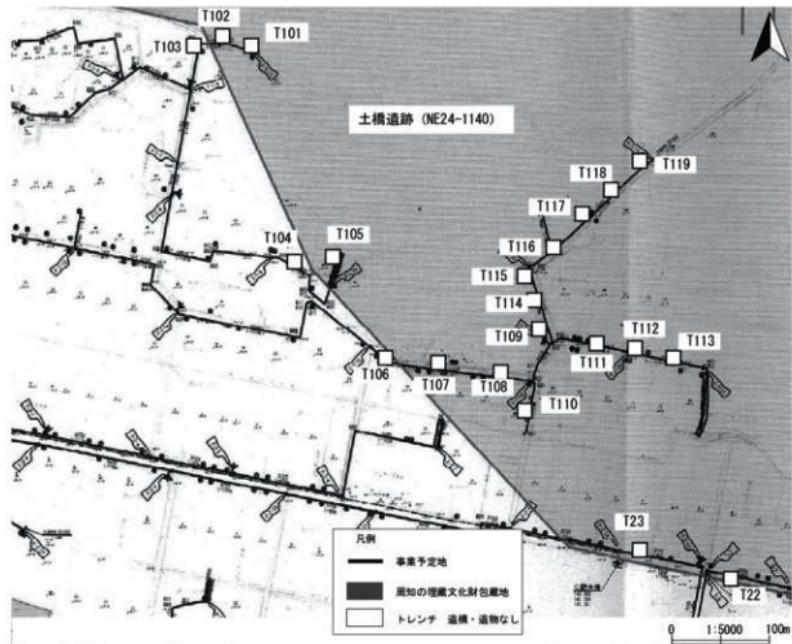
(共に墳丘工事)



第99図 赤剣東遺跡・土橋遺跡位置図



第100図 赤剣東遺跡及び隣接地調査位置図



第101図 土橋遺跡及び隣接地調査位置図

36 農地耕作条件改善事業（愛宕地区）

赤剥遺跡 (NE23-2308)

所在 地：奥州市胆沢若柳字赤剥地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年10月17日(火)

本遺跡は奥州市胆沢総合支所の西方向約4.9kmに位置する。胆沢扇状地に広がる段丘群の水沢高位段丘面上に立地する。事業地周辺の標高は153m前後である。

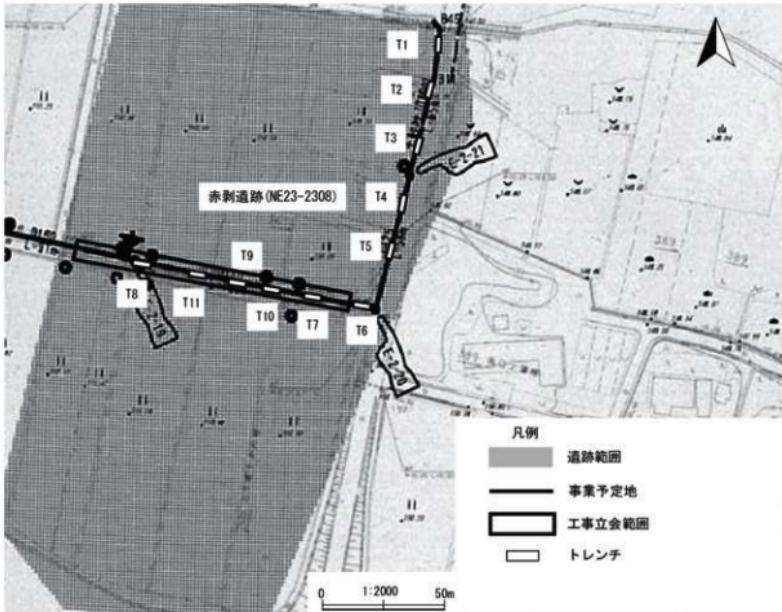
調査は農地耕作条件改善事業に係り調査を実施したものである。基本土層は4層に区分した。全般的にIV層地山上にII層盛土が厚く堆積し、I層道路アスファルト・砂礫層が分布する。III層旧表土～漸移層（黒褐色土）は南北方向市道沿いで部分的に確認される。本層からは土器片や石器が出土する。トレチは11本設定した。T1～5では盛土が厚く、遺構は検出できなかった。T4 II層では土器片と石器を採取した。T6のIV層地山は黄褐色土で、II層から土器片を採取した。T7～11ではIII層が分布し、T9では土器片と石器を採取した（遺物包含層）。

以上のことから、南北方向市道交差点付近から東西方向の市道部分には縄文時代後晩期の遺物包含層が広がることが判明した。



第102図 赤剥遺跡位置図

(平成29年度当課により工事立会実施)



第103図 赤剥遺跡調査位置図

37 経営育成基盤整備事業（若柳中部地区）

やまとじょう やまだ やしき あと
山田城（山田屋敷）跡 (NE24-1335) 及び隣接地

みょうじんしらいせき
明神下遺跡 (NE24-0188) 隣接地

所 在 地：奥州市胆沢若柳字明神下地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年11月21日(火)～22日(水)

調査対象地は奥州市立若柳中学校から東北東には約0.8km、胆沢扇状地の低位段丘面上に位置し、標高は123m前後である。調査地の現況は主に水田及び畠地、山林である。試掘調査は経営育成基盤整備事業による圃場整備に係り、山田城（山田屋敷）跡及び隣接地で掘削工事が行われるため、明神下遺跡隣接地とともに実施した。

【山田城（山田屋敷）跡及び隣接地】

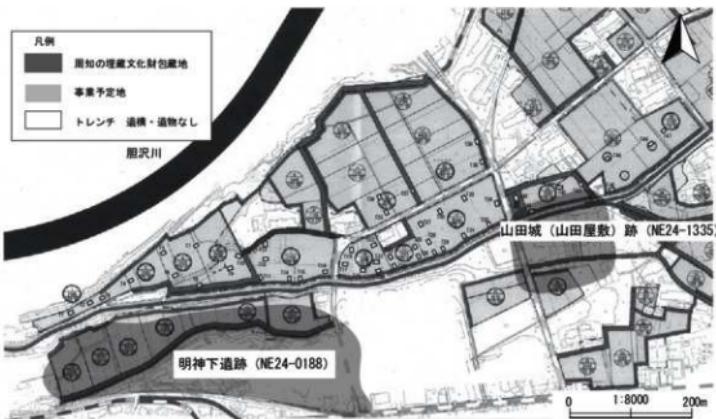
トレンチを15箇所設定したが、遺構及び遺物は確認されなかった。明神下遺跡隣接地と同様で大きく、耕作土、盛土、地山の3つに土層が分けられる。一部は耕作土直下に地山があり、大きく削平されていると考えられる。Ⅲ層とした褐色砂質土が自然堆積と思われるが、水の多い環境で堆積したと推定される。昭和22年の空中写真から見ても胆沢川の支流の一つが流れていたと考えられる。

【明神下遺跡隣接地】

自然堤防状の高まりを挟んで胆沢川が東に流れている。南側も調査地より約7m標高が高く、東西に延びている。これが明神下遺跡である。トレンチを32箇所設定したが、遺構及び遺物は確認されなかった。大きく削られた部分は耕作土直下に地山が認められた。盛土は水田造成の際のものと思われる。Ⅲ層とした褐色粘土質土が自然堆積と思われるが、水の多い状態で堆積したと推定される。南北両側の高まりがあり間の低地の地山が砂層や河川堆積と思われる砂礫層であり、調査対象地は本来、胆沢川の支流の一つが流れていたと考えられる。（山田城跡：慎重工事、明神下遺跡隣接地：工事着手可）



第104図 山田城跡・明神下遺跡位置図



第105図 山田城跡及び隣接地・明神下遺跡隣接地調査位置図

38 経営体育成基盤整備事業（愛宕地区）

みやざわはらにいせき
宮沢原Ⅱ遺跡（NE22-2316）かやかりくぼにいせき
萱刈窪Ⅱ遺跡（NE22-2353）

所 在 地：奥州市胆沢愛宕地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査日：平成29年10月30日（月）～31日（火）

調査対象地は奥州市役所から西南西へ約14km、胆沢扇状地の中位段丘面に位置し、標高は約200mを測る。同一地形面上で道路を境にして宮沢原Ⅱ遺跡・萱刈窪Ⅱ遺跡が所在する。試掘調査は農地耕作条件改善事業によるほ場への導水管を埋設する工事に係るものである。

【宮沢原Ⅱ遺跡】

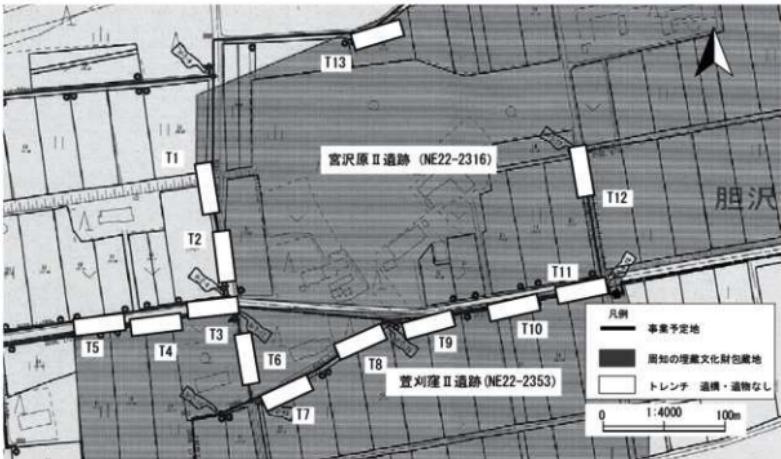
現況は水田であり、緩やかな西高東低の地形を呈する。調査ではトレンチを4箇所（T1・T2・T12・T13）設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。その結果、いずれのトレンチからも遺構及び遺物等は確認されなかった。過去のは場整備または道路工事により自然堆積層が完全に失われたと考えられる。

(慎重工事)

【萱刈窪Ⅱ遺跡】

現況は水田である。調査ではトレンチを9箇所（T3～11）設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。その結果、いずれのトレンチからも遺構及び遺物等は確認されなかった。過去のは場整備または道路工事により自然堆積層が完全に失われたと考えられる。

(慎重工事)



第106図 宮沢原Ⅱ遺跡・萱刈窪Ⅱ遺跡位置図

39 経営体育成基盤整備事業

もりしたいせき

森下遺跡 (NE25-2205) 及び隣接地

みわけもりいせき

見分森遺跡 (NE25-1375) 及び隣接地

かたこざわいせき

片子沢遺跡 (NE25-1313)

所 在 地：奥州市胆沢南都田地区

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年12月12日(火)～13日(水)

調査対象地はJR東日本東北本線水沢駅の西南西約4.3～5.5kmに位置する。試掘調査は経営体育成基盤整備事業によるは場整備に係るものである。

【森下遺跡及び隣接地】

調査対象地の標高は95m前後である。調査地の現況

は主に水田で、森下遺跡は胆沢扇状地上に分布する東西に長い丘陵上に立地している。

調査ではトレンチを8箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。

調査の結果、耕作直下では大きく削平されており、遺構及び遺物は確認されなかった。調査区は遺跡の縁辺でもあり、もともと遺構遺物の密度が薄かった可能性もあるが、過去の水田造成によって遺構や遺物が失われてしまったとも考えられる。

(慎重工事)

【見分森遺跡及び隣接地】

遺跡は胆沢扇状地上に分布する東西に長い丘陵上に立地している。調査対象地の標高は80m前後だが、見分森遺跡の中心部は113mほどある。調査地の現況は主に水田である。調査ではトレンチを12箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。

調査の結果、遺構及び遺物は確認されなかった。表土の耕作土の下には粘土質の盛土が見られ、一部盛土が無く黄褐色土の地山認められる場所もある。水田造成により大きく削平されるなど、地形が改変されている。

(慎重工事)

【片子沢遺跡】

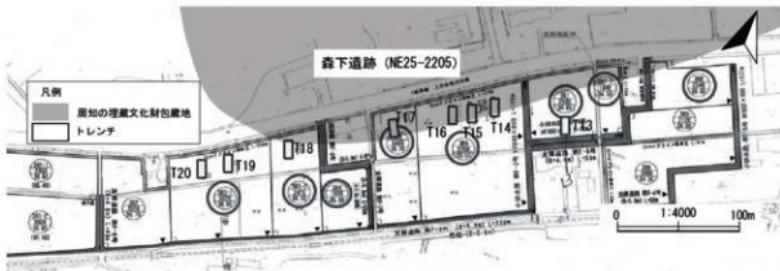
遺跡は胆沢扇状地上に放射状に断続的に分布する長い丘陵上に立地している。調査対象地の標高は79m前後である。調査地の現況は水田・畑地・宅地である。西隣には粋谷田遺跡が位置する。道路が遺跡境となっているが、地形は一連のもので本来ひとつの遺跡と考えるべきである。調査ではトレンチを7箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。

調査の結果、遺構及び遺物は確認されなかった。水田耕作土の直下水田造成時の盛土があり、下に黄褐色土の地山が確認された。水田造成により大きく削平されている。

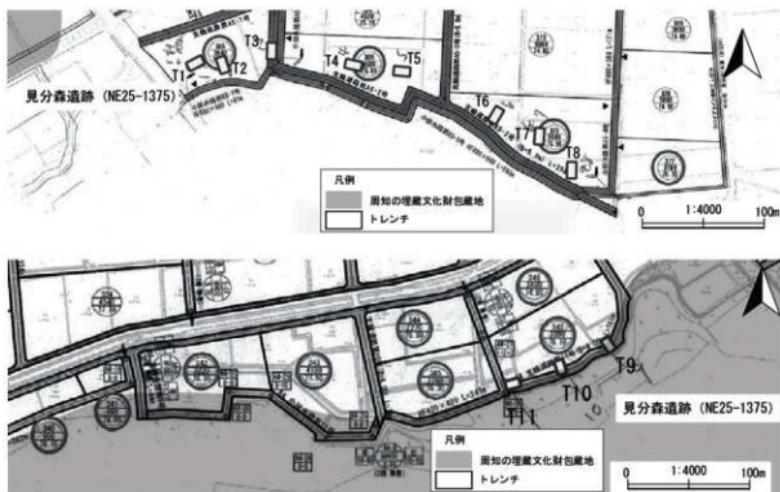
(慎重工事)



第108図 森下遺跡ほか位置図



第109図 森下遺跡及び隣接地調査位置図



第110図 見分森遺跡及び隣接地調査位置図



第111図 片子沢遺跡調査位置図

40 経営体育成基盤整備事業

こうじやたいせき 糀谷田遺跡 (NE25-1322)

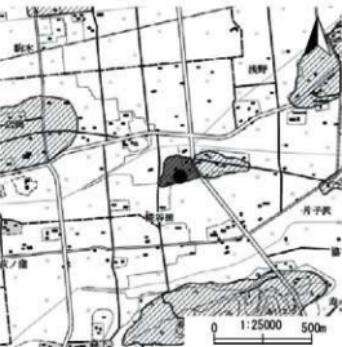
所在地：奥州市胆沢南都田地区

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年12月12日(火)～13日(水)

遺跡は胆沢扇状地上に放射状に断続的に分布する長い丘陵に立地している。東隣には片子沢遺跡が位置する。調査対象地はJR東日本東北本線水沢駅の西南西4.2kmに位置する。調査対象地の標高は80m前後である。調査地の現況は水田・畑地・宅地である。道路が遺跡境となっているが、地形は一連のもので本来ひとつの遺跡と推測される。今回の試掘調査は経営体育成基盤整備事業によるは場整備に係るものである。調査ではトレーンチを7箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。調査の結果、縄文時代と推定される土坑及び、縄文土器片が確認された。縄文土器片は擾乱からの出土である。土坑は1基地表面の下22cmで検出された。また、擾乱土から縄文土器片が少量出土した。水田造成により大きく削平されているが、田区No283-2について縄文時代の遺構等が残っていると思われる。

(工法変更により盛土保護)



第112図 糀谷田遺跡位置図



第113図 糀谷田遺跡調査位置図



第114図 糀谷田遺跡出土遺物図



写真図版18 糀谷田遺跡出土遺物

第13表 糀谷田遺跡出土遺物観察表

番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径	器高	底部径	重量	
1	T1土坑	-	縄文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	LR斜
2	T3	-	縄文土器	深鉢	底部	[110]	-	-	-	無文

計測値の〔 〕は推定値。()が残存値を表す。

41 経営体育成基盤整備事業

きたあかぜきいせき
北赤堀遺跡 (NE34-1228) 及び隣接地

所 在 地：奥州市胆沢小山字北赤堀地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成29年12月14日(木)～15日(金)

調査対象地は、J R 東日本東北本線水沢駅の南西9.7kmに位置する。胆沢扇状地の低位段丘面上に位置し、標高は150～160mである。調査地の現況は主に水田、宅地、畑である。遺跡は胆沢扇状地上を東西に流れた胆沢川の支流に、南北が浸食されて残った高まりが主な範囲となっている。遺跡内の高低差が大きく東端より西端が約10m高い。

試掘調査は経営体育成基盤整備事業によるほ場整備に係り、周知の埋蔵文化財包蔵地北赤堀遺跡で掘削工事が行われるため、実施されることとなった。

調査ではトレンチを15箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。調査の結果、遺構及び遺物は確認されなかった。南西側からは表土の直下から礫混じりの層が確認された。一部は自然の礫層と考えられたが、一部は現況の水田造成の際意図的に敷かれた可能性がある。東側、北側はやや高かったが大きく削平されており、遺構や遺物は確認できなかった。

(慎重工事)



第115図 北赤堀遺跡位置図



第116図 北赤堀遺跡及び隣接地調査位置図

42 県単急傾斜地崩壊対策事業

せんまやじょう ちゃうすだて あと
千厩城（茶臼館）跡 (OF00-0359)

所 在 地：一関市千厩町館山地内

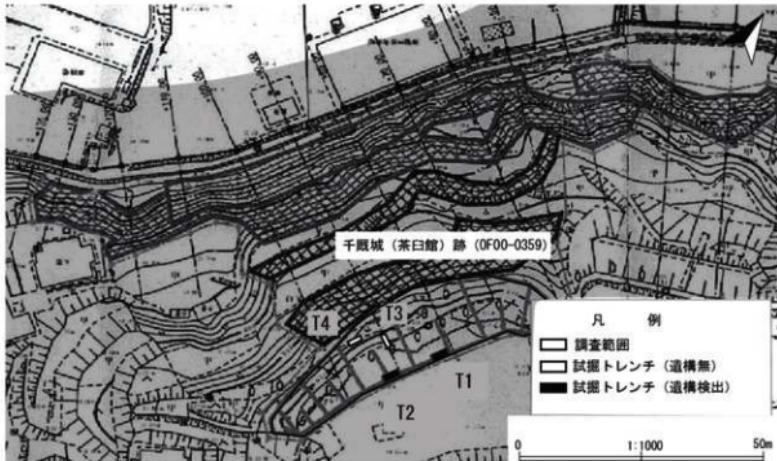
事 業 者：県南広域振興局土木部千厩土木センター

調査期日：平成29年5月19日（金）

千厩城は一関市役所から東へ18kmの位置にある。現市街地を見下ろす標高130m（比高50m）の丘陵地に立地する。現況は、北東側の平坦地に千厩町体育館などの公共施設があり、他は宅地や畠地となっている。城跡の東側は町道や駐車場などにより、地形改変されている区域が多いが、公共施設の西側では、現地形が残されており、城跡頂部（畠地）で、郭（二ノ郭）と思われる平場を確認している。

調査区域は、東日本大震災の際にクラックの入った北側急斜面の崩壊対策工事に係り、掘削される範囲となる。4箇所のトレンチを設定した。平坦面に設定したT1ではⅡ層上面を検出面とした柱穴状遺構を、T2においてⅢ層黄褐色土上面を検出面とした柱穴状遺構4基を検出した。また斜面に設定したT3ではⅡ層盛土が厚く堆積していることが判明した。この結果、Ⅱ層は比較的新しい時期に、背後の斜面を削り平坦部を広げた痕跡であり、T1で検出された柱穴状遺構は近現代の遺構と判断した。これらのことから、T1・2を設定した上位平場には何らかの施設（掘立柱建物跡もしくは構列など）があった可能性がある。城跡の縄張りはⅢ層旧表土下で確認できるが、調査区域の平場は、現況より狭い帶曲輪に近い形状と考えられる。T3・4を設定した狭い平場は、Ⅱ層が認められることから、近現代の道路と考えられるが、Ⅲ層下において城跡の痕跡が残る可能性もある。

（平成29年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施）



第118図 千厩城跡調査位置図



第117図 千厩城跡位置図

43 経営体育成基盤整備事業

ながといせき
長平遺跡 (NF80-2161) 及び隣接地こだいせき
古館遺跡 (NF80-2251) 及び隣接地

所 在 地：一関市千厩町仮坂地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

一関農村整備センター

調査日：平成29年11月14日(火)～16日(木)

調査対象地は一関市役所から東へ約16～17kmに位置する。試掘調査は経営体育成基盤整備事業によるほ場整備工事に係るものである。現況は水田と畑地で周辺には花崗閃緑岩の巨礫が露出しており、ほ場の隅に集められた巨礫が見られる。標高は約140～180mを測る。長平遺跡及び隣接地ではトレンチを18箇所、古館遺跡及び隣接地ではトレンチを3箇所設定した。その結果、いずれのトレンチからも遺構及び遺物は確認されなかった。T 7～9にかけて上部層以外は自然堆積層が人為的な影響を受けず残存していたが、T 10～24は過去のほ場整備により自然堆積層が削平を受けており、耕作土直下が地山、または小河川が埋没した地形のため砂礫粘土と湧水が確認された。

(共に積重工事)



第119図 長平遺跡・古館遺跡位置図



第120図 長平遺跡及び隣接地調査位置図



第121図 古館遺跡及び隣接地調査位置図

44 経営体育成基盤整備事業

なかじまいせき 中島遺跡 (NE95-2273) 及び隣接地

所 在 地：一関市萩生西黒沢地区

事 業 者：県南広域振興局農政部

一関農村整備センター

調査期日：平成29年11月20日(月)～22日(水)、

27日(月)～28日(火)

調査対象地は一関市役所から西南西へ約3.5km、磐井川と久保川に挟まれた河岸段丘面上に位置し、標高は約52～55mを測る。地形は平坦であるが、調査区南北軸中央付近をピークとし、両河川に向かって緩やかな傾斜が見られる。当該遺跡とその周辺の現況は、水田と畠地であり、一部に休耕田が見られる。区画整備されたのは場と平坦な地形から、過去のは場整備により地形の改変が行われたものと推測される。

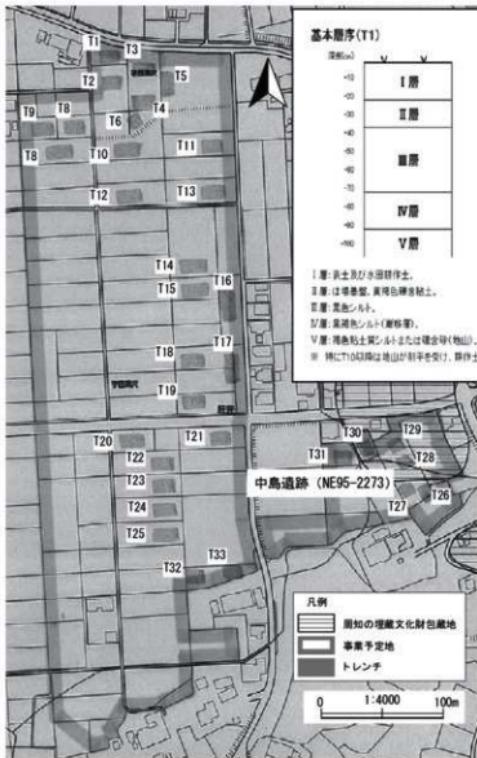
今回の試掘調査は経営体育成基盤整備事業によるは場整備工事に係るものである。調査では田起こしされている水田を除き、トレンチを33箇所設定し、遺構及び遺物の有無、土層の確認を行った。

その結果、T7耕作土中から地文のみの繩文土器をわずかに確認したが、他のトレンチからは遺構・遺物は確認されなかった。T7の繩文土器は耕作土中かつ客土からの出土であるため、工事による遺跡への影響は無いものと判断する。調査対象地全域において過去のは場整備や農作業、宅地造成などにより、自然堆積層が失われ、多くのトレンチで耕作土直下が地山であることを確認した。地山は段丘砂礫層または粘土質シルトであり、河川の營力により形成された地形であることを示している。

(慎重工事)



第122図 中島遺跡位置図



第123図 中島遺跡及び隣接地調査位置図

45 中山間地域総合整備事業

とちくらだてあと
栢倉館跡 (OE03-1358)

所 在 地：一関市萩莊字外山地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

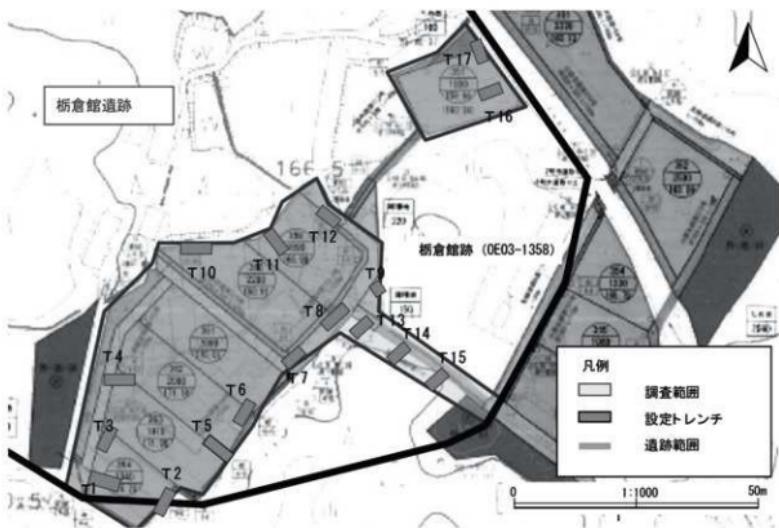
一関農村整備センター

調査期日：平成29年11月29日(水)

栢倉館跡はJR東日本東北本線一ノ関駅から東に約11km、奥羽山脈から続く中起伏山地及び栢倉川の中位段丘上に位置する中世末の城館跡である。約5km北には、国の名勝・天然記念物である戯美渓が所在する。現地標高は約160~180mで、現況は水田・畑地及び山林となっている。今回の調査地は、丘陵に挟まれた谷底平野に作られた北東向きに緩やかな傾斜をする棚田及び農道である。

事業は傾斜地や狭い農地が多いなど、農業の生産条件が不利な地域の改善を目的とした中山間地域総合整備事業で、調査地に試掘トレンチを17箇所設定し、重機で掘り下げたのち、遺構の有無の確認を行った。調査の結果、当該地の棚田部分は、腐植土及び耕作土直下が地山と考えられ、過去のは場整備の際に、付近の山を削り谷底平野部をならし、水田を造成していると判断される。水田にアクセスする農道部分に設定したT13~15は、暗褐色シルト等の自然堆積層が残存していたが、遺構や遺物は確認できなかった。飛び地の水田に設定したT16・17も、水田耕作土の下層は、疊を多量に含む盛土で造成されており、遺構や遺物は確認できなかった。

(填重工事)



46 中山間地域総合整備事業（霞沢地区）

和田沢遺跡（MF61-0118）及び隣接地

所在地：一関市大東町霞沢地内

事業者：県南広域振興局農政部

一関農村整備センター

調査期日：平成29年10月26日(木)～27日(金)

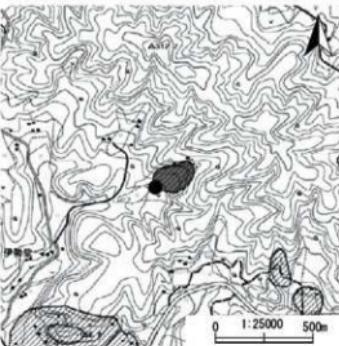
和田沢遺跡はJR東日本大船渡線沼沢駅から北東約4.8kmの北上高地内の谷底平野と丘陵地裾部に所在する縄文時代の遺跡である。現地標高は約160～175mである。

事業はは場整備に係るもので、試掘トレンチを調査区全体で18箇所設定し、重機により遺構や遺物の有無を確認しながら掘り下げた。

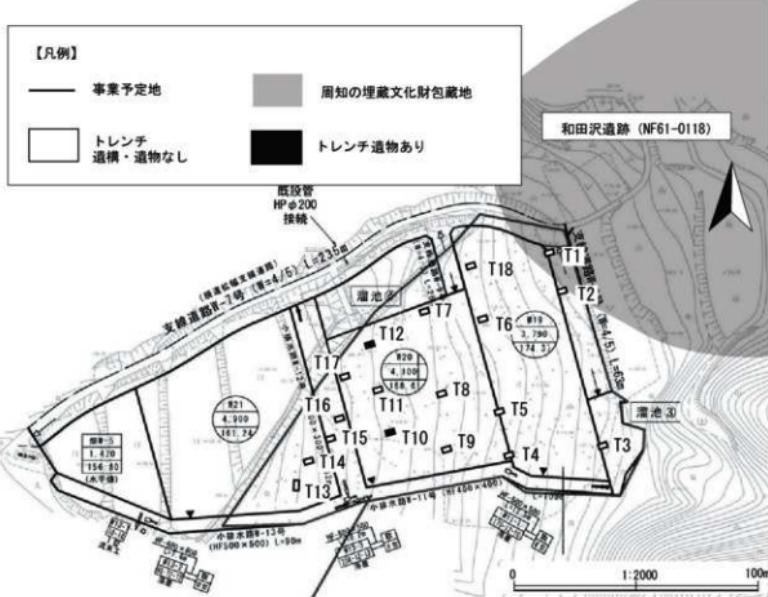
調査の結果、V層褐色土上面で遺構検出を試みたものの、遺構は確認されなかった。旧河道と考えられる箇所で黒褐色の自然堆積層（IV層）を確認したもの、事業予定地全体で土地の改変（II・III層）が確認され、旧地形は削平を受け失われたと考える。

また、T10のII層及びT12のIV層から縄文土器（地文のみ）が出土したものの、遺跡範囲外であり、いずれも上流からの流れ込みと考える。

(猿重工事)



第126図 和田沢遺跡位置図



47 県単独凍雪害対策事業

可能性あり1

所在地：一関市大東町鳥海字小黒滝地内

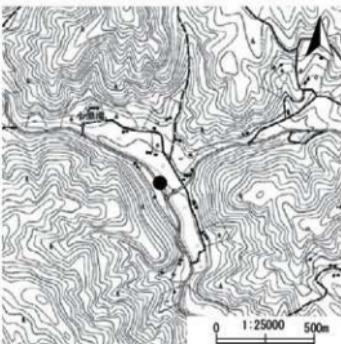
事業者：県南広域振興局土木部千厩土木センター

調査期日：平成29年11月15日（水）

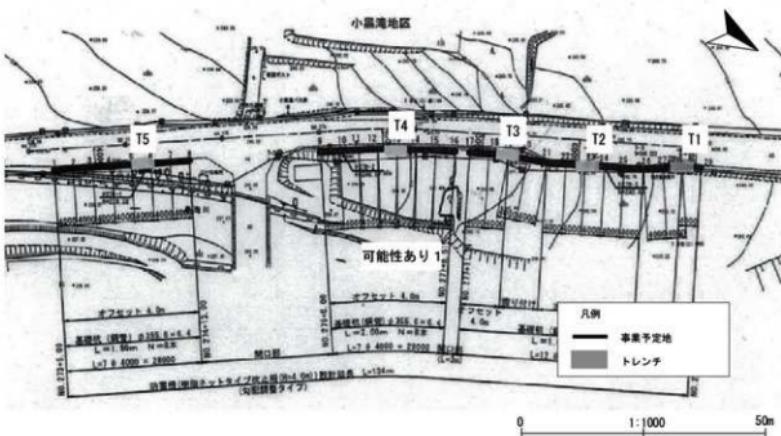
事業地は一関市役所大東支所の北西方向約9.7kmに位置する。鳥海川右岸の標高239~244mの段丘面上に位置する。古生代石炭紀の堆積岩などを基盤として段丘堆積物がのる。事業は県単独凍雪害対策事業に伴い調査を実施したものである。

基本土層は4層に区分した。T1・2を除いて地表面から約1m下位にⅢ層旧表土が堆積する。T3では本層下部に十和田・中嶽火山灰（約6,100年前）の小プロック（1~3cm）を介在させる。T2では地表面下20cmに層理が発達するⅣ層地山砂礫層が堆積する。トレチは5本設定した。全体的に右岸山体裾から河川に向う緩斜面を道路工事等で盛土し平坦な地形に改良したと推測される。T3・4では地表面下120~140cm下位でⅣ層旧表土が観察される。T3のⅢ層内で土器1片（縄文時代）が出土した。T5地形面はT1~4の地形面より一段低く、低湿地的な環境で堆積した堆積物と考えられる。調査の結果、遺構は検出されなかったものの、調査範囲内において旧表土内から縄文土器1片が出土した。近隣には周知の埋蔵文化財包蔵地が所在していないため、未周知の埋蔵文化財包蔵地が事業予定地西側の緩斜面から広がると考えられる。

（工事立会）



第128図 可能性あり1位置図



第129図 可能性あり1調査位置図

河川災害復旧等関連緊急事業

まつばやしいもいせき
松林 I 遺跡 (KF08-1366)

所 在 地：下閉伊郡岩泉町安家字松林地内

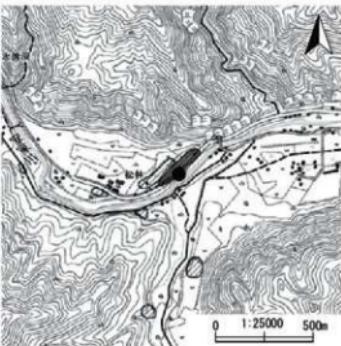
事 業 者：沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター

調査期日：平成29年12月12日(火)～13日(水)

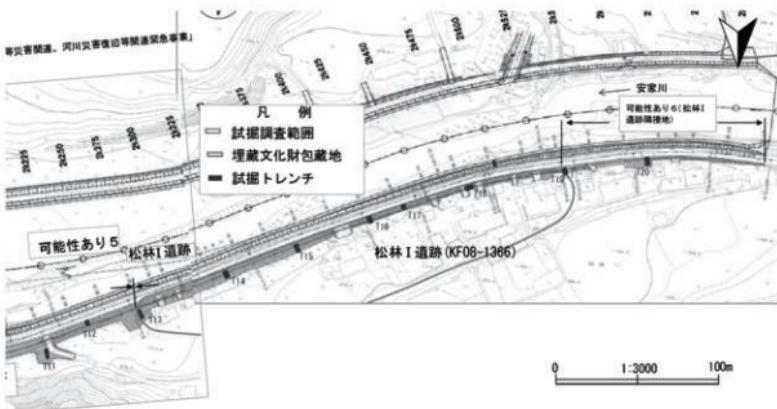
事業予定地は岩泉町役場の北北西方向約17.2kmに位置する。安家川左岸に分布する段丘面で、標高は277～282mである。調査地周辺には龍泉洞や安家洞をもつ中生代ジュラ紀（約2億～1億4600万年前）石灰岩層が北西南東方向に分布する。現況は宅地、畠地及び原野である。基本土層は6層に区分した。I b層黒褐色土は全般的に砂質土で、場所により粗粒砂（洪水堆積物、平成28年度台風災害）が堆積している。I c層は土地改良のために盛土したものとみられ、主に砂礫である。II層は旧表土とみられ、中疊（約2～5cm）が混入する。IV層地山は粗粒砂～砂礫層である。

トレンチは7本設定した（T13～19）。トレンチは重機バケット幅で長さは2～4mである。T18は宅地内で、I a層碎石下位にI b層砂礫層が堆積する。T19ではI a層下位にI b層真砂土が堆積する。IV層地山は緑灰色の砂礫層で、T14・15ではオリーブ灰色砂である。調査では遺構は検出されず、遺物も採取できなかった。

(慎重工事)



第130図 松林 I 遺跡位置図



第131図 松林 I 遺跡調査位置図

49 東北自動車道

(仮称) 平泉スマートインターチェンジ事業

祇園 I 遺跡 (NE86-0006)

ぎおんにいせき

祇園 II 遺跡 (NE76-2087)

かたおかにいせき

片岡 II 遺跡 (NE86-0082)

所 在 地：西磐井郡平泉町平泉字祇園地内

事 業 者：東日本高速道路株式会社

東北支社北上管理事務所

調査期日：平成29年4月18日(火)～24日(月)

調査対象地はJR東日本東北本線平泉駅から南南西約1.5km地点に位置している。北上川・太田川・小金沢川により形成された段丘上に位置する。現況は水田で標高は25m前後である。

【祇園 I 遺跡】

平成6年に行われた平泉町による発掘調査では、12世紀の掘立柱建物跡や柱穴等が検出されている。調査区を田面と旧地形の特徴から3区分し、42本のトレンチを設定した。A・B区は旧国道寄り、C区はB区西側の現高速道路側の水田面である。基本層序は4層に区分した。A区ではI層水田耕作土は垂直の酸化鉄クラックがみられる。下部はII層作土盤が塊状に混入することがある。II層作土盤は切盛土で、田区により欠くところがあり、その場合I層が直接IV層地山(A区)にのる。B区では作土盤が厚く、黒褐色を呈する。III層は旧耕作土とみられ、部分的にII層下位にみられる。調査の結果、A区では旧緩斜面が南から北へ上がり、は場整備の切土が少ない旧微高地部分で柱穴2基が検出され、かわらけ片や陶器片が出土した。T9では径36cm円形状で、暗褐色の埋土に意図的に埋設したと考えられる小型のかわらけと遺構周囲で陶器片(常滑?)が数点出土した。T10の柱穴は径15cm円形状で炭混じりの暗褐色土で埋められている。C区では八坂神社がのる微高地の延長部分とみられる旧微高地で土坑1基、柱穴5基を確認した。T24では暗褐色埋土の径20cm円形の柱穴を3基検出した。T25では暗褐色埋土の円形の土坑1基、円形の径22cmの柱穴1基を、T26では径20cmの円形状柱穴を検出した。T25の柱穴埋土からは磨耗した土器小片と炭化物片が出土した。以上のことから、A区(北側縁辺の農道含む)とC区において発掘調査が必要であると判断した。

(平成30年度県埋蔵文化財センターにより発掘調査実施)

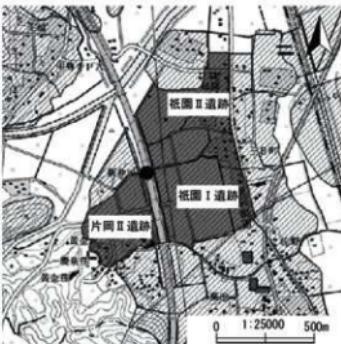
【祇園 II 遺跡】

特別史跡毛越寺の飛地1箇所を含み、平成19年までに3度の調査が行われ、社寺跡等が確認されている。基本層序はIII層地山上にII層作土盤、I層水田耕作土の順に堆積し、III層地山は浅黄色～緑灰色粘土である。トレンチは17本設定した。現水田整備前の地形判読からは、調査区東側の八坂神社がのる微高地が本調査区付近まで続き、遺構・遺物が残存する可能性が考えられたが、流れ込みと思われる土器片がII層作土盤から1点出土したのみであり、遺構は確認されなかった。

(損重工事)

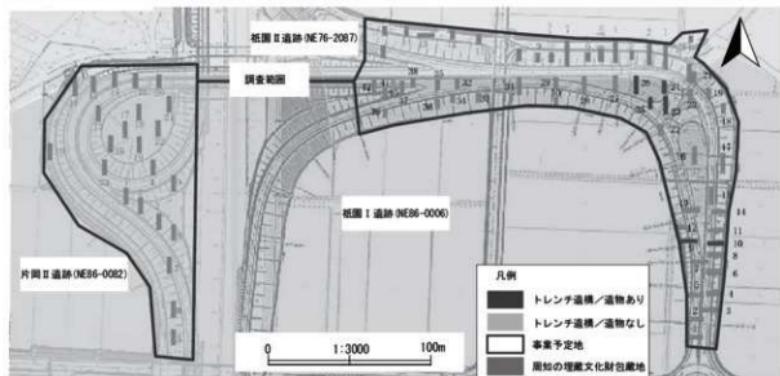
【片岡 II 遺跡】

平成4年に平泉町が発掘調査を実施しており、縄文土器が出土している。基本土層は4層に分類されるが、は場整備によってIII層である旧耕作土の上に作土盤、そして現在の水田耕作土が造成されている。調査地に試掘トレンチを23本設定した。その結果、T17とT18からは幅約0.6～1mを測る、にぶ

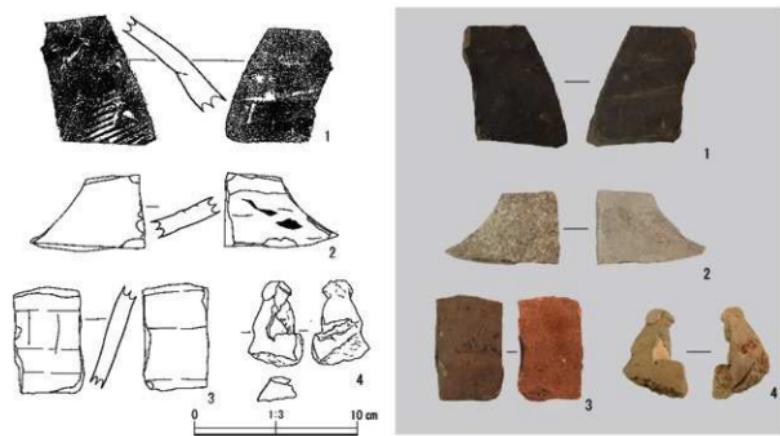


第132図 祇園 I 遺跡ほか位置図

い黄褐色土で埋められ蛇行しながら東側にのびる溝状遺構が検出されたが、昭和期の航空写真からは場整備前の水路であると判断した。その他のトレチでは、南側から北側に向かって低くなっている地形を作土盤によって平坦にしている様子が伺えたが、遺構・遺物ともに確認されなかった。(慎重工事)



第133図 祇園 I 遺跡・祇園 II 遺跡・片岡 II 遺跡調査位置図



第134図 祇園 I 遺跡出土遺物

写真図版19 祇園 I 遺跡出土遺物

第14表 祇園 I 遺跡出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)				特徴
						口径 幅	器高 横	底部径 横	重量 厚さ	
1	T5	1・2層間	陶器	甕	肩部	-	-	-	-	深美
2	T3	3	陶器	甕	体部	-	-	-	-	常滑
3	T5	2	陶器	甕	体部	-	-	-	-	常滑
4	T3	3	粘土塊			-	-	-	-	土器片付着、焼台か

50 農地耕作条件改善事業 湯沢(2)地区

間渡 I 遺跡 (LE26-2098) 及び隣接地

小田 I 遺跡 (LE36-0000)

小田 II 遺跡 (LE36-0020) 及び隣接地

新井田 II 遺跡 (LE26-2013)

新田遺跡 (LE26-2037) 及び隣接地

所在地：盛岡市湯沢地内ほか

事業者：農事組合法人となん

調査期日：平成29年10月31日(火)～11月2日(木)

24日(金)

盛岡市役所の南南西約6～7km、洪積世砂礫段丘上に位置し、標高は125～140mで、現況は水田である。

事業はほ場整備の一環で区画整理に係るもので、現況は水田である。調査ではいずれも全体的に過去のは場整備により、削平を受けた様相が窺えた。

【間渡 I 遺跡及び隣接地】

試掘トレンチを9箇所設定した。T 9では、旧表土と思われる黒色土の堆積が見られたが、それ以外の地点では、造成土直下に黄褐色の地山が見られた。遺構・遺物は確認されなかった。

【小田 I 遺跡・小田 II 遺跡及び隣接地】

試掘トレンチを15箇所設定した。一部柱穴状の土坑を検出したが、埋土の状況からいざれも近現代のものと判断した。小田 II 遺跡ではT13より、埋土に縄文土器片を伴う性格不明の遺構を確認したが、近現代の搅乱と判断した。それ以外の地点では、造成土直下に黄褐色土の地山が見られた。

【新井田 II 遺跡・新田遺跡及び隣接地】

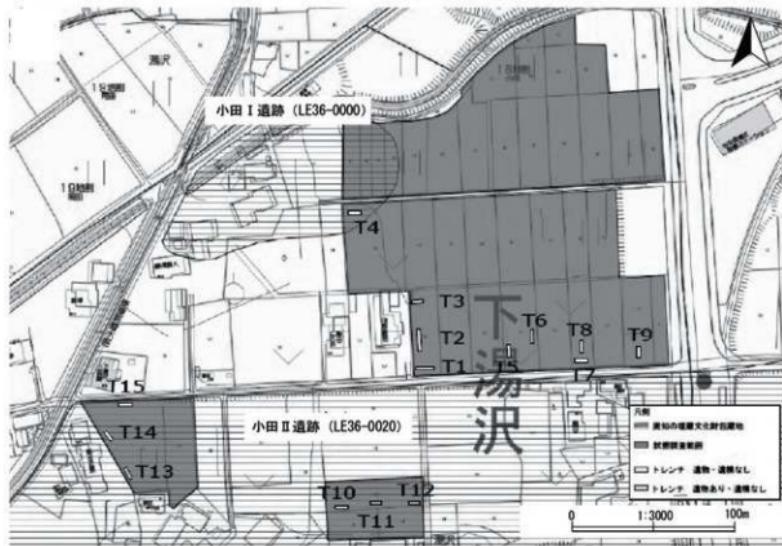
試掘トレンチを10箇所設定した。新田遺跡及び隣接地では、T 6において土器片、新井田 II 遺跡では、T 7において土器片がそれぞれ出土したが、いざれも造成土からの出土であり、摩滅も激しいことから過去のは場整備により搅乱を受けているものと考えられる。
(いざれも慎重工事)



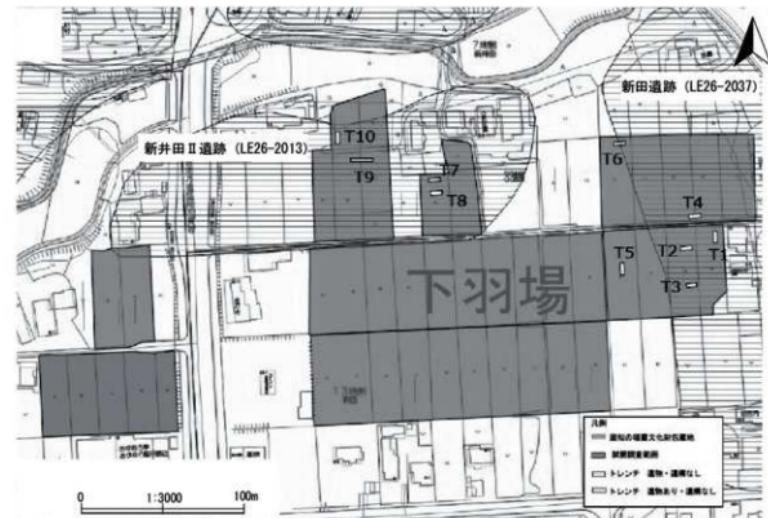
第135図 間渡 I 遺跡ほか位置図



第136図 間渡 I 遺跡及び隣接地調査位置図



第137図 小田 I 遺跡・小田 II 遺跡及び隣接地調査位置図



第138図 新井田 II 遺跡・新田遺跡及び隣接地調査位置図

III 工事立会

- ① 町屋敷遺跡（奥州市）
- ② 板橋遺跡（洋野町）
- ③ 赤洞遺跡（奥州市）



第139図 工事立会位置図

1 一般国道4号水沢東バイパス

まちやしきいせき 町屋敷遺跡 (NE27-1029)

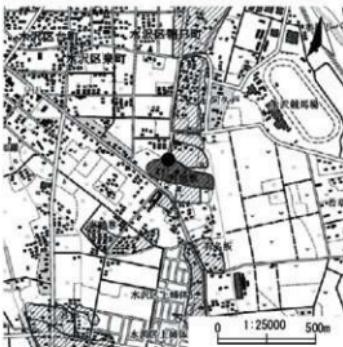
所 在 地：奥州市水沢真城字町屋敷地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

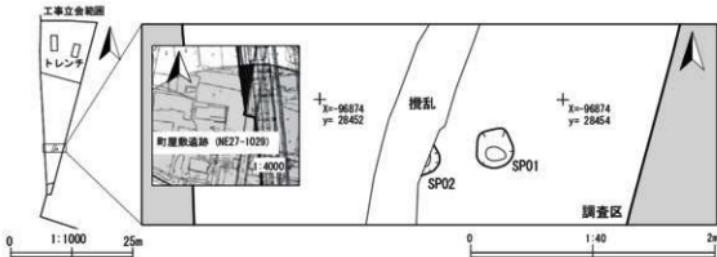
岩手河川国道事務所

調査期日：平成29年8月7日(月)、9日(水)

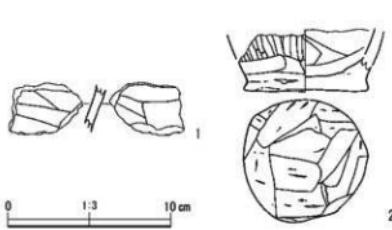
町屋敷遺跡はJR東日本東北本線水沢駅から南東約1.4kmの水沢段丘の東縁辺部に立地する。立会は遺跡の北西端の平坦部での道路整備に係るもので、現地標高は約41mである。立会の結果、地表下0.4~0.5mで黄褐色の自然堆積層を確認した。同面を遺構検出面とし柱穴を2基検出した。規模はSP01が直径34cm×32cm、深さ16cm、SP02が直径30cm以上、深さ22cmである。SP02は焼土粒が多く混入する。共に出土遺物はなく帰属時期は不明である。遺物は造成土より土師器壺の底部片が出土したもの、検出した柱穴との関係は不明である。



第140図 町屋敷遺跡位置図



第141図 町屋敷遺跡調査位置図



第142図 町屋敷遺跡出土遺物図



写真図版20 町屋敷遺跡出土遺物

第15表 町屋敷遺跡出土遺物観察表

掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm, g)				特徴	
						口径	器高	底部径	重量		
						幅	横	厚さ			
1	擾乱	-	土師器	壺	胴部	-	-	-	-	内外面ナデ	
2	擾乱	-	土師器	壺	底部	-	-	7.7	-	ミガキ→ナデ、内面ナデ、底面ケズリ、ナデ	

2 三陸沿岸道路（洋野階上道路）

いたばしいせき
板橋遺跡 (IF58-1170) (旧可能性あり)

所 在 地：九戸郡洋野町種市第21地割板橋地内

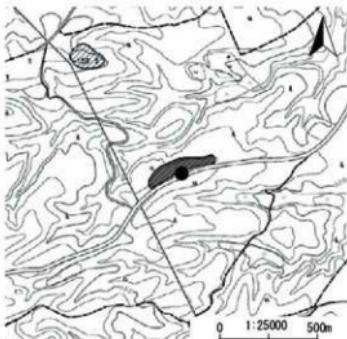
事 業 者：国土交通省東北地方整備局

三陸国道事務所

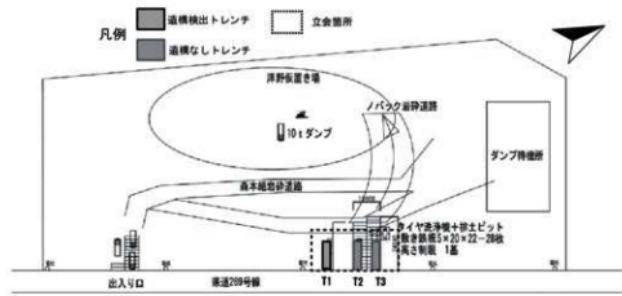
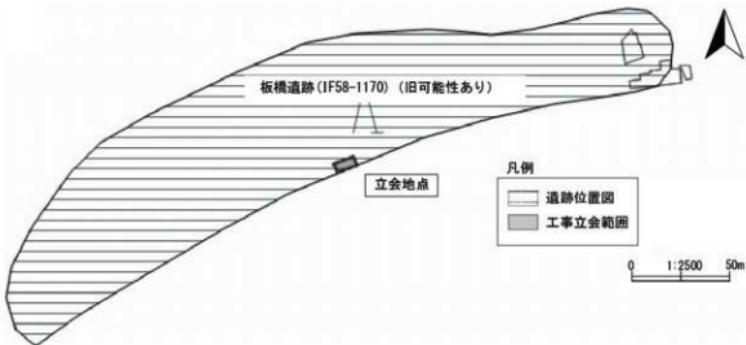
調査期日：平成29年6月6日(月)

事業地は洋野町役場から南西へ約3.2km、開析が進む海岸段丘の段丘面上に位置し、標高は約130mを測る。立会箇所は県道269号線北側の狭小地で、現況は雑木が茂る路肩部分である。今回の立会調査は、県道から土砂仮置場へのトラック出入口設置に伴い掘削工事が行われることから実施された。

立会調査ではT1から陥し穴状土坑と考えられるプランが確認された。遺物は出土していない。他のT2・T3では確認されず、トラックの出入口をT2・T3側に設置することと、造構が確認されたT1については、覆土し現状保存することとした。



第143図 板橋遺跡(旧可能性あり)位置図



第144図 板橋遺跡(旧可能性あり)調査位置図

3 農地耕作条件改善事業愛宕地区第2号工事

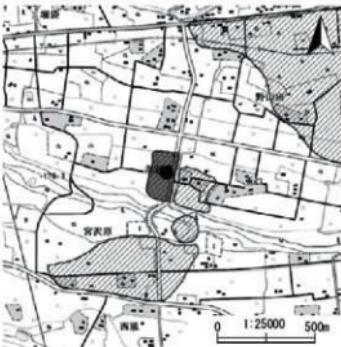
赤剥遺跡 (NE23-2308)

所在 地：奥州市胆沢若柳地内

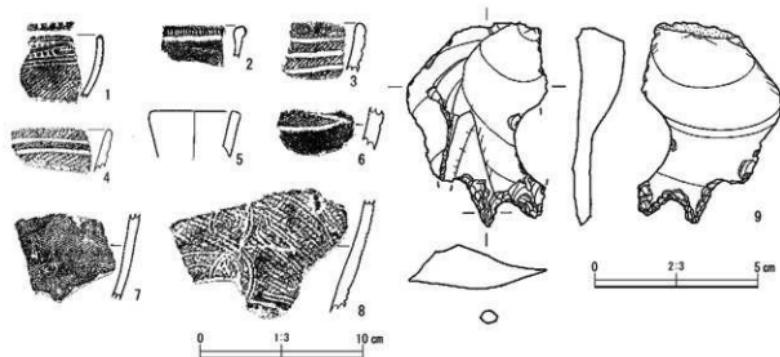
事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成30年1月15日(月)

赤剥遺跡は奥州市胆沢総合支所の西方約4.9kmに位置する。胆沢扇状地に広がる段丘群の水沢高位段丘面に立地する。標高は約153mで現況は水田及び道路となっている。事業は農地耕作条件改善事業で、試掘調査において土器が出土したため、約24m²の範囲について立会調査を行った。工事掘削深度の115mまで重機で掘り下げ確認を行った結果、Ⅱ・Ⅲ層の盛土から縄文土器片及び石器類が少量出土し、Ⅳ層の黒褐色シルト層から多量の縄文土器片及び石器類が出土した。Ⅳ層は自然堆積であることや明確な遺構のプランは確認できないことから、遺物包含層であると考えられるがA地点では遺物は確認できなかった。出土した遺物の量は小コンテナ1箱分で、土器の文様等から縄文時代後晩期と考えられる。本調査区周辺には、遺構が広がっている可能性が高いが、Ⅳ層中で掘削を終了したため、遺物包含層の広がりを記録し、立会調査を終了した。



第145図 赤剥遺跡位置図



第146図 赤剥遺跡出土遺物図

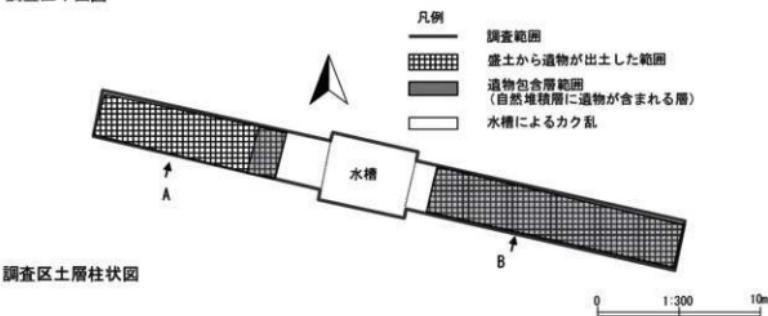
第16表 赤剥遺跡出土遺物観察表

査定番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値 (cm・g)				特徴
						口径 幅	器高 横	底部径 厚さ	重量	
1	IV	縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	-	口唇削み、半円状文、沈縄文
2	IV	縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	-	削み
3	IV	縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	-	LR横、横走沈縄
4	IV	縄文土器	深鉢	口縁部	-	-	-	-	-	LR横、横走沈縄、磨消
5	IV	縄文土器	瓶	口縁部	[56]	-	-	-	-	無文、器台か
6	IV	縄文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	-	LR斜
7	IV	縄文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	-	LR縦、沈縄(領状)
8	IV	縄文土器	深鉢	胴部	-	-	-	-	-	LR横、沈縄、磨消
9	IV	石器	RF		62	43	1.5	25.84		

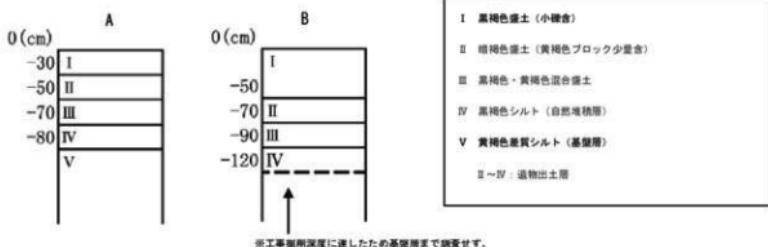
計測値の〔 〕は推定値、() が既存値を表す。



調査区平面図



調査区土層柱状図



※工事掘削深度に達したため基礎層まで調査せず。

第147図 赤剥遺跡調査位置図



写真図版21 赤剥遺跡出土遺物

IV 調査一覧

第17表 発掘調査一覧表

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地	検出遺構	面積
1	平成29年11月27日～12月15日	経営体育或基盤整備事業	基南広域振興局農政部 北上農村整備センター	花井根上遺跡 (ME74-0114)	北上市和賀町若輪 新田地内	縄文 築し穴状遺構2基 古代 墓穴建物跡5棟、カマド1 基、溝8条、柱穴土坑33基 時期不詳 墓穴建物跡1棟、土坑2 基、性格不明1基	700m ²
2	平成29年12月19日～21日	経営体育或基盤整備事業	基南広域振興局農政部 北上農村整備センター	上原ヶ墓遺跡 (ME63-1286)	北上市和賀町若輪 新田地内	縄文 フラスコ状土坑2基	29m ²

市町村支援

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地	検出遺構	面積
3	平成29年7月19日～26日	個人住宅新築工事	野田村教育委員会	野田塙穴(中平) 遺跡(JG60-0258)	野田村	墓穴建物跡1棟、焼土1箇所、柱穴 1箇	70m ²
4	平成29年12月19日～26日	個人住宅新築工事	野田村教育委員会	野田塙穴(中平) 遺跡(JG60-0258)	野田村	墓穴建物跡6棟、焼土2箇所、土坑 1基、柱穴5箇	220m ²

※市町村支援の発掘調査報告書は市町村教育委員会が另行予定

第18表 試掘調査一覧表(1)

※アミセサはⅡ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地	結果	記載No.
1	平成29年6月20日	経営体育或基盤整備事業	基南広域振興局農政部一閣 農村整備センター	鳥鳥貝塙(0E57-0136) 隣接地	一関市花巻町夏田地区 ほか	工事着手可	
2				北条相跡(LE77-0664) 及び隣接地			
3	平成29年4月10日～13日	北上川中流域緊急治水対策事業	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所	北日詰洞内I遺跡 (LE77-0194) 及び隣接地	紫波郡紫波町北日詰字 城内地内	発掘調査	1
4				南日詰大銀II遺跡 (LE77-1164)			
5				机闇I遺跡(NE586-0006)		発掘調査	
6	平成29年4月18日～24日	東北自動車道(仮称)平屋スマーチンターチェンジ事業	東日本高速道路株式会社東 北支社北上管理事務所	机闇II遺跡(NE76-2087)	西磐井郡平泉町平字字 机闇地内	信重工事	49
7				片岡II遺跡(NE66-0082)		信重工事	
8	平成29年4月25日	相地帯総合整備事業(仮称)手青 流域	基北広域振興局農政部二郎 林地振興センター農村整備 室	佐々木館(相舟館)跡 (IE99-1257)	二戸市米沢字家ノ土地内	信重工事	14
9	平成29年4月28日	三陸沿岸道路(普代道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	可逆性あり	下閉伊郡代村第11地 割地内	工事着手可	
10	平成29年5月1日～21日、 8日	上北湘南高等学校草薙沼工事 区画	県教委員会事務局教育企 画室	高前田I遺跡(ME75-1278) 及び隣接地	北上市相去町高前田地内	信重工事	23
11	平成29年5月10日	三陸沿岸道路(釜石山田道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	辺地堀I遺跡(MG32-0359)	上閉伊郡大槌町大槌地内	信重工事	11
12	平成29年5月12日	地域連携道路整備事業一般国道 396号上宮守地区道路改良工事	基南広域振興局土木部深野 土木センター	可能性あり3	遠野市宮守町上宮守地内	工事着手可	
13	平成29年5月16日	三陸沿岸道路(唐金高田道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	水上I遺跡(NP77-1060) 隣接地	陸前高田市氣仙町地内	工事着手可	
14	平成29年5月19日	県立急傾斜地崩壊対策事業	基南広域振興局土木部千葉 土木センター	千菅城跡 (OF00-0359)	一関市千賀町吉里地内	発掘調査	42
15	平成29年5月24日	三陸沿岸道路(吉浜釜石道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	荒川字子瀬道路 (MG92-2055)	釜石市勝丹町上荒川地内	信重工事	12
16	平成29年5月31日	三陸沿岸道路(芦野附上道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	可能性あり1	九戸郡洋野町種子字角 ノ浜地内	工事着手可	
17	平成29年5月31日	一般国道号復復(大槌町吉里 吉里地区)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	新船跡(MG33-0348)	上閉伊郡大槌町吉里 吉里地内	信重工事	10
18	平成29年6月8日	三陸沿岸道路(野田久慈道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	芦ヶ沢II遺跡 (JF49-1304) 及び隣接地	久慈由良内町第17地割 地内	信重工事	7
19	平成29年6月27日～28日	地域連携道路整備事業一般国道 396号上宮守地区道路改良工事	基南広域振興局土木部深野 土木センター	船橋III遺跡(MF32-0099) 隣接地	遠野市宮守町上宮守地内	工事着手可	
20	平成29年7月6日～7日	三陸沿岸道路(芦野附上道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸国道路事務所	船橋I遺跡(IP58-1209) 隣接地	九戸郡洋野町種子第15 地割地内	発掘調査	4

第19表 試掘調査一覧表(2)

※アミセはⅡ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果	記載
21	平成29年7月10日	三陸沿岸道路(普代久原道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	可能性あり11	九戸郡田村米田地内	工事着手可	
22	平成29年7月18日	農地整備事業(經營体成形)	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	八幡館道跡(KES7-1101) 篠根地	盛岡市宇田武道地内	工事着手可	
23	平成29年7月19日	相撲工業高等学校管理教室校改 第1工事	教育委員会事務局教育企画室	森合道跡(LE09-1226)	二戸市石切町火元原地内	工事着手可	
24	平成29年7月24日～27日	千葉地方道大船渡西三陸海岸 輪島地区地域整備道路整備事業	沿岸広域振興局土木部大船 渡土木センター	可能性あり5～7	大船渡市市崎地内	工事着手可	
25	平成29年7月25日	三陸沿岸道路(田代畠道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	浜岩見道跡(KEG3-1030) 及び篠根地	下閉伊郡田野畠村浜岩見 地内	供電工事	8
26	平成29年7月31日	中山間地域総合整備事業	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	はたふく道跡(LES1-0358) 及び篠根地	岩手郡花巻町大村地内	供電工事	
27				大谷道跡(LE42-2063) 及び篠根地	岩手郡花巻町大村地内	供電工事	21
28	平成29年8月1日	三陸沿岸道路(宮古老道跡)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	千歳道跡群(LG33-0197)	宮古市千歳地内	供電工事	9
29	平成29年8月3日	防災安全(交通安全)事業大川 自衛隊	県立広域振興局土木部	外里道跡(JF38-0255) 及び篠根地	久慈市大川町日町地内	供電工事	13
30		千葉地方道大船渡川原路高 麗川原路	沿岸広域振興局土木部人船 渡土木センター	可能性あり②	大船渡市末町字中野 地内	工事着手可	
31	平成29年8月3日～4日	産業廃棄物処理施設整備事業	福島生活産業物質貯蔵室	横浜川越道跡(KE04-2323) (田川可能性あり)	八幡平市平松地区	発掘調査	19
32	平成29年8月28日～9月1日	産業廃棄物処理施設整備事業	福島生活産業物質貯蔵室	久慈市舟浜町本町第9 地割地内	工事着手可		
33	平成29年8月29日	三陸沿岸道路(久慈北道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	可能性あり3(1残地)	久慈市舟浜町本町第9 地割地内	工事着手可	
34	平成29年9月5日	三陸沿岸道路(洋野町上道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	可能性あり22北	久慈市洋野町横市第14 地割北玉川町地内	工事着手可	
35	平成29年9月7日～8日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	花曾見道跡(ME74-0114) 及び篠根地	北上市和賀町岩崎新田 10地割地内	発掘調査	24
36	平成29年9月8日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	新田道跡(ME74-0164) 及び篠根地	北上市和賀町岩崎新田 7地割地内	供電工事	25
37				梅木台本地2道跡 (ME64-2112) 及び篠根地		供電工事	26
38	平成29年9月11日～12日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	及川道跡(ME64-2101) 及び篠根地	北上市和賀町篠根地内	供電工事	
39				上反町道跡(ME64-2014) 及び篠根地		供電工事	31
40				法量野1道跡(ME93-2313) 及び篠根地		供電工事	
41	平成29年9月13日～14日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	法量野1道跡(ME93-2351) 及び篠根地	北上市和賀町篠根地内	供電工事	28
42				信野Ⅱ道跡(ME73-0238) 及び篠根地		供電工事	27
43				下原1番組道跡(ME64-2001)		供電工事	
44	平成29年9月12日～13日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	福澤道跡(MBG3-2318) 及び篠根地	北上市和賀町篠根地内	供電工事	29
45				恵ヶ丘道跡(ME73-0352) 及び篠根地		供電工事	30
46	平成29年9月14日～15日	経営体育成基整備事業(和賀 中部岩崎地区)	岩手県在城振興局農政部北上 農村整備センター	上原1番組道跡(ME63-1286) 及び篠根地	北上市和賀町篠根地内	発掘調査	32
47	平成29年9月20日	一般国道6号復興(大槌町吉野 吉井地区)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	新照路(MG33-0348) 及び篠根地	上閉伊郡大槌町吉野 吉井地内	供電工事	10
48	平成29年9月27日	三陸沿岸道路(久慈北道路)	国土交通省東北地方整備局 三陸沿岸事務所	木場道跡(JG00-0135) 及び篠根地	久慈市舟浜町本町第9 地割地内	工事着手可	
49				赤羽根道跡(NE24-1009) 及び篠根地		供電工事	
50	平成29年10月16日～18日	農地耕作条件改善事業(愛宕地区)	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	上郷道道跡(NE34-1140) 及び篠根地	奥州市南陽区愛宕境内	供電工事	35
51	平成29年10月17日	農地耕作条件改善事業(愛宕地区)	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	赤羽根道跡(NE24-2308) 及び篠根地	奥州市南陽区愛宕町赤羽 根地内	工事立案	36
52	平成29年10月26日	経営体育成基整備事業	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	可能性あり8	一関市南沢地内	工事着手可	
53				一関市南沢地内		工事着手可	
54				開洞1道跡(LE26-2098) 及び篠根地		供電工事	
55				小田1道跡(LK36-0000)		供電工事	
56	平成29年10月31日～11 月2日、24日	農地耕作条件改善事業 湯沢(2)地区	農事組合法人となん	小田1道跡(LK36-0020) 及び篠根地	盛岡市湯沢地内(1か 所)	供電工事	50
57				新井田1道跡(LE36-2013)		供電工事	
58				新田道跡(LE36-2037) 及び篠根地		供電工事	
59	平成29年10月24日～25 日、30日～11月2日	経営体育成基整備事業	岩手県在城振興局農政部農村 整備室	土浦道跡(NE34-1140) 及び篠根地	奥州市南陽区柳ヶ瀬中都 地区	工事着手可	
60				十文字道跡(NE24-2300) 及び篠根地		工事着手可	

第20表 試掘調査一覧表(3)

※アミセはⅡ章で記載したもの

No.	調査日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果	記載
61				可能性あり⑥		工事着手可	
62				可能性あり⑤		工事着手可	
63	平成29年10月25日～31日	中山間地域総合整備事業(農地地区)	佐南広域振興局農政部一閑農村整備センター	可能あり④	一閑市大東町西沢地内	工事着手可	
64				可能性あり③		工事着手可	
65				和田只遺跡(NEP1.0118)及び隣接地		工事着手可	66
66	平成29年10月30日～31日	野営体育成系整備事業(愛知県豊川市)	佐南広域振興局農政部農村整備室	官呂沢1丁目遺跡(NE22-2336)	糸州山北沢愛宕山地内	工事着手可	
67				愛宕沢2丁目遺跡(NE22-2333)		工事着手可	38
68	平成29年11月2日	相模縦谷総合整備事業(相模原市成瀬)	佐南広域振興局農政部二閑農村整備センター農業整備室	可能あり①	二以那一閑町東側中山地内	工事着手可	
69				可能性あり②		工事着手可	
70	平成29年11月6日	三峰沿岸道路(芦野帶上道路)	国土交通省東北地方整備局三峰国道事務所	サンキヤ2号道路(IF48-2250)	久喜市芦野町雁南第25地割内	工事着手可	
71	平成29年11月7日	三峰沿岸道路(芦野帶上道路)	国土交通省東北地方整備局三峰国道事務所	可能性あり22箇	久喜市芦野町雁南第14地割北玉川地内	工事着手可	
72	平成29年11月7日	三峰沿岸道路(並木山田道路)	国土交通省東北地方整備局三峰国道事務所	邊地1号道路(MG32-0359)	上里郡大船渡大船地内	工事着手可	11
73	平成29年11月6日～8日	経営体育成系整備事業(万葉町日高地区)	佐南広域振興局農政部北上農村整備センター	万力1号道路(ME25-2242)及び隣接地	花巻市南万丁目地内	未発掘調査	33
74	平成29年11月7日～8日	経営体育成系整備事業(万葉町日高地区)	佐南広域振興局農政部北上農村整備センター	種市道路(ME25-2257)	花巻市南万丁目地内	工事着手可	34
75	平成29年11月7日～8日	経営体育成系整備事業(万葉町日高地区)	佐南広域振興局農政部北上農村整備センター	南万丁目2号道路(ME25-2257)及び隣接地	花巻市南万丁目地内	工事着手可	
76				南万丁目3号道路(ME25-2250)隣接地		工事着手可	
77	平成29年11月14日	農業水利施設保全合理化事業第2地区	佐南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり②	西磐井郡平泉町長島地内	工事着手可	
78				可能性あり④		工事着手可	
79				可能性あり⑤		工事着手可	
80				可能性あり⑥		工事着手可	
81	平成29年11月13日～17日	経営体育成系整備事業	佐南広域振興局農政部一閑農村整備センター	可能性あり⑦	一閑市南沢地内	工事着手可	
82				可能性あり⑨		工事着手可	
83				可能性あり10		工事着手可	
84				可能性あり11		工事着手可	
85				可能性あり1		工事着手可	
86				可能性あり2		工事着手可	
87	平成29年11月14日～16日	経営体育成系整備事業	佐南広域振興局農政部一閑農村整備センター	長平道路(NF80-2261)及び隣接地	一閑市千賀町仁坂地内	工事着手可	43
88				古越道路(NF80-2251)及び隣接地		工事着手可	
89	平成29年11月15日	県単独凍害対策事業	佐南広域振興局土木部千葉土木センター	可能性あり1	一閑市大東町鳥海字小黒泥地内	工事立会	47
90	平成29年11月20日～22日 H. 27日～28日	経営体育成系整備事業	佐南広域振興局農政部一閑農村整備センター	中島遺跡(NE95-2273)及び隣接地	一閑市森莊西黒沢地区	工事着手可	44
91				可能性あり1		工事着手可	
92				可能性あり4		工事着手可	
93	平成29年11月21日～22日	経営体育成系整備事業(若狭中部地区)	佐南広域振興局農政部農村整備室	山田城跡(NE94-1335)及び隣接地	糸州山北沢柳字明神下地内	工事着手可	37
94				明神1号道路(NE2440188)隣接地		工事着手可	
95	平成29年11月27日～28日	農地整備事業(経営体育成)	佐南広域振興局農政部農村整備室	八幡城跡(KK7-1101)及び隣接地	盛岡市玉山武道地内	未発掘調査	22
96	平成29年11月29日	中山間地域総合整備事業	佐南広域振興局農政部一閑農村整備センター	楓倉遺跡(OE03-1356)	一閑市森莊字外山地内	工事着手可	45
97	平成30年11月30日	災害開闢緊急防護事業 人水の沢	沿岸広域振興局土木本部岩泉土木センター	立白1号道路(KF08-2006)	下閉伊郡岩泉町安字立白1号地内	工事着手可	
98	平成29年12月5日	相模縦谷総合整備事業(相模原市成瀬)	佐南広域振興局農政部二閑農村整備センター農業整備室	根ノ木2号道路(JE89-1340)及び隣接地	二戸市一戸字別字根ノ木地内	工事着手可	18
99				火行遺跡(JE09-1212)及び隣接地	二戸市石切所字火行塚地内	工事立会	16
100	平成29年11月30日、12月7日	相模縦谷総合整備事業(相模原市成瀬)	佐南広域振興局農政部二閑農村整備センター農業整備室	佐々木遺跡(IE99-1227)及び隣接地	二戸市南沢字家ノ上地内	工事着手可	14
101	平成30年1月24日			上平道路(IE99-2216)		工事着手可	15
102				段ノ木遺跡(IE70-2074)及び隣接地	二戸市金田一字段ノ端地内	工事着手可	17
103				森下遺跡(NE25-2205)及び隣接地		工事着手可	39
104	平成29年12月12日～13日	経営体育成系整備事業	佐南広域振興局農政部農村整備室	見分森遺跡(NE25-1375)及び隣接地	糸州山北沢南田田地区	工事着手可	40
105				船谷遺跡(NE25-1322)		工事着手可	
106				片子沢遺跡(NE25-1313)		工事着手可	39

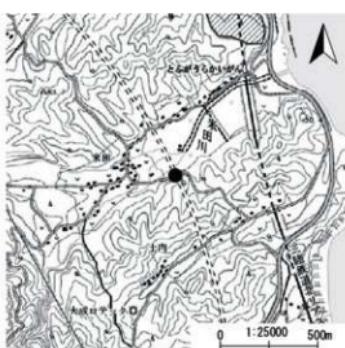
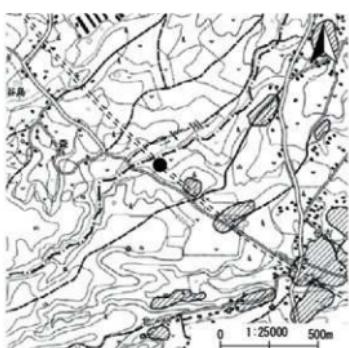
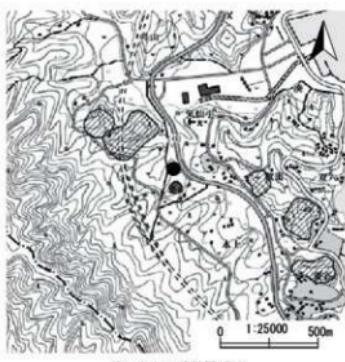
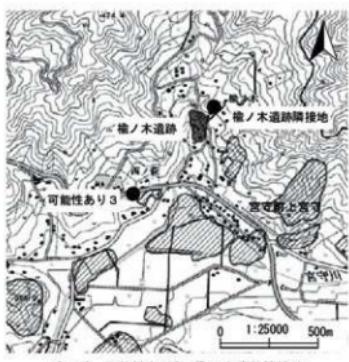
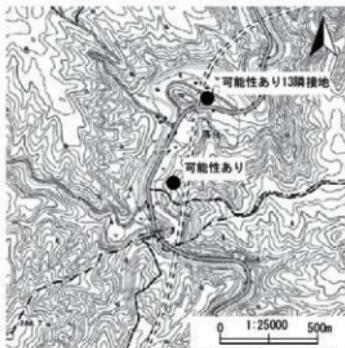
第21表 試掘調査一覧表(4)

※アミセはⅡ章で記載したもの

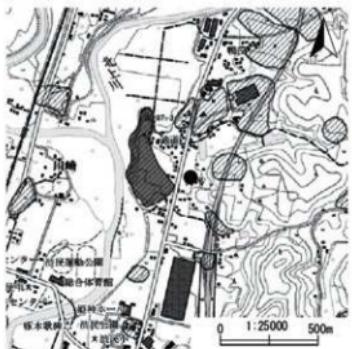
No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	所在地	結果	記載No.	
107				松林 I 道跡(KF08-1366)		慎重工事	48	
108				可能性あり 1		工事着手可		
109				可能性あり 2		工事着手可		
110				可能性あり 3		工事着手可		
111	平成29年12月12日～13日	河原等災害避難事業、河川災害復旧等復旧緊急事業	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能性あり 4 (松林洞穴 I 道跡[KF08-1368]・松林洞穴 II 道跡[KF08-1367] 障接地)	下閉伊郡泉町安家字松林地内	工事着手可		
112				可能性あり 5 (松林 I 道跡[KF08-1366] 障接地)		工事着手可		
113				可能性あり 6 (松林 I 道跡[KF08-1366] 障接地)		工事着手可		
114	平成29年12月14日～15日	経営体育成基盤整備事業	滋南広域振興局農政部農村整備室	北赤坂道跡(NE34-1228) 及び隣接地	美作市肥前小字北赤坂地内	慎重工事	41	
115	平成29年12月22日	東北横断自転車道並木秋田線(雄物川道)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	平野原 I 道跡(MF76-0038)	雄物川上郷町平野原草場2地割地内	慎重工事	3	
116	平成30年1月16日	三陸沿岸道路(洋野漸上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	伝吉 I 道跡(JP37-2396)	九戸郡洋野町種市第44地割地内	慎重工事	6	
117	平成30年1月17日	三陸沿岸道路(青野漸上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	サンニヤ並道跡(IF48-2250) 隣接地	九戸郡洋野町種市第25地割地内	工事着手可		
118	平成30年1月25日	三陸沿岸道路(吉浜並石道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	大沢 I 道跡(MG71-2209)	釜石市甲子町第13地割地内	工事着手可		
119	平成30年1月31日	街津地区点対点改良事業(城山人込)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり 1・2	紫波郡紫波町二日町地内	工事着手可		
120	平成30年2月6日	地域連携沿岸整備事業	滋南広域振興局土木部花巻土木センター	石名畑道跡(ME46-1326) 隣接地	北上市更地内	工事着手可		
121	平成30年2月6日	三陸沿岸道路(宮古老道跡)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	千世他道跡群(LG33-0197)	宮古市千世他地内	慎重工事	9	
122	平成30年2月14日	三陸沿岸道路(洋野漸上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	板崎 II 道跡(IF58-0234) (田可能性あり 4)	九戸郡洋野町種市第21地割地内	発掘調査	5	
123	平成30年2月28日	警察施設整備事業(盛岡西警察署新築工事)	警察本部警務部会計課	東の木沢 I 道跡(KB26-0278)	南沢町東の木沢山501-1	慎重工事	20	
124	平成30年3月5日	三陸沿岸道路(洋野漸上道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	可能性あり 47 両	九戸郡洋野町中野第6地割地内	工事着手可		
125	平成30年3月9日	三陸沿岸道路(尾羽若代道跡)	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所	可能性あり 13 隣接地	下閉伊郡代村柏木平地内	工事着手可		
126				北日高東ノ坊並道跡		紫波郡紫波町北日高地内	慎重工事	
127	平成30年3月15日	北日高交差点改良事業(南日高地区)	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	北日高東ノ坊並道跡(LI77-0069)	紫波郡紫波町北日高地内	慎重工事	2	

市町村支援

No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	所在地	結果	記載No.
128				谷内道跡(KF47-2364)	下閉伊郡岩泉町穴字道の下10-1・兼柳字道場64-1	発掘調査	
129	平成29年6月19日～21日	灾害公営住宅整備	岩泉町教育委員会	銀綱道跡(KF58-1130)		慎重工事	
130	平成29年6月22日	鴨田野相牧場 乾乳牛舍新築	田野畠村教育委員会	大芦 I 道跡(JF18-0137)	下閉伊郡田野畠村大芦52地内	慎重工事	
131	平成29年7月4日	個人住宅建設工事	野田村教育委員会	野田裂穴(中平) 道跡(JG60-0258)	九戸郡野田村大字野田23-134-1	発掘調査	
132	平成29年7月31日	個人住宅新築工事	田野畠村教育委員会	西和野Ⅲ道跡(KG23-2011)	下閉伊郡田野畠村和野323-3	慎重工事	
133				石名畑道跡(KF47-2331)	下閉伊郡岩泉町字上平10-5	慎重工事	
134	平成29年10月11日～13日	灾害公営住宅整備事業	岩泉町教育委員会	森の越道跡(KG50-1375)	下閉伊郡岩泉町字若泉三木松43-114-9	発掘調査	
135	平成29年10月24日	個人住宅建設工事	野田村教育委員会	野田裂穴(中平) 道跡(JG60-0258)	九戸郡野田村大字野田22-141-13	慎重工事	
136	平成29年11月16日	災害公営住宅整備事業	岩泉町教育委員会	森の越道跡(KG50-1375)	下閉伊郡岩泉町若泉字三木松26番地1	発掘調査	
137	平成29年11月16日～17日	灾害公営住宅整備事業	野田村教育委員会	森の越道跡(KG50-1375)	下閉伊郡岩泉町若泉字三木松26番地ほか	慎重工事	
138	平成29年11月29日	由野田衛生社事務所新築工事	野田村教育委員会	野田裂穴(中平) 道跡(JG60-0258)	九戸郡野田村大字野田22-127-2地内	慎重工事	
139	平成29年12月7日～8日	個人住宅建設工事ほか	野田村教育委員会	野田裂穴(中平) 道跡(JG60-0258)	九戸郡野田村大字野田22-131-3	発掘調査	
140	平成29年12月11日～13日	洋野町太陽光発電所建設工事	洋野町教育委員会	松ヶ沢 II 道跡(IP67-2265)	九戸郡洋野町種市第74地割字松ヶ沢133-112	慎重工事	



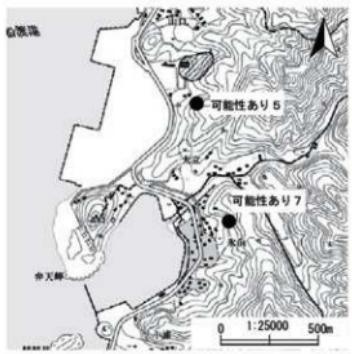
第148図 試掘調査位置図一覧(1)



22. 八幡館跡隕接地



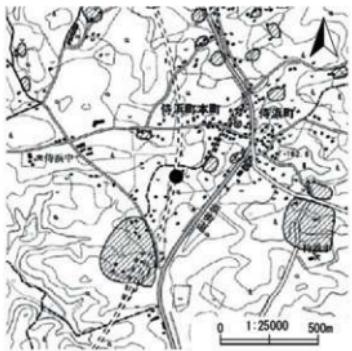
23. 森合遺跡隕接地



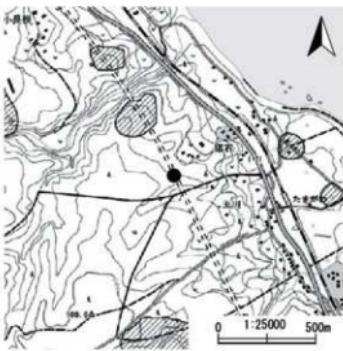
24. 可能性あり 5・7



30・31. 可能性あり②・③

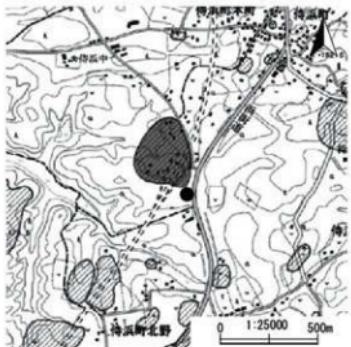


33. 可能性あり 3



34・71. 可能性あり 22

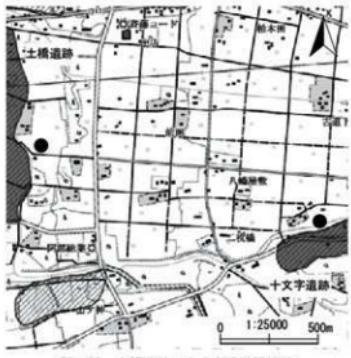
第149図 試掘調査位置図一覧(2)



48. 木戸場造跡隣接地



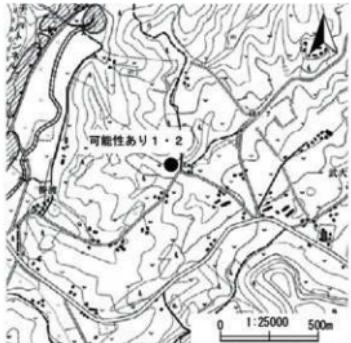
52・53・78~84. 可能性あり 4~11



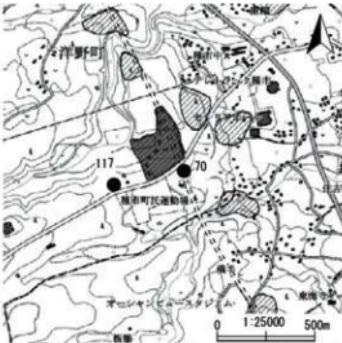
59・60. 土橋遺跡・十文字遺跡隣接地



61~64. 可能性あり 6~12



68・69. 可能性あり 1・2

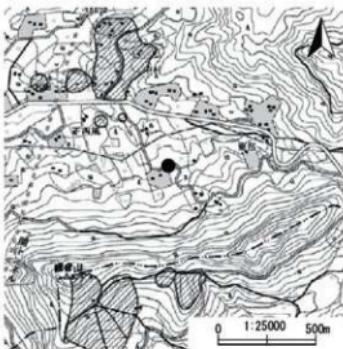


70・117. サンニヤ三遺跡隣接地

第150図 試掘調査位置図一覧(3)



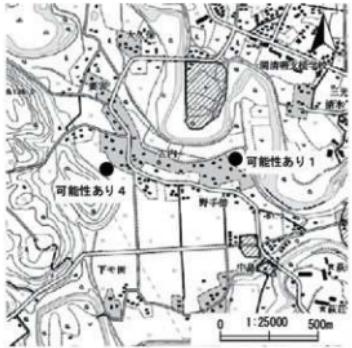
76. 南方丁目Ⅲ遺跡隣接地



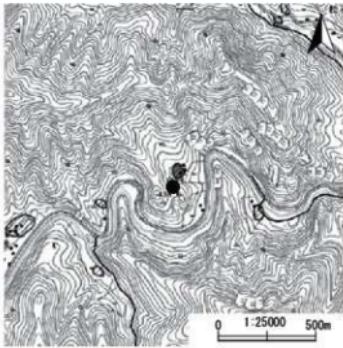
77. 可能性あり 2



85・86. 可能性あり 1・2



91・92. 可能性あり 1・4

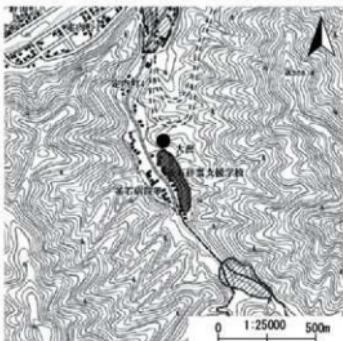


97. 立白 I 遺跡隣接地

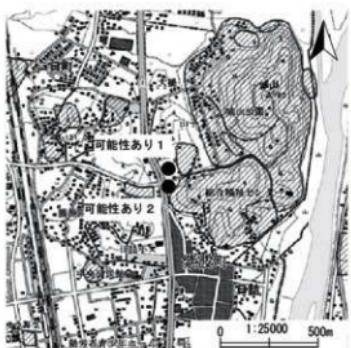
第151図 試掘調査位置図一覧(4)



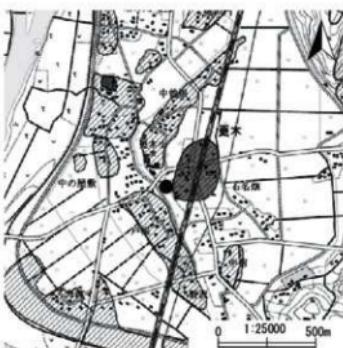
108~133. 可能性あり 1 ~ 6



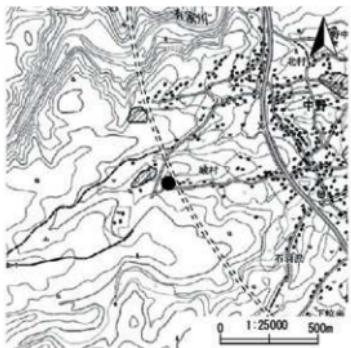
118. 大沢 I 道路隣接地



119. 可能性あり 1 ~ 2



120. 石名烟造跡隣接地



124. 可能性あり 47 南

第152図 試掘調査位置図一覧(5)

第22表 工事立会一覧表(1)

※アミセはⅢ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果	記録
1	平成29年4月19日	三陸沿岸道路 (吉浜釜石道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所	小白浜道路 (MG92-0133)	釜石市唐町字小白浜地内	影響なし	
2	平成29年4月20日	館地区急傾斜地崩壊 対策工事	沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター	船跡 (NF56-1384)	陸前高田市市駒町字館地区	影響なし	
3	平成29年4月24日	一般国道340号小国地区道路災害復旧(28災116号)工事	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	道又道路 (LF88-2164)	宮古市小国地区内	影響なし	
4	平成29年4月24日	一般国道340号飯崎地区道路災害復旧(28災320号)工事	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	和牛内西道路 (LF18-1335)	宮古市飯崎地内	影響なし	
5	平成29年5月25日	復旧治山事業 上平地区復旧治山工事	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター 林野室	田畠道跡 (JP50-0171)	二戸郡一戸町小島谷字上平地内	影響なし	
6	平成29年5月26日	三陸沿岸道路 (田井畠道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所	浜岩泉V道路 (KG33-2003)	下閉伊郡田野畠村浜岩泉地内	影響なし	
7	平成29年6月6日	三陸沿岸道路 (洋野辺上道路)	国土交通省東北地方整備局南三陸国道事務所	板橋道路 (IF58-1170) (旧可能性あり)	九戸郡洋野町種市第21地割板橋地内	廻し穴状造構 盛土保護	2
8	平成29年6月9日	盛岡地方合同庁舎(16) 建築その他改修工事	国土交通省東北地方整備局管轄部	盛岡城外曲輪道路 (LE16-)	盛岡市内丸7-25	影響なし	
9	平成29年6月28日	伐木(木本丸)	三陸北部森林管理署	南大1道跡 (KG44-2113)	下閉伊郡岩泉町小本字大牛内国有林578と林小班	影響なし	
10	平成29年7月19日	山田線(宮古・釜石間) 鉄道復旧	東日本旅客鉄道株式会社 東北工事事務所	吉里吉里Ⅲ道跡 (MG33-0346) 前川善治歴代の墓 道跡 (MG33-0365)	上閉伊郡大槌町吉里吉里二丁目、四丁目上閉伊郡大槌町吉里吉里二丁目	影響なし	
11	平成29年8月1日	盛岡地方合同庁舎(16) 建築その他改修工事	国土交通省東北地方整備局管轄部	盛岡城外曲輪道路 (LE16-)	盛岡市内丸7-25	影響なし	
12	平成29年8月1日	一関工業高等学校 受水槽改修工事	県教育委員会事務局教 育企画室	釜淵道跡 (NE96-2022)	一関市萩荘	影響なし	
13	平成29年8月7日、 9日	一般国道4号水沢東バ イパス	国土交通省東北地方整 備局岩手河川国道事務 所	町原敷道路 (NE27-1029)	奥州市水沢真城字町原敷地内	柱穴2基	1
14	平成29年8月9日	岩手県二戸病院医師公 会(2号棟)新築工事	岩手県医療局経営管理課	坂野道跡群 (IP90-0000)	二戸市坂野字長瀬83、82の一部	影響なし	
15	平成29年8月23日	岩手県立胆沢病院ヘ リポート整備(建築) 工事	岩手県医療局経営管理課	龍ヶケ場道路 (NE26-1254)	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地地内	影響なし	
16	平成29年8月24日	山田線(宮古・釜石間) 鉄道復旧	東日本旅客鉄道株式会 社東北工事事務所	泉沢駅敷道路 (MG52-0239)	釜石市鶴住居第25地割	影響なし	
17	平成29年9月8日	一関地区事故対策事業	国土交通省東北地方整備 局岩手河川国道事務所	西光寺裏道路 (NE96-2056)	一関市萩荘中町地内	影響なし	
18	平成29年10月3日	三陸沿岸道路 (釜石山田道路)	国土交通省東北地方整 備局南三陸国道事務所	田原道跡 (MG23-1373)	上閉伊郡大槌町吉里ヶ々地内	影響なし	
19	平成29年10月4日	道路環境改善事業	県南広域振興局土木部 宮古土木センター	駒の森1道跡 (ME07-0038)	花巻市石鳥谷町開口地内	影響なし	
20	平成29年11月6日 ~7日	北上川中流域緊急 治水対策事業	国土交通省東北地方整 備局岩手河川国道事務 所	北日舘城内I道路 (LE77-0194)	紫波郡紫波町北日舘字城内地内	影響なし	

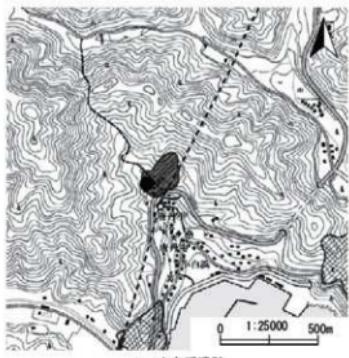
第23表 工事立会一覧表(2)

※アミセはⅢ章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果	記録No.
21	平成29年11月14日	蘿沼沢(2)地区予防治山工事	県南広域振興局農政部 花巻農振興センター	サブカ良根道跡 (LE09-1341)	花巻市大迫町大迫 蘿沼沢地内	影響なし	
22	平成29年11月15日	一級河川荒川筋駒形本宮橋下地区はか河川災害復旧	県南広域振興局土木部 茂野土木センター	根岸Ⅱ道跡 (MF15-2038)	遠野市附馬牛町上 附馬牛字根岸地内	影響なし	
23	平成29年11月21日	集落基盤整備事業(地域用水型) 田代堰地区第7号はか1工事	盛岡広域振興局農政部 農村整備室	繩田道跡 (LE15-0188)	盛岡市上太田 地内	影響なし	
24	平成29年12月1日	農村地域防災減災事業 丹藤地区第1号工事	盛岡広域振興局農政部 農村整備室	丹藤道跡 (KE28-2009)	岩手郡岩手町大字 川口地内	影響なし	
25	平成29年12月8日	漁港災害復旧事業 田舎漁港海岸災害復旧 (23気県第522号防潮堤その4)工事	沿岸広域振興局水産部 大船渡水産振興センター	中沢浜貝塚 (NF88-128)	陸前高田市広田町 字中沢地内	影響なし	
26	平成29年12月14日	防災共済事業一般県 道平泉亭停車場中尊寺 線志羅山地区電線共同溝整備(4工区)	県南広域振興局土木部 一関土木センター	柳之御所道跡 (NE764190) 高館(衣川館)路 (NE764005)	西磐井郡平泉町平 泉字志羅山地内	影響なし	
27	平成29年12月21日	道路環境改善事業(無 電柱化) 志羅山地区 電線共同溝整備事業	県南広域振興局土木部 一関土木センター	無量院院跡 (NE76-1007)	西磐井郡平泉町平 泉字花立地内	影響なし	
28	平成30年1月15日	農地耕作条件改善事業 愛宕地区第2号工事	県南広域振興局農政部 農村整備室	赤利道跡 (NE23-2308)	奥州市相沢市柳地 内	遺物包含 層1箇所	3
29	平成30年2月5日	災害復旧事業	県南広域振興局土木部 一関土木センター	杉山古墳 (OE59-2150)	一関市花泉町水井 字杉山地内	影響なし	
30	平成30年2月14日	経営育成基盤整備事業 と賀中郡岩崎地区 用水パイプイン工事	県南広域振興局農政部 北上農村整備センター	上須々須道跡 (ME63-1286)	北上市和賀町煤孫	影響なし	
31	平成30年2月16日	災害関連緊急除砂事業 三田貝の沢(1)路 下三田貝地区砂防壁事業	沿岸広域振興局岩泉土 木センター	根岸Ⅰ道跡 (KF46-2244)	下閉伊郡岩泉町門 字下三田貝地内	影響なし	
32	平成30年2月26日	二級河川鶴居川筋 牛大橋下地区河川 災害復旧(28気122 号)工事	沿岸広域振興局土木部	太田林道跡 (MG30-2102)	釜石市横野町第38 地割413地先	影響なし	
33	平成30年3月8日	岩手山麓農業水利事業 導水路建設工事	東北農政局岩手山麓農 業水利事業所	野沢Ⅰ道跡 (KE26-1377) 野沢Ⅱ道跡 (KE26-1387)	滝沢市野沢62137	影響なし	
34	平成30年3月19日	主要地方道重茂平島線 の平~福島内地区地域 連携道路整備事業	沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター	熊の平道跡 (LG45-2099) 及び隣接地	宮古市音部第7地 割地内	影響なし	
35	平成30年3月20日	三陸沿岸道路(吉浜釜 石道路)	国土交通省東北地方整 備局三陸国道事務所	大沢Ⅱ道跡 (MG71-2209)	釜石市定内町四丁目 地内	影響なし	

市町村支援

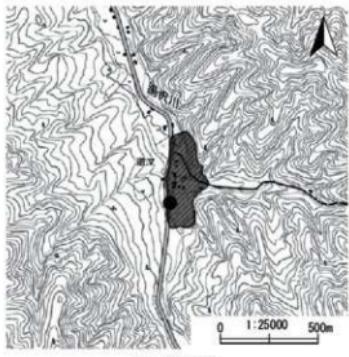
No.	調査期日	事業名	事業者	道路名	所在地	結果	記録No.
36	平成29年5月9日	田野畑村真木沢公民 館敷地周囲擁壁・排 水施設整備工事	田野畑村教育委員会	真木沢Ⅳ道跡 (KG43-1147)	下閉伊郡田野畑村 真木沢第136番地	影響なし	
37	平成29年6月21日	田野畑村村道大芦浜 岩泉線排水溝設置工事	田野畑村教育委員会	浜岩泉Ⅱ道跡 (KG43-0016)	下閉伊郡田野畑村 浜岩泉地内	影響なし	
38	平成29年6月21日	田野畑村村道音座錦 水路改修工事(水路、 舗装)	田野畑村教育委員会	音座道跡 (KG22-2354)	下閉伊郡田野畑村 音座錦牛山地内	影響なし	



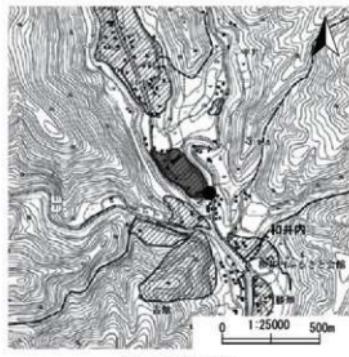
1. 小白浜遺跡



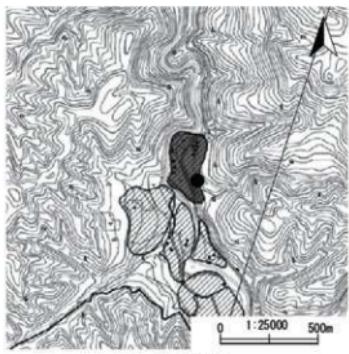
2. 館跡



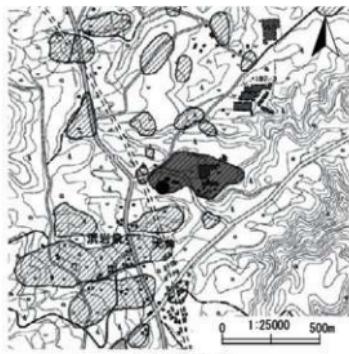
3. 道又遺跡



4. 和井内西遺跡



5. 田岡III遺跡

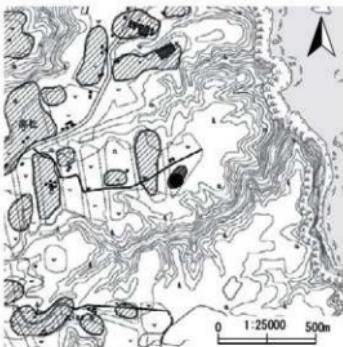


6. 浜岩泉V遺跡

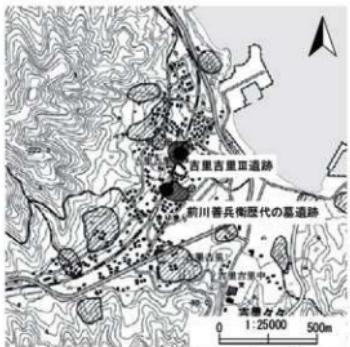
第153図 工事立会位置図一覧(1)



8・11. 盛岡城外曲輪跡



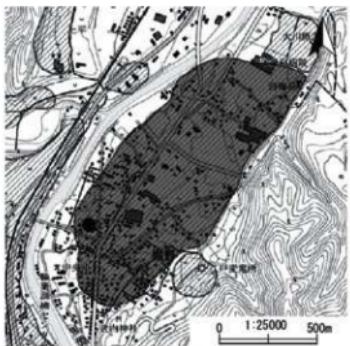
9. 南大畠Ⅰ遺跡



10. 吉里吉里Ⅲ遺跡・前川善兵衛歴代の墓道跡



12. 釜源遺跡

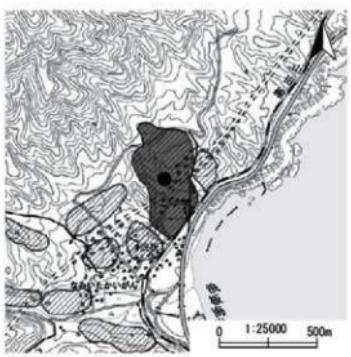
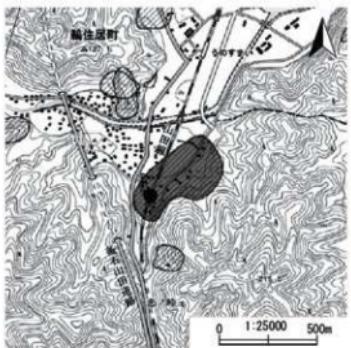


14. 畦野遺跡群

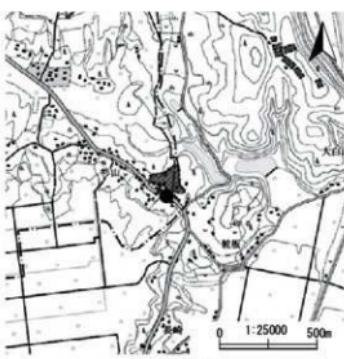
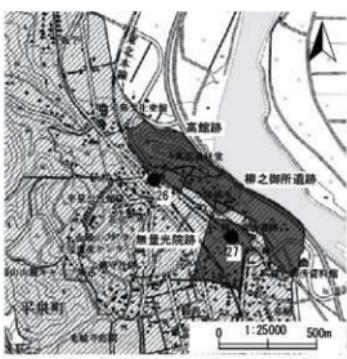
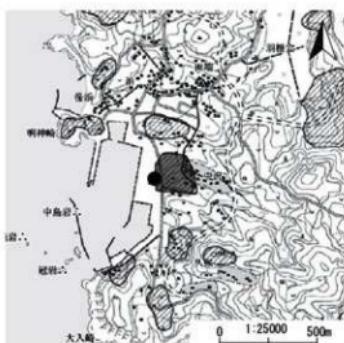
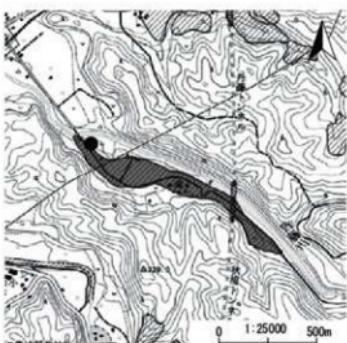
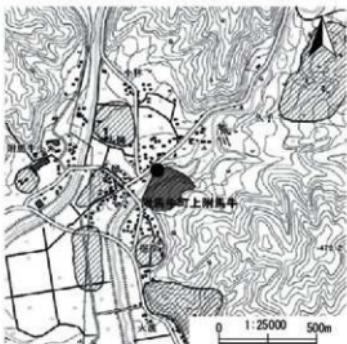


15. 龍ヶ馬場遺跡

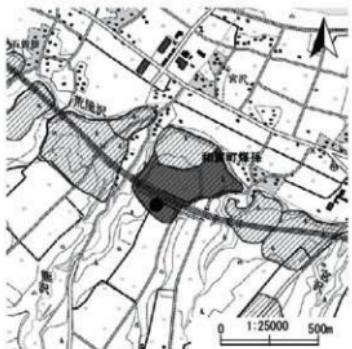
第154図 工事立会位置図一覧(2)



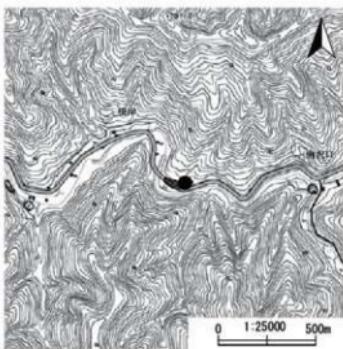
第155図 工事立会位置図一覧(3)



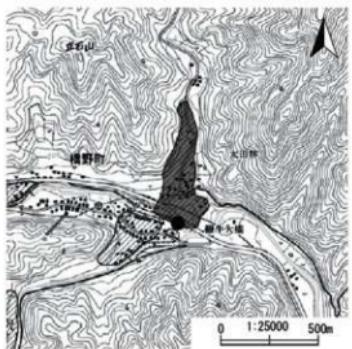
第156図 工事立会位置図一覧(4)



30. 上須々孫遺跡



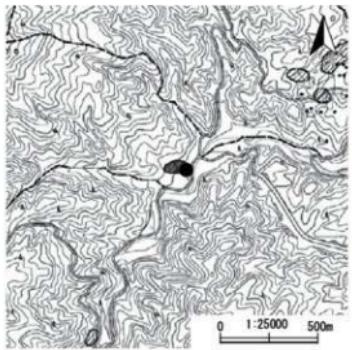
31. 根岸I遺跡



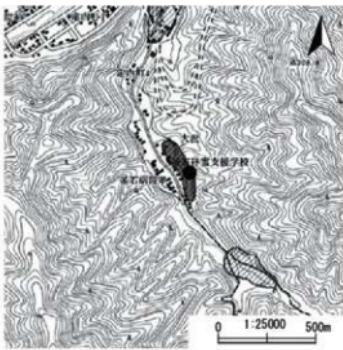
32. 太田林遺跡



33. 野沢I遺跡・野沢V遺跡



34. 熊の平遺跡



35. 大沢I遺跡

第24表 分布調査一覧表(1)

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	時代	遺構/遺物	種別	所 在 地	結果
1	平成29年5月10日	地すべり防止事業 田面野木地区	盛岡広域振興局林務部	可能性あり				盛岡市猪去田面野木地区	工事着手可
2	平成29年5月11日	農地整備事業 (経営休業成型) 下・大森地区、義美・鴨原ひがし地区、川台地区、上・奥玉地区	県南広域振興局農政部一関農村整備センター	下川台道路 (OE05-0177)	縄文		散布地	(下大森地区) 一関市萩生地内	試掘調査
3				羽根橋Ⅰ道路 (OE05-0171)	縄文		散布地		試掘調査
4				羽根橋Ⅱ道路 (OE05-0079)	縄文		散布地		試掘調査
5				鷹走道路 (OE05-0046)	縄文		散布地		試掘調査
6				山田道路 (NE95-2076)	旧石器		散布地		試掘調査
7				可能性あり					試掘調査
8				小姓道路 (OE05-0147)	中世末		城館跡		慎重工事
9				上の台道路 (NE94-0252) 隣接地				(義美・鴨原ひがし地区) 一関市義美地内	工事着手可
10	平成29年5月10日		上川台道路 (OE15-0068)	縄文			散布地	(川台地区) 一関市萩生地内	慎重工事
11				刈又Ⅱ道路 (OE15-0274) 隣接地					工事着手可
12				菅刈場Ⅱ道路 (NF92-0200)	縄文		散布地		慎重工事
13				菅刈場Ⅰ道路隣接地 (NF82-2282)				(上奥玉地区) 一関市千賀町奥玉地区	工事着手可
14				殿金沢道路 (NF92-0138) 隣接地					工事着手可
15	平成29年5月12日	一般国道396号上宮守地区道路改築事業	県南広域振興局土木部遠野土木センター	植ノ木道路 (MF32-0099) 隣接地				遠野市宮守町上宮守地内	試掘調査
16	平成29年5月12日			下村道路 (MF32-2021) 隣接地				遠野市宮守町上宮守地内	工事着手可
17	平成29年5月16日	一級河川木彌川筋穴口地区護岸地整備工事	盛岡広域振興局土木部	可能性あり				盛岡市下野川字穴口ほか	工事着手可
18	平成29年5月17日	三陸沿岸道路(久慈北道路)	国土交通省東北地方整備局三陸国事務所	可能性あり				久慈市夏井町鳥谷第4地割内	工事着手可
19	平成29年5月23日	皆伐(立木販売)・間伐(製品生産請負)	東北森林管理局岩手南部森林管理署	丸森道路 (NE42-1158)	中世		城館跡	岩手市衣川二又岳国有林42林班いゝろ小班	慎重工事
20				横沢原道路 (NE22-2267)	縄文		散布地	岩手市胆沢若柳東前川山国有林51林班た2・た3小班	工事立会
21				大清水上道路 (NE22-2277)	縄文・弥生		集落跡	岩手市胆沢若柳東前川山国有林51林班た4小班	工事立会
22	平成29年6月2日	岩手県立二戸病院 医師公舎(15・20号棟)新築工事	医療局經營管理課	樅野道路群 (IF90-0000)	縄文・古墳・古代		集落跡・祭祀跡・古墳	二戸市樅野字長瀬8-3, 8-2の一部	工事立会

第25表 分布調査一覧表(2)

No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	時代	遺構/遺物	種別	所 在 地	結果
23	平成29年6月8日	道路環境整備事業 水沢地区	県南広域振興局土木部	清水道跡 (NE05-0196)	弥生		散布地	胆沢郡金ヶ崎町 水栄地区	工事立会
24				春慶道跡 (NE05-1134)	縄文		散布地		工事立会
25				閑田道跡 (NE05-1077)	中世		経塙		試掘調査
26				横沢道跡 (NE05-2004)	縄文		散布地		試掘調査
27				可能性あり					工事着手可
28	平成29年6月14日	水利施設整備事業 (農地集積促進型) 手代森地区	盛岡広域振興局農政部農村整備室	可能性あり				盛岡市手代森地内	工事着手可
29	平成29年6月14日	広域河川改修事業	沿岸広域振興局土木部宮古土木センター	松山船跡 (LG33-2386)	古代・中世		城船跡	宮古市花輪地内 ほか	慎重工事
30				下折壁Ⅱ道跡 (LG42-1395)	中世		城船跡	宮古市花輪地内 ほか	慎重工事
31	平成29年6月20日 ~21日	普伐(立木取伐)	東北森林管理局盛岡森林管理署	芦田内IV道跡 (KE28-1125)	縄文・ 弥生・ 古代		散布地	岩手郡岩手町 1019号林小辻地内 ほか	再協議
32				芦田内Ⅴ道跡 (KE28-1250) 蔽接地					工事着手可
33				芦田内VI道跡 (KE28-1168)	縄文・ 弥生		集落跡		再協議
34				内の沢道跡 (KE17-2363)	不明		散布地		工事立会
35				子抱道跡 (KE28-0082)	縄文		散布地		慎重工事
36				子抱船跡 (KE28-0073)	中世		城船跡		慎重工事
37				岩洞湖K道跡 (KF71-0136)	縄文		遺物散布地		慎重工事
38				岩洞湖J道跡 (KF61-2114)	縄文		遺物散布地		慎重工事
39				梅沢Ⅱ道跡 (KE65-2052)	縄文		散布地		慎重工事
40	平成29年6月23日	薬師沢(2)地区予防治山事業	県南広域振興局農政部花巻農林振興センター	サブ長根道跡 (LE99-1341)	縄文		散布地	花巻市大迫町大迫薬師沢地内	試掘調査
41	平成29年6月28日	防災安全(交通安全) 事業大川地区	県北広域振興局土木部	外里道跡 (JF38-0255)	縄文		集落跡	久慈市大川町寺地内	試掘調査
42				可能性あり					
43	平成29年6月29日	畠地帯総合整備事業 東奥中山中央地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	可能性あり1				二戸郡一戸町西田子地内	試掘調査
44				可能性あり2					試掘調査
45				可能性あり3					工事着手可
46	平成29年6月29日	畠地帯総合整備事業 奥中山中央地区	県北広域振興局農政部二戸農林振興センター農村整備室	可能性あり				二戸郡一戸町西田子地内	工事着手可

第26表 分布調査一覧表(3)

※アミセは遺物実測図を載せたもの

No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	時代	遺情／遺物	種別	所 在 地	結果
47	平成29年6月29日	連地帯総合整備事業 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部二戸農村整備センター農村整備室	上里遺跡群 (JE09-1273)	縄文・中世		集落跡・城船跡	二戸市石切所地内	試掘調査
48				可能性あり					工事着手可
49				横長根道路 (JE09-1126) 隣接地					工事着手可
50				可能性あり					工事着手可
51				大行塙道跡 (JE09-1212)	縄文・弥生・古代		集落跡		試掘調査
52				上平Ⅲ道跡 (IE99-2218)	縄文・古代		散布地		試掘調査
53	平成29年7月18日	地域連携道路整備事業 一般国道396号内柴木崎地区	県南広域振興局土木部遠野土木センター	下橋道跡 (MF31-1231) 近接地				遠野市宮守町内 栗木崎地内	工事着手可
54				可能性あり					工事着手可
55				可能性あり 1					試掘調査
56				可能性あり 2					試掘調査
57				可能性あり 3					工事着手可
58	平成29年7月11日～13日	経営体成基盤整備事業 梁川西部地区	県南広域振興局農政部農村整備室	可能性あり 1				奥州市江刺梁川	試掘調査
59				可能性あり 2				奥州市江刺梁川	試掘調査
60	平成29年8月15日	二级河川小本川筋 小船地区河川災害復旧助成(護岸工)工事	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能性あり				下閉伊郡岩泉町 小船地内	工事着手可
61	平成29年8月15日	灾害開通緊急防護事業 釜津田沢地区	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能性あり				下閉伊郡岩泉町 釜津田字沢口地内	工事着手可
62	平成29年8月21日	県単独凍雪対策事業	県南広域振興局土木部千厩土木センター	可能性あり 1				一関市大東町島 海字市ノ通地内	試掘調査
63				可能性あり 2					工事着手可
64	平成29年8月7日	農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 経営体成型	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	可能性あり 1				花巻市高松地内	試掘調査
65				可能性あり 2					試掘調査
66				中道跡 (ME37-0195)	古代		散布地		試掘調査
67				明月 I 道跡 (ME37-1163) 隣接地					試掘調査
68				明月 II 道跡 (ME37-1183)	縄文・古代		集落跡		試掘調査
69				柴林道跡 (ME24-0098)	縄文		集落跡	花巻市太田地区	試掘調査
70				可能性あり 1					試掘調査
71	平成29年8月7日、 10日	農業競争力強化基盤整備事業(農地整備事業) 経営体成型	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	可能性あり 2		土器 石器		花巻市太田地区	試掘調査
72				沼田道跡 (ME24-2102)	縄文		散布地	花巻市太田地区	試掘調査
73				沼田 II 道跡 (ME24-2110)	縄文				試掘調査
74				山田 I 道跡 (ME24-2022) 隣接地					試掘調査

第27表 分布調査一覧表(4)

※アミセは遺物実測図を載せたもの

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	時代	遺構／ 遺物	種別	所 在 地	結果
75	平成29年8月16日	農業農村整備事業 下前地区	県南広域振興局農 政部北上農村整備 センター	可能性あり 1					試掘調査
76				可能性あり 2					試掘調査
77				可能性あり 3					試掘調査
78	平成29年8月16日	農業農村整備事業 下前地区	代官森 I 道路 (ME73-1114) 勘接地	代官森 I 道路 (ME73-1114)	縦文		散布地	北上市和賀町保 保地区	試掘調査
79				代官森 II 道路 (ME73-1059) 勘接地		土器		北上市和賀町保 保地区	試掘調査
80				可能性あり				北上市和賀町保 保地区	試掘調査
81	平成29年9月12日	土木事業により発 生する廃土置場	県北広域振興局土 木部	可能性あり				久慈市侍浜町向 町第8地割内	試掘調査
82	平成29年9月19日	森林管理道沿梨一 ノ波穂(一ノ波工 区)開設工事	沿岸広域振興局農 林部	可能性あり				上閉伊郡大槻町 小籠地内	工事着手可
83	平成29年9月20日	一般国道107号梁川 ～口内地区地域連 携道路整備事業	県南広域振興局土 木部	可能性あり				奥州市江刺梁川 字札押地内	工事着手可
84	平成29年9月22日	一級河川小鳥瀬川 災害復旧助成事業	県南広域振興局土 木部遠野土木セン ター	橋内鍾突堂 (MF36-1143) 道路隣接地				遠野市土淵町久 保地内	工事着手可
85				可能性あり					工事着手可
86				林崎遺跡 (MF36-0209) 勘接地					工事着手可
87	平成29年9月26 日、10月11日	河川等災害関連事 業、河川災害復旧 等関連緊急事業	沿岸広域振興局土 木部岩泉土木セン ター	可能性あり 1					試掘調査
88				松林 III 道路 (KF08-1394)	縦文		散布地		工事立会
89				可能性あり 2					試掘調査
90				可能性あり 3				下閉伊郡岩泉町 宇安家字松林地 内	試掘調査
91				可能性あり 4					試掘調査
92				可能性あり 5					試掘調査
93				松林 I 道路 (KF08-1366)	縦文		散布地		試掘調査
94				可能性あり 6					試掘調査
95	平成29年9月28日	北日詰交差点改良 事業	国土交通省東北地 方整備局岩手河川 国道事務所	北日詰東ノ坊Ⅱ遺跡 (LE77-0078)	古代～ 中世		散布地	常陸郡紫波町南 日詰～北日詰地 内	試掘調査
96				北日詰東ノ坊Ⅱ遺跡 (LE77-0069)	古代		散布地		試掘調査
97				北日詰東ノ坊Ⅱ遺跡 (LE77-0069) 勘接地					試掘調査
98				北日詰東ノ坊Ⅱ遺跡 (LE77-0069)	古代		散布地		慎重工事
99	平成29年10月4日	火山砂防事業 スキー場南沢地区、 外水沢地区	盛岡広域振興局土 木部岩泉土木セン ター	可能性あり				八幡平市平笠地内	工事着手可

第28表 分布調査一覧表(5)

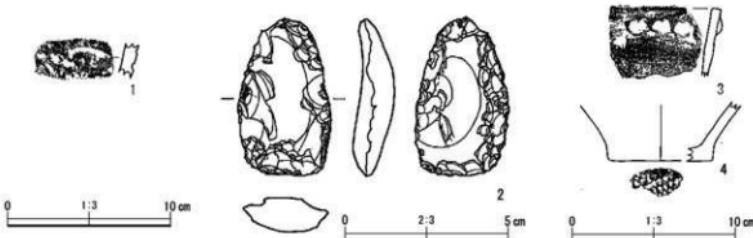
No.	調査日	事業名	事業者	道跡名	時代	遺構/遺物	種別	所 在 地	結果
100	平成29年10月5日	一般県道衣川水沢線奥州スマートインターチェンジ地区地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部	可能性あり 1					工事着手可
101				可能性あり 2					工事着手可
102				福原道跡(NE26-0175) 橋接地					工事着手可
103				可能性あり 3					工事着手可
104				可能性あり 4				奥州市水沢	工事着手可
105				可能性あり 5					工事着手可
106				野道跡(NE35-0198) 橋接地					工事着手可
107				可能性あり 6					工事着手可
108				可能性あり 7					工事着手可
109	平成29年10月10日	経営体育城基盤整備事業太田・下巾地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター	可能性あり				和賀郡西和賀町沢内字太田地内	工事着手可
110	平成29年10月25日	栖原山地区予防治山工事	県南広域振興局林務部	可能性あり				奥州市衣川栖原山地内	工事着手可
111	平成29年11月9日	一般国道4号水沢東バイパス事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	水の口道跡(NE27-2053)	平安		散布地	奥州市水沢真城~水沢区姫体	試掘調査
112				畠荒谷道跡(NE37-0012)	平安		散布地		試掘調査
113				館(中野館)跡(NE37-0010)	古代・平安・中世		集落跡		試掘調査
114				上林下道跡(NE36-0320)	古代		散布地		慎重工事
115				中林下道跡(NE36-0247)	平安		集落跡		慎重工事
116	平成29年11月22日	農村地域防災減災事業 北照井堰地区	県南広域振興局農政部一閣農村整備センター	可能性あり 1				西磐井郡平泉町平泉字西風~高田前地内	工事着手可
117				鳥居崎船跡(NE85-0327)	中・近世		城館跡		試掘調査
118				可能性あり 2					工事着手可
119				片岡 II 道跡(NE86-0082)	繩文		散布地		慎重工事
120				片岡 I 道跡(NE86-0055)	繩文・中世		散布地・城館跡		工事立会
121				高田道跡(NE86-0069)	繩文		散布地		慎重工事
122				新城船跡(NE86-1006)	中・近世		城館跡		再協議
123				宿道跡(NE86-1112)	平安		散布地		慎重工事
124	平成29年12月4日	岩船地区歩道整備事業	国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所	可能性あり				二戸郡一戸町岩船字川又~岩船字子守地内	工事着手可
125	平成29年12月8日	農業競争力強化基盤整備事業 金成地区	沿岸広域振興局農林部大船渡農林振興センター・農村整備室	可能性あり				陸前高田市横田町地内	工事着手可
126	平成29年12月13日	河川等灾害対策事業、河川災害復旧等・河川緊急事業(安家川)	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	可能性あり				下閉伊郡泉町宇安家地内	工事着手可
127	平成30年1月19日	地域連携道路整備事業 一般国道26号上宮守地区道路改築工事	県南広域振興局土木部遠野土木センター	可能性あり				遠野市宮守町下宮守17地割地内	工事着手可
128	平成30年1月22日 ~23日	林道整備事業 森林管理道平野原線	県南広域振興局農政部遠野農林振興センター	可能性あり				遠野市上郷町平倉平野原地内	工事着手可

第29表 分布調査一覧表(6)

No.	調査日	事業名	事業者	遺跡名	時代	遺物/ 遺物	種別	所 在 地	結果
129	平成30年2月21日 ~22日	河川等災害復旧助成事業	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	野白遺跡 (KF59-2247)	縄文		散布地	下閉伊郡岩泉町二升石地内	工事立会
130				穴沢原遺跡 (KF58-0060) 隣接地					工事着手可
131				異梯遺跡 (KF58-1130) 隣接地					工事着手可
132				異梯II遺跡 (KF58-0192) 隣接地					工事着手可
133	平成30年2月21日 ~22日	河川等災害復旧事業	沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター	小田I遺跡 (KF58-2231) 隣接地				下閉伊郡岩泉町異緯地内	工事着手可
134				一ノ苗代I遺跡 (KF58-2227) 隣接地					工事着手可
135				田畠I遺跡 (KF58-2117) 隣接地					工事着手可
136				田畠II遺跡 (KF58-2114) 隣接地					工事着手可
137	平成30年3月19日	基幹河川改修事業	県南広域振興局土木部一関土木センター	可能性あり				一関市花象町油鳥地内	工事着手可

可能性あり 2

代官森II遺跡隣接地



第158図 分布調査採集遺物図

第30表 分布調査採集遺物観察表

表No.	遺跡名	掲載番号	出土地点	層位	種別	器種	部位	計測値(cm・g)			特徴
								口径	器高	底部径	
								縦	横	厚さ	
71	可能性あり2	1	表探		縄文土器	深鉢	胴部	—	—	—	— 汎用
71	可能性あり2	2	表探		石器	搔器	4.8	2.6	1	16.88	横長剥片
79	代官森II遺跡隣接地	3	表探		縄文土器	深鉢	口縁部	—	—	—	貼付文(つまみ状凸)
79	代官森II遺跡隣接地	4	表探		縄文土器	深鉢	底部	—	—	[6.2]	— 網代

計測値の〔 〕は推定値、()が残存値を表す。



写真図版22 分布調査採集遺物

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないいせきはくつちょうさはうこくしょ							
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書							
副書名	平成29年度							
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第156集							
編集者名	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課							
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6180							
発行年月日	平成31年3月26日							
所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
花曾根上遺跡	北上市和賀町岩崎新田地内	032069	ME74-0114	39度 16分 17秒	141度 2分 1秒	2017.11.27~12.15	700	記録保存 調査
上須々孫遺跡	北上市和賀町孫孫地内	032069	ME63-1286	39度 17分 2秒	141度 0分 2秒	2017.12.19~12.21	29	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
花曾根上遺跡	集落跡	縄文、平安	縄文 階段状遺構2 古代 堅穴建物跡5、カマド1、溝8、 柱穴状土坑33 時期不詳 堅穴建物跡1、土坑2、性格不明遺構1		土師器、須恵器、鉄滓			
上須々孫遺跡	集落跡	縄文	フラスコ状土坑2		縄文土器、石器			

岩手県文化財調査報告書 第156集

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成29年度)

発行日 平成31年3月26日

発 行 岩手県教育委員会

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課

印 刷 小松総合印刷(株)

〒020-0827 岩手県盛岡市鉢屋町15-4

